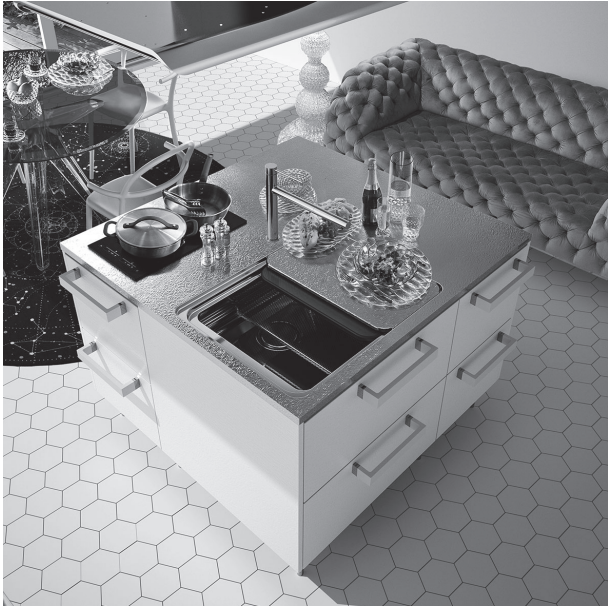




BAY CUBE

取付・設置説明書

もくじ

・安全上のご注意	1～2
・取付・設置前の確認	3
・ユニット構成	4
・取付・設置のながれ	5
・取付・設置手順	
ユニットの取付け	6～59
・取付・設置後の点検・清掃・養生／ ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を見逃して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

警告

ワークトップなど金属製の製品を取扱う時は、必ず保護手袋をしてください。



切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。

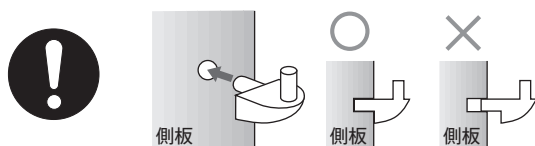
電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。

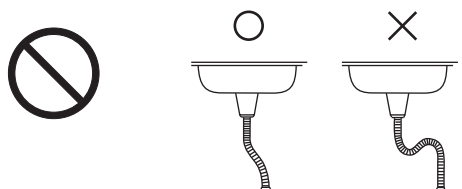
⚠ 注意

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下して、ケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



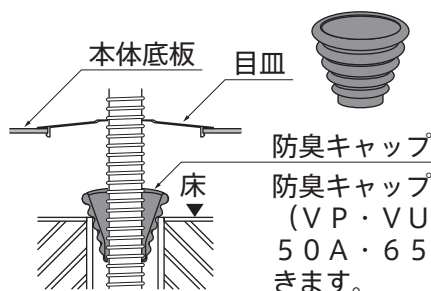
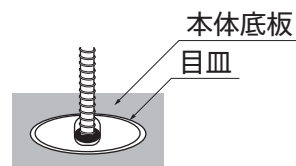
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

交換用パネルの取付けは、安全に注意して行ってください。



部材や部品の落下により、ケガをする恐れがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは、確実に行ってください。



防臭キャップは、塩ビ管（VP・VU）40A・50A・65Aに使用できます。

水が漏れたり、湿気が上がり、床などが腐る恐れがあります。

交換用パネルの取付けは、必ず二人以上で行い、パネルを落下させないようにしてください。



手を挟んだり、落下により足元などにケガをする恐れがあります。

交換用パネルの取付けの際は、パネルや扉、ユニットなどに手を挟まないようにしてください。



手を挟んで、ケガをする恐れがあります。

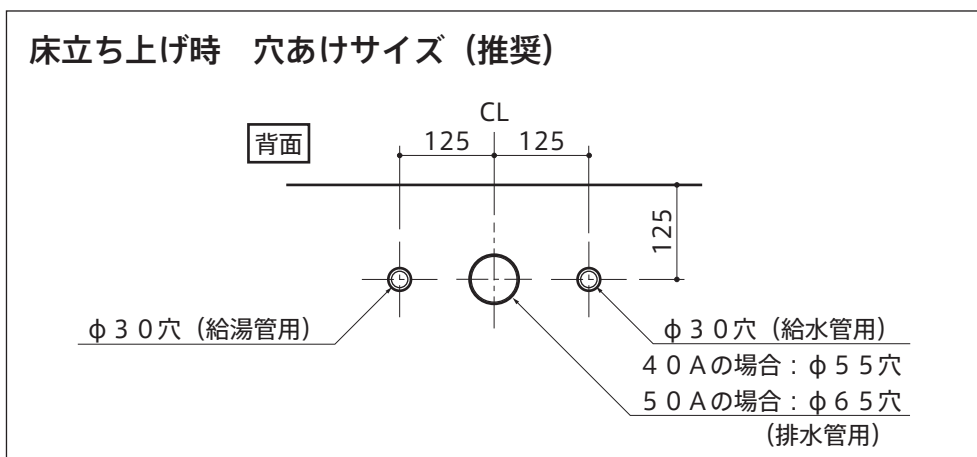
取付・設置完了後は、パネルや扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



使用中にパネルや扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

- ① 注文した製品が、納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強枠の確認
 - ・取付・設置図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口などが施工されているか確認してください。
 - ・床の水平レベルや強度を確認してください。

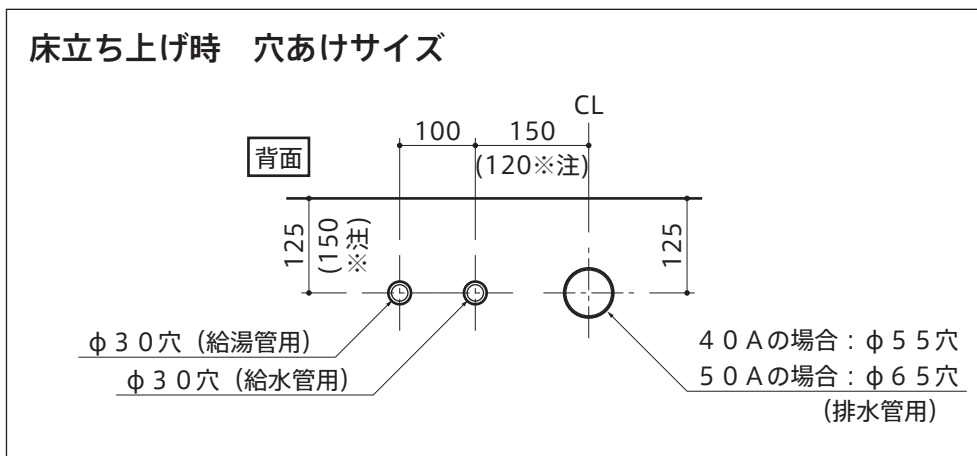
【3D、2Dシンクユニット】 W1200



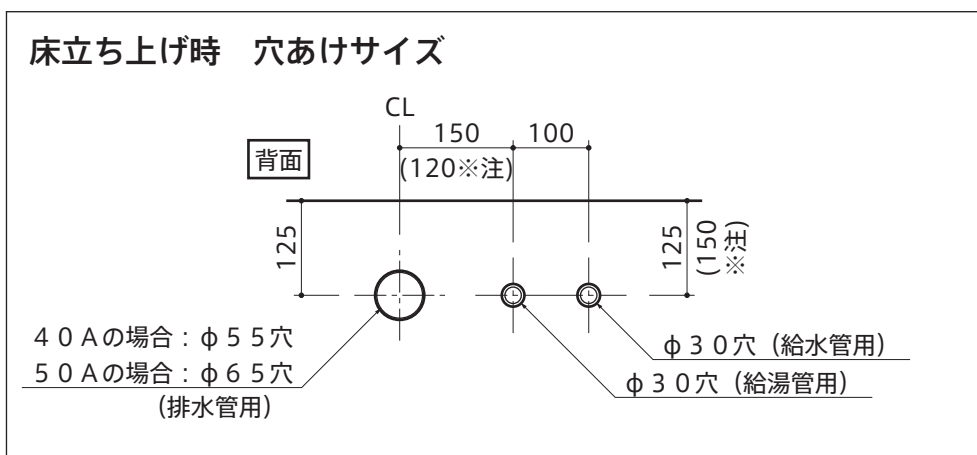
【3DS、2DSシンクユニット】 W900/W750

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

・ L - t y p e (シンクユニットが左側にくる場合)



・ R - t y p e (シンクユニットが右側にくる場合)



ユニット構成

・BAY キューブは、

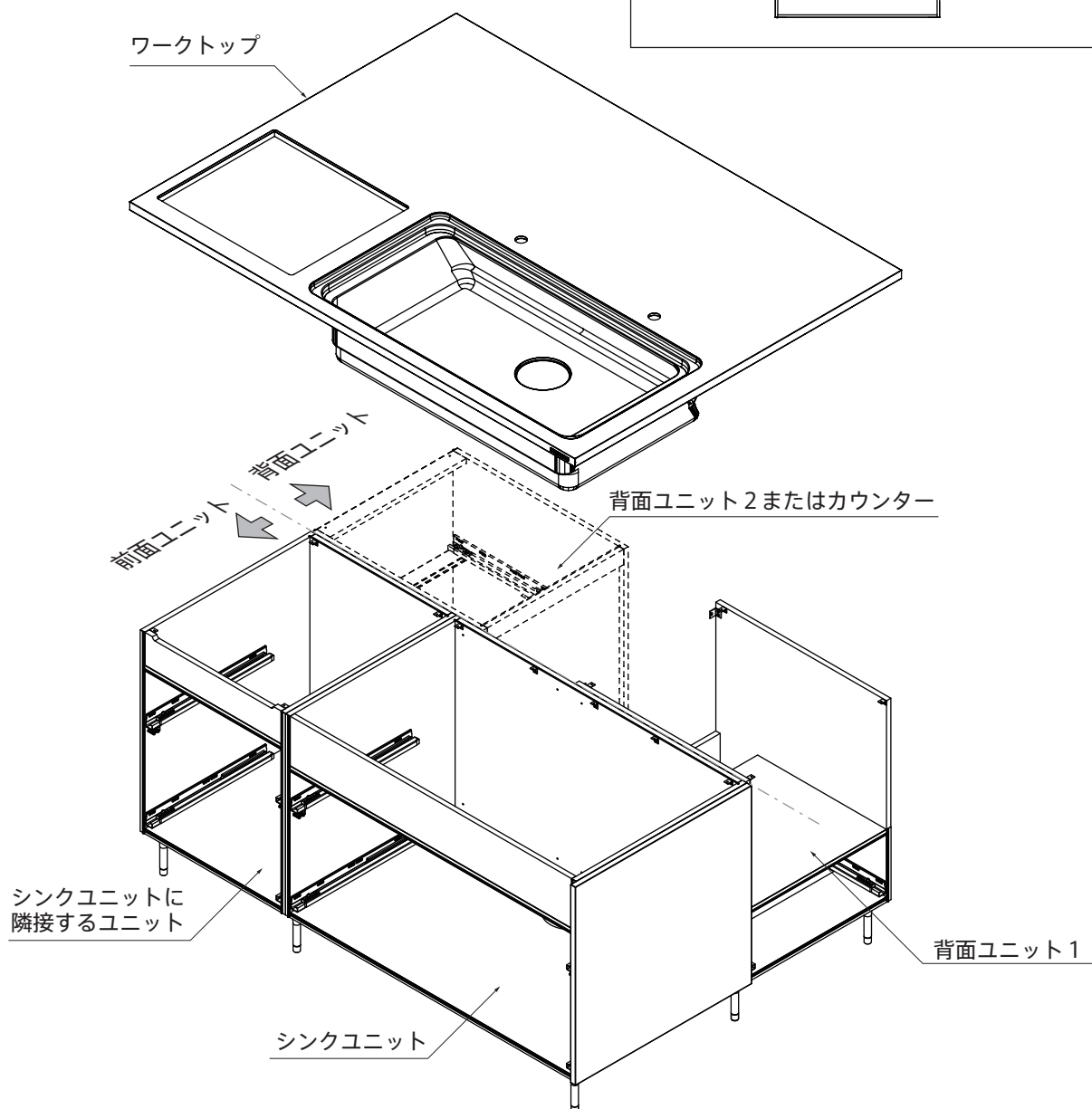
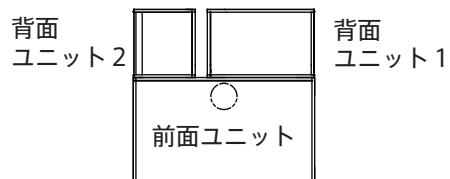
前面ユニット シンクユニット／シンクユニットに隣接するユニット

背面ユニット 前面ユニットの背面に配置されたユニット

- ・背面ユニット1（シンクユニット背面のユニット）
- ・背面ユニット2（前面ユニットが3 D・2 Dシンクユニットのみの場合
D430開き扉ユニット（※下図参照））
- ・カウンター（背面ユニット1のみの場合）

で構成されています。

※前面ユニットが3 D・2 D
シンクユニットのみの場合



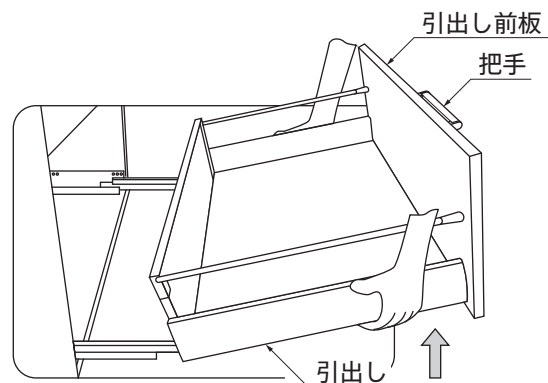
ユニットの取付け

1	引出しの取り外し	6
2	アジャスターの取付け	6
3	転倒防止部品の取付け	7～12
4	前面ユニットの連結	13
5	背面ユニットの配置とスペーサーの取付け	14～15
6	背面ユニット1の連結	16
7	スペーサーユニットの取付け	17～18
8	背面ユニット2の連結	18～20
9	レノプラスの取付け	20
10	フロントパネルの取付け（カウンターがある場合）	21～23
11	フロアユニット用サイドパネルの取付け	24～26
12	L金具の取付け	27～32
13	ワークトップの取付け	33
	配管前の準備／排水管の配管／配管カバー、水栓の取付け	34
	リカバリータンクの取付け	35
	ステンレス配管カバーの取付け	36
	排水隠しカバーの取付け	37
	配管ボックスの取付け	38
	プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け	39
	ミーレ／GAGGENAU食器洗い乾燥機配管図	40～41
	リンナイ食器洗い乾燥機器配管図	42
	ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	43
	GAGGENAU食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	44～45
	リンナイ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け	46
	フロントパネル点検口の取付け	47～48
	コンセントの取付け	49～51
	把手の取付け	52
	クロスギャラリーの取付け	53
	引出しの取り外し、取付け	54
	扉（丁番）の着脱	55
	引出し前板の調整	56～57
	プッシュオンの調整	58
	扉（丁番）の調整	59

1 引出しの取り外し

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外します。

※把手や引出し前板を持って取り外さないでください。



2 アジャスターの取付け

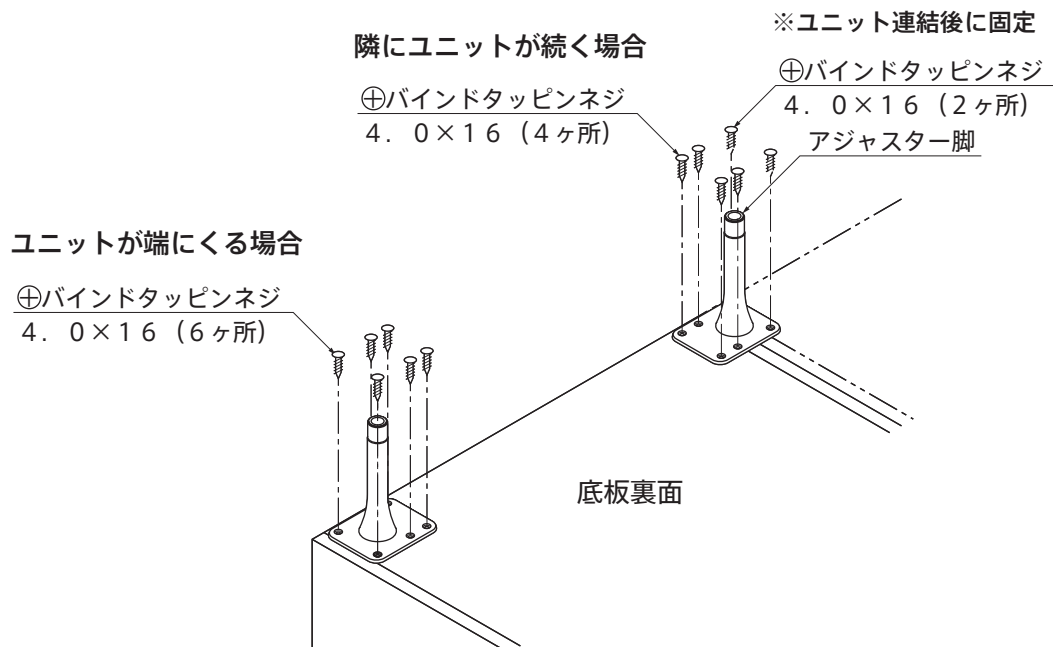
- ・ユニットを裏向けて、底板裏面にアジャスターを取付けます。

底板裏面に開いている下穴にアジャスター脚の穴を合わせ、⊕バインドタッピンネジ4.0×16にて固定します。

※アジャスターの取付位置とアジャスター脚の向きは、「アジャスター配置図」を参照してください。

※ユニットが端にくる場合は**6本**固定します。

隣にユニットが続く場合は**4本**固定し、残りの**2本**はユニット連結後に固定します。（「アジャスターの固定」を参照）



※アジャスター脚は、ユニットの外側に2本、内側に4本のネジ穴がくる向きで固定します。通常のBAYの向きとは異なりますので注意してください。

3 転倒防止部品の取付け

1. コンクリート床、石床の場合、床にカールP C プラグを取付けます。
ユニットの設置位置を決めます。
2. アジャスター脚の設置位置にマーキングします。(図1)
3. ユニットの位置をずらしません。(図1)
4. 床にφ6 深35の下穴を開けます。
下穴にカールP C プラグ6×25 (市販品)を取付けます。(図2)
5. ワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床に取付けます。(図3)
6. 転倒防止部品にアジャスター脚を差し込みます。(図4)
7. アジャスター脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。(図5)

■調整範囲 0～+10mm

※ アジャスト部分の固定穴は見えないよう内側へ向けて調整します。

8. アジャスター脚の固定穴(1ヶ所)から六角穴止めネジ(棒先)にて固定します。(図6)

図1

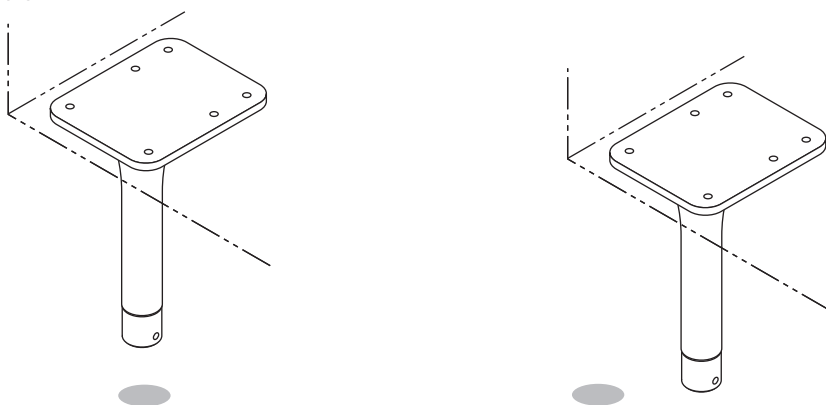


図2

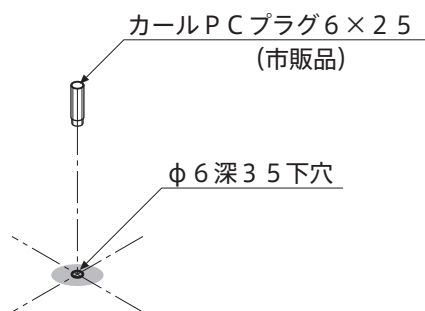


図3

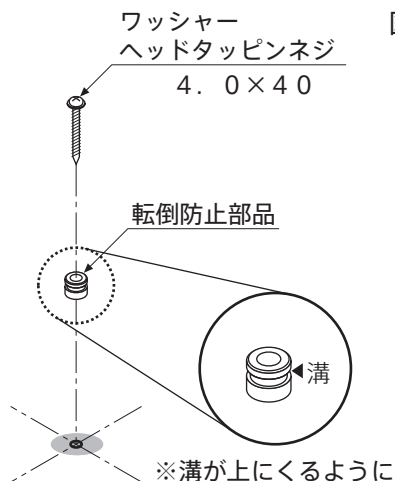


図4

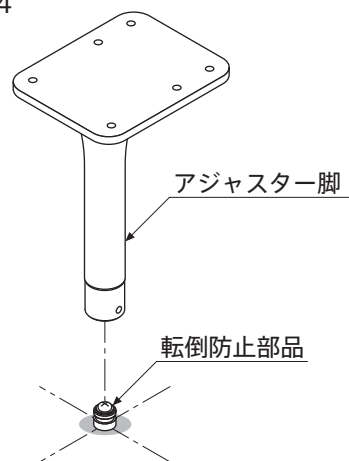


図5

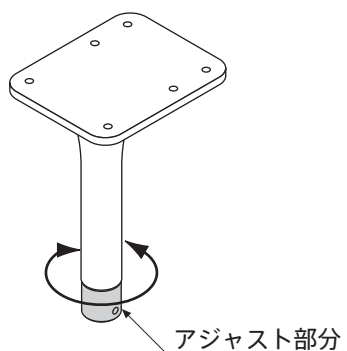
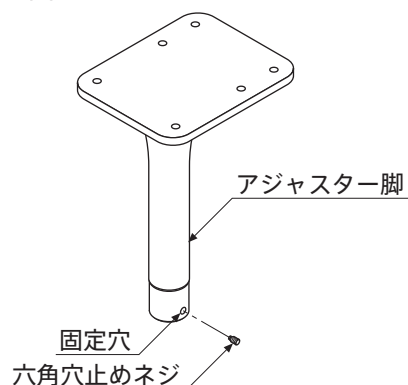


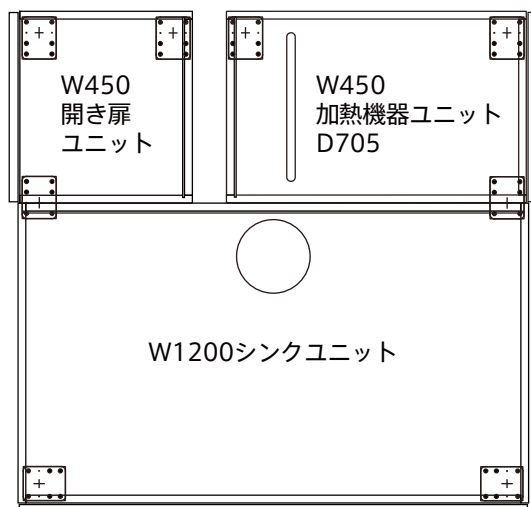
図6



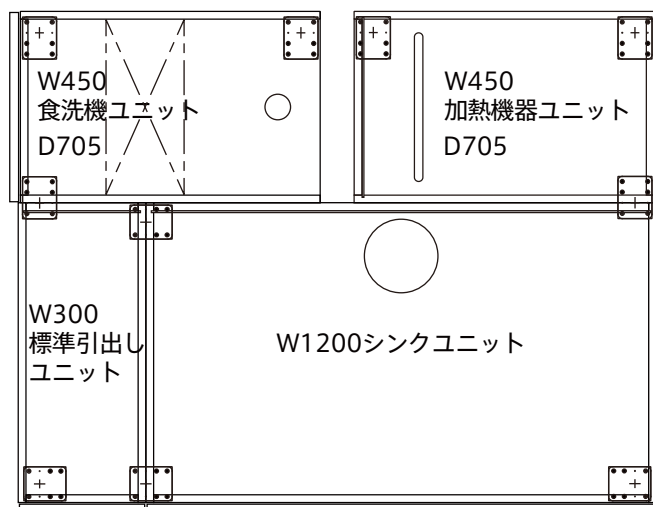
注意：アジャスター脚は必ず床に固定してください。

■アジャスター配置図

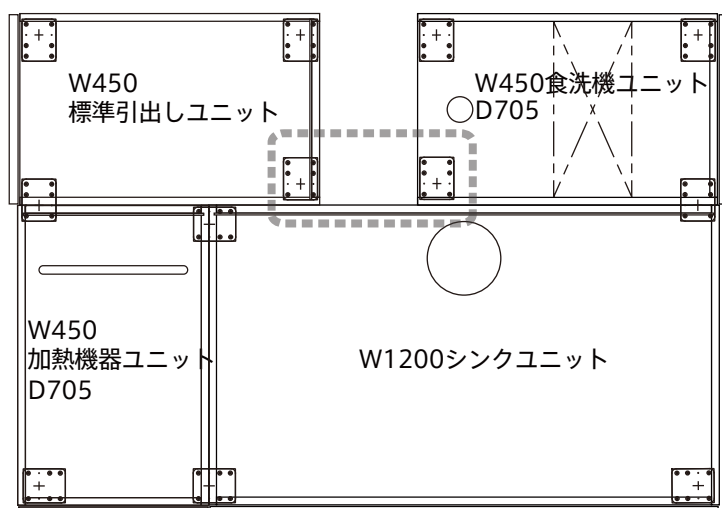
3 D / 2 D シンク
W1240mm×D1200mm



3 D / 2 D シンク
W1540mm×D1200mm

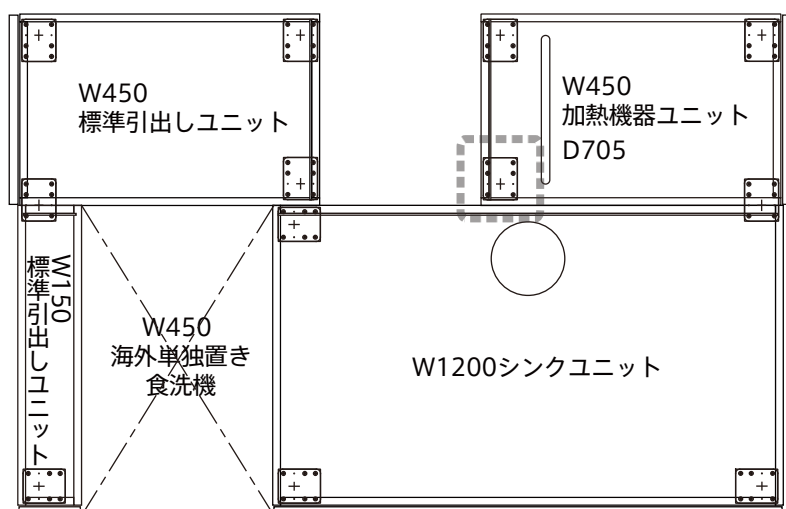


3 D / 2 D シンク
W1690mm×D1200mm



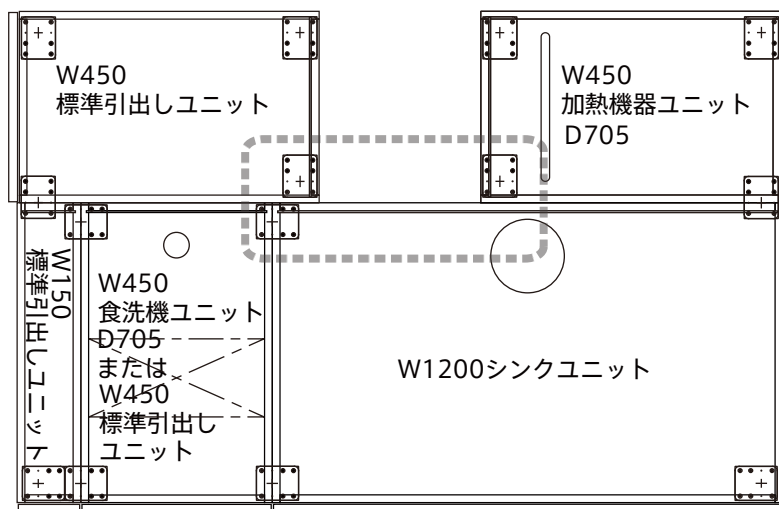
一部のアジャスター脚には転倒防止部品は不要です。

3 D / 2 D シンク
W1840mm×D1200mm

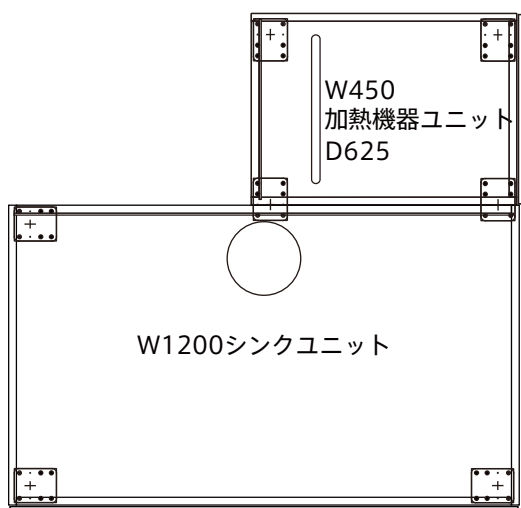


部分のアジャスター脚には転倒防止部品は不要です。

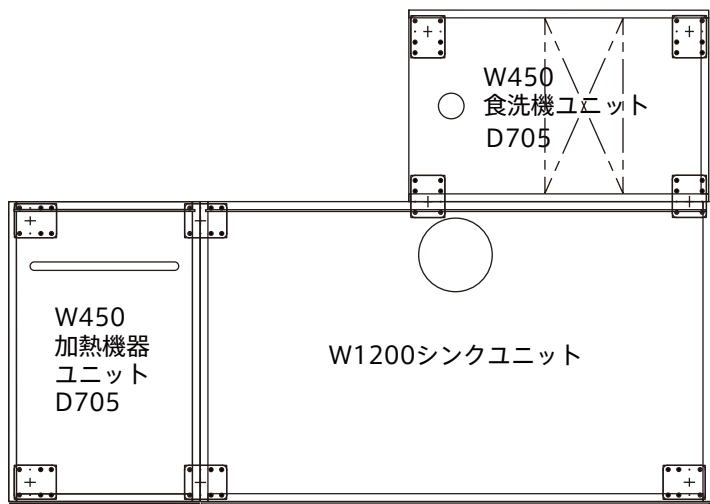
3 D / 2 D シンク
W1840mm×D1200mm



3 D / 2 D シンク
W1240mm×D1200mm

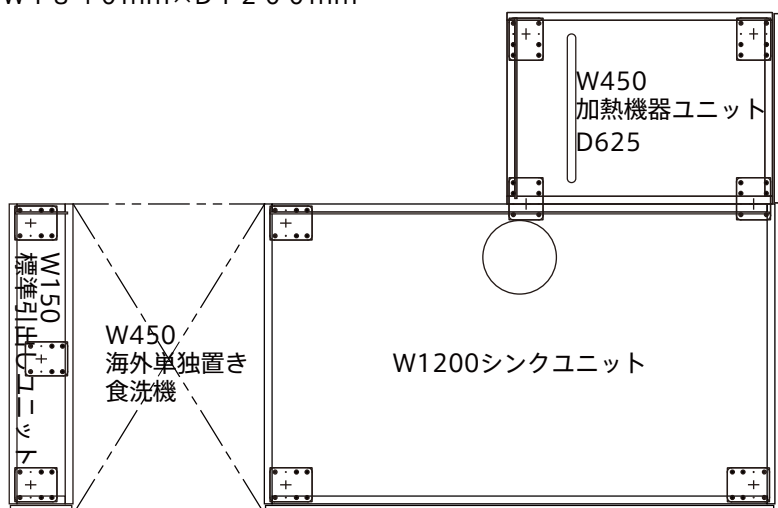


3 D / 2 D シンク
W1690mm×D1200mm

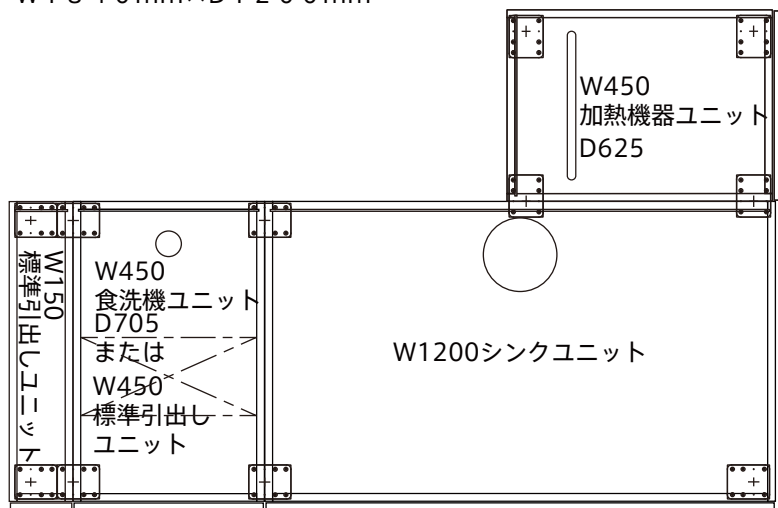


3 D / 2 D シンク
W1840mm×D1200mm

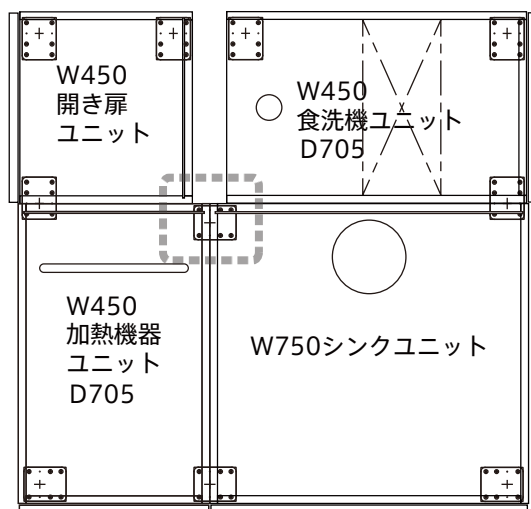
部分のアジャスター脚には転倒防止部品は不要です。



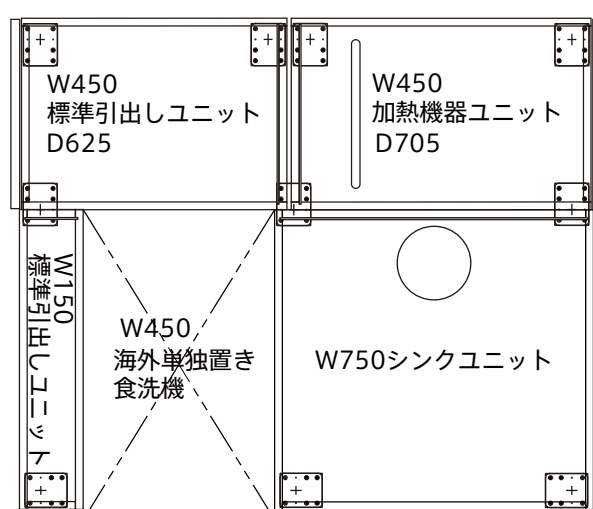
3 D / 2 D シンク
W1840mm×D1200mm



3 D S / 2 D S シンク
W1240mm×D1200mm

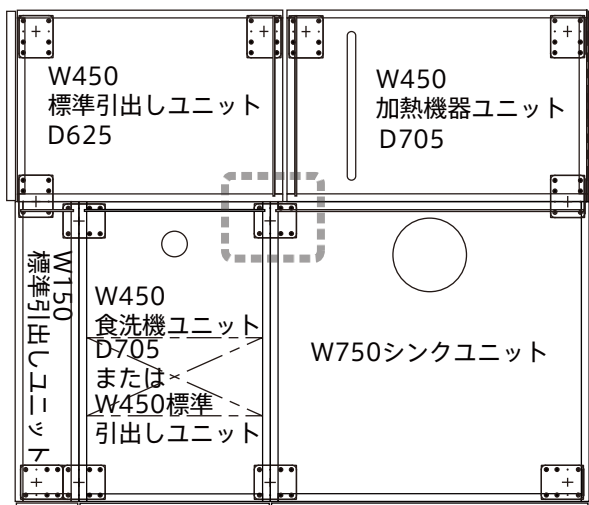


3 D S / 2 D S シンク
W1390mm×D1200mm

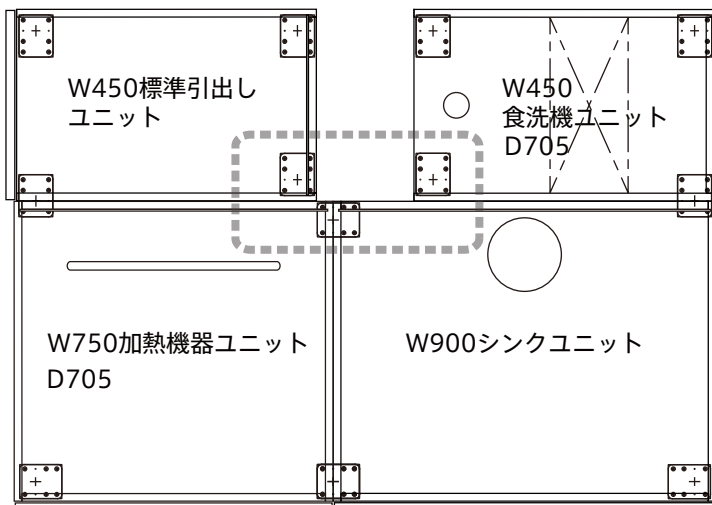


部分のアジャスター脚には転倒防止部品は不要です。

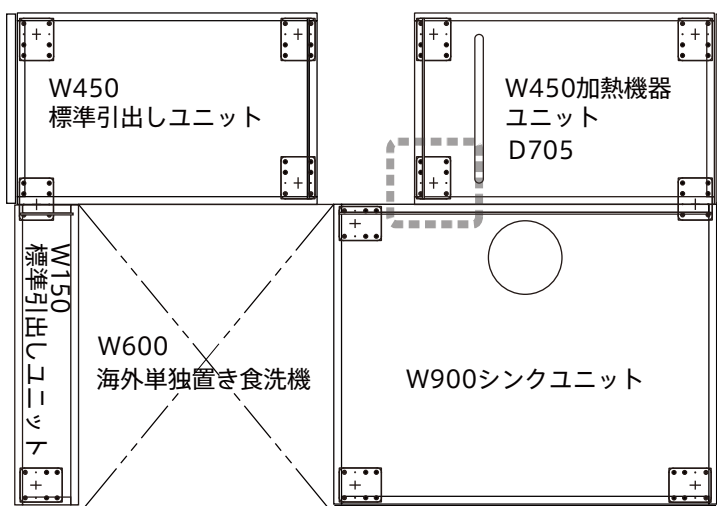
3DS/2DSシンク
W1390mm×D1200mm



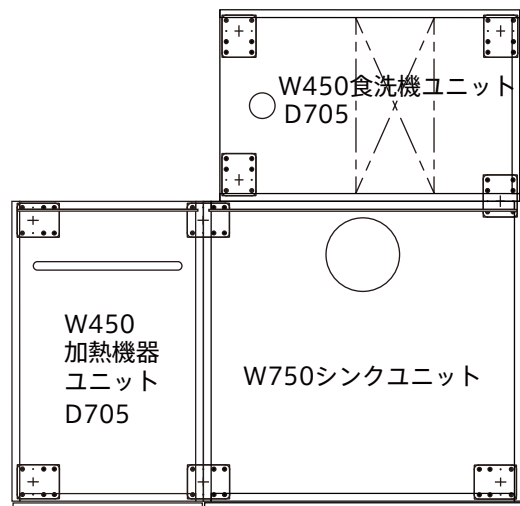
3DS/2DSシンク
W1690mm×D1200mm



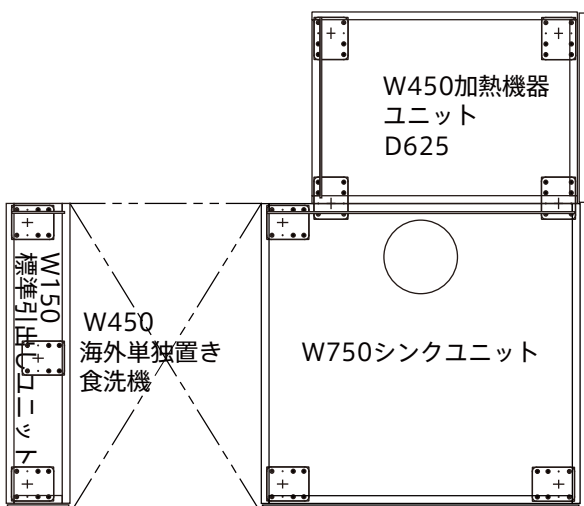
3DS/2DSシンク
W1690mm×D1200mm



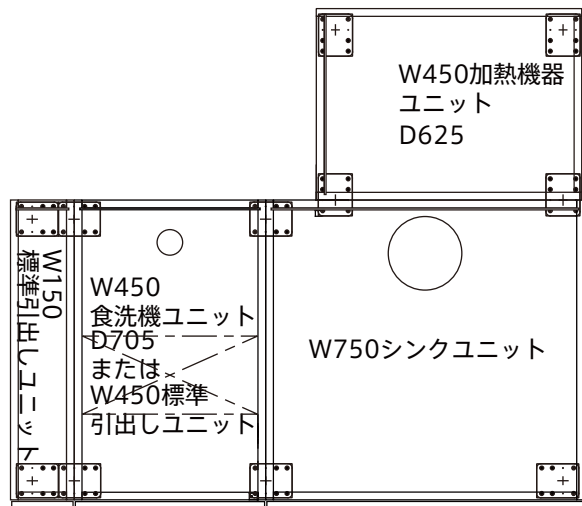
3DS/2DSシンク
W1240mm×D1200mm



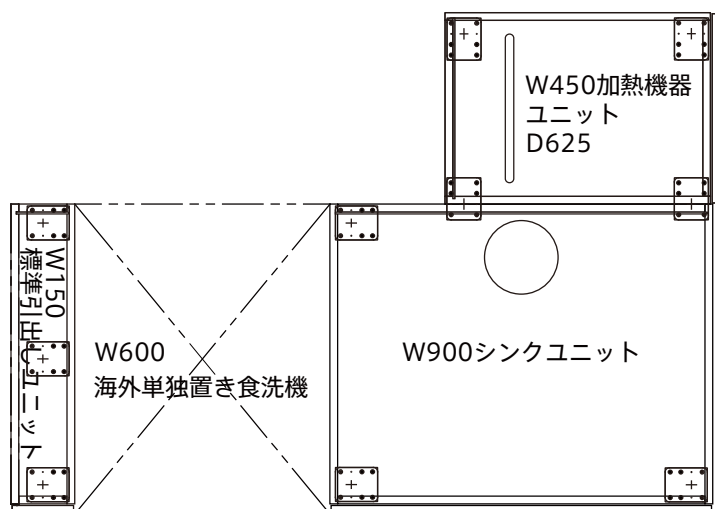
3DS/2DSシンク
W1390mm×D1200mm



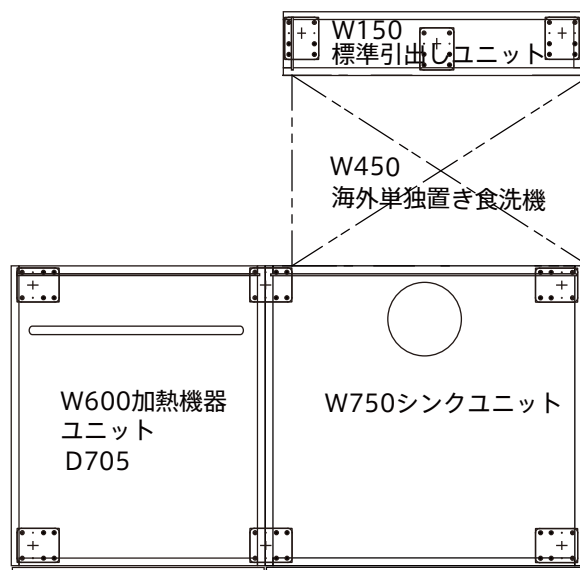
3DS/2DSシンク
W1390mm×D1200mm



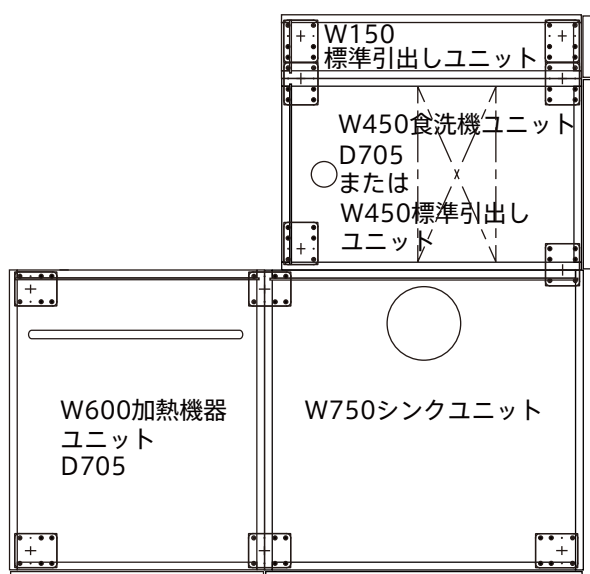
3DS/2DSシンク
W1690mm×D1200mm



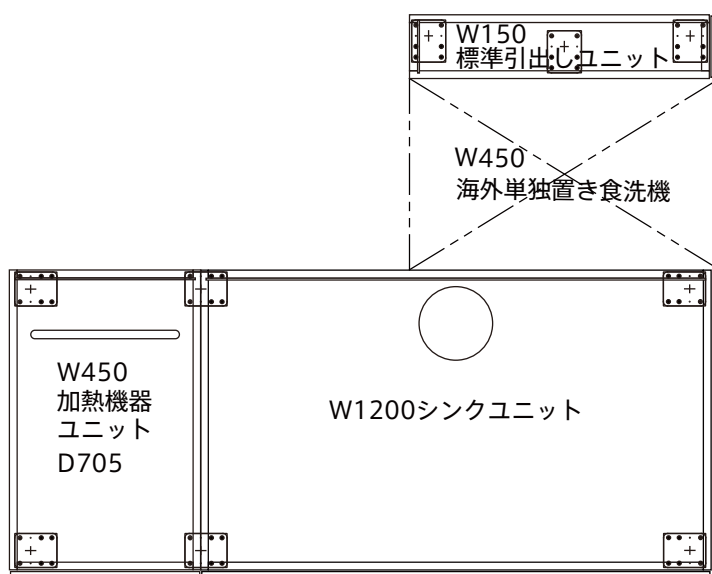
3DS/2DSシンク
W1390mm×D1350mm



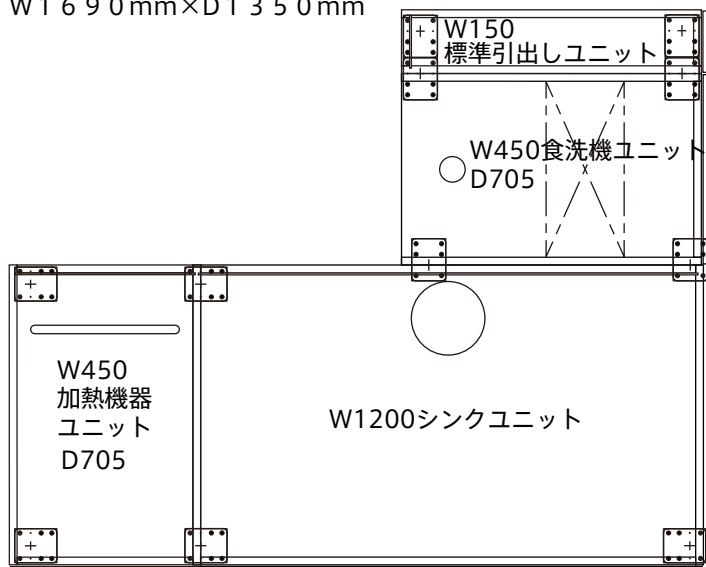
3DS/2DSシンク
W1390mm×D1350mm



3D/2Dシンク
W1690mm×D1350mm



3D/2Dシンク
W1690mm×D1350mm

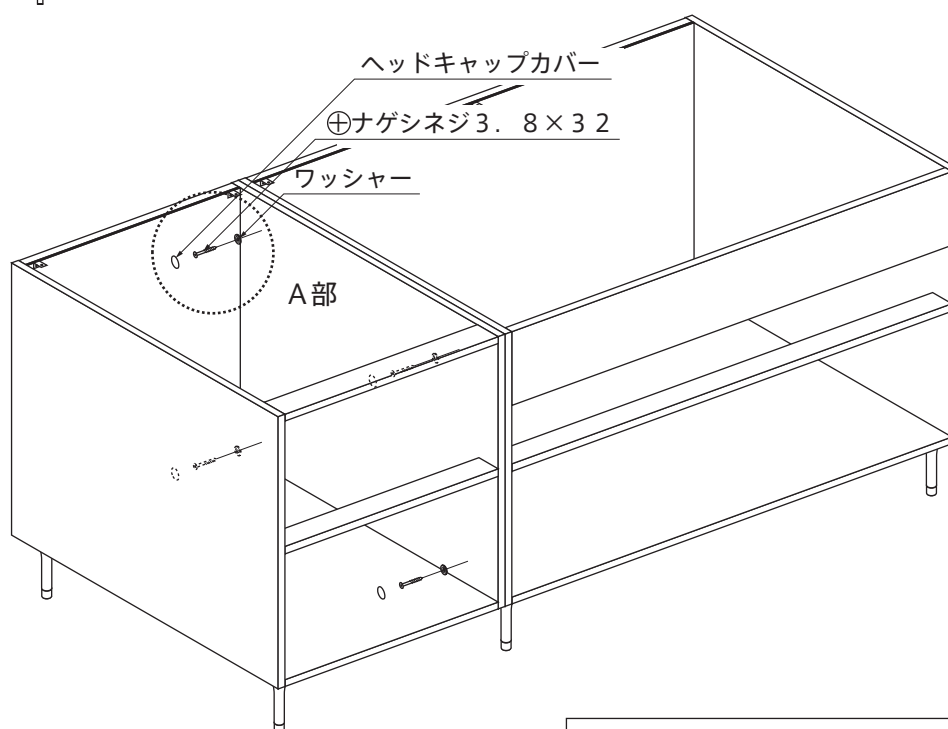
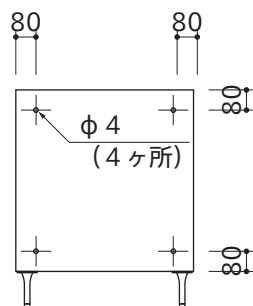


4 前面ユニットの連結

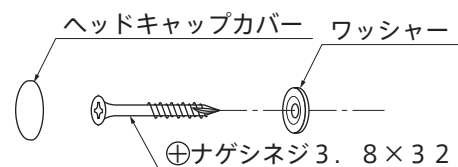
・シンクユニットと隣接するユニットを連結します。

⊕ナゲシネジ3. 8×3 2にワッシャーを通して、指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

■ユニット連結位置 [側面図]



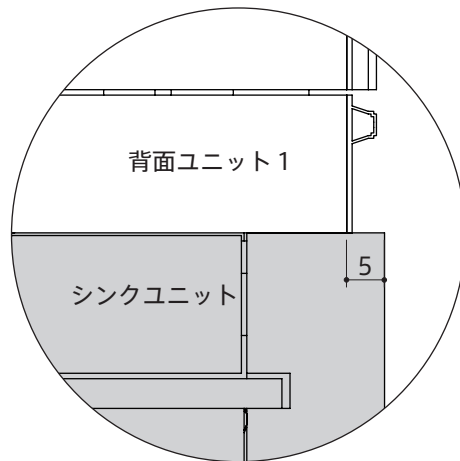
A部詳細図



5 背面ユニットの配置とスペーサーの取付け

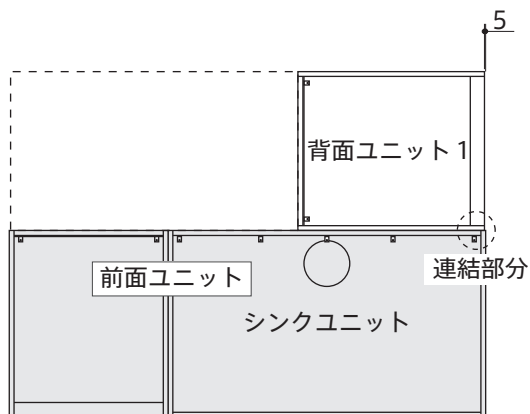
- ・背面ユニットの前端は前面ユニットの側面端部より 5 mm 内側になるように配置します。
- ・背面ユニットを連結する前に、前面ユニットの背板背面下部指定位置に $t = 18 \text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。

■連結部分詳細図

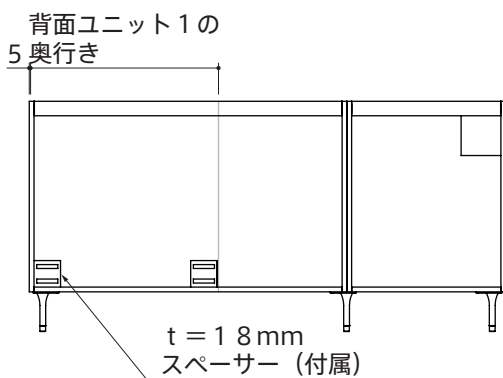


■背面ユニットにカウンターがある場合

[平面図]

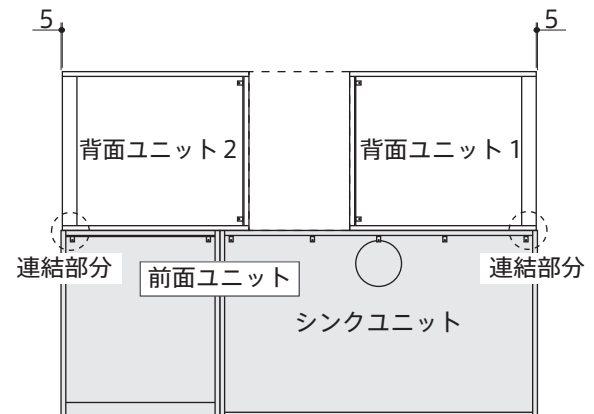


[背面図]

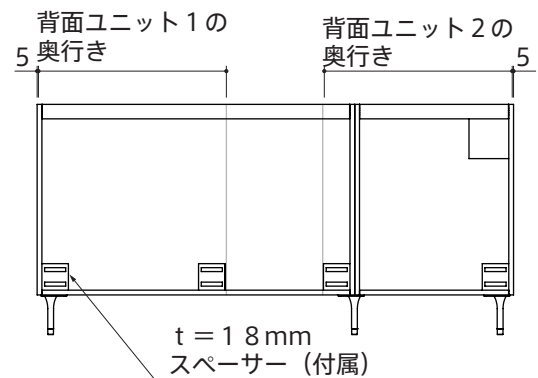


■背面ユニットにカウンターがない場合

[平面図]



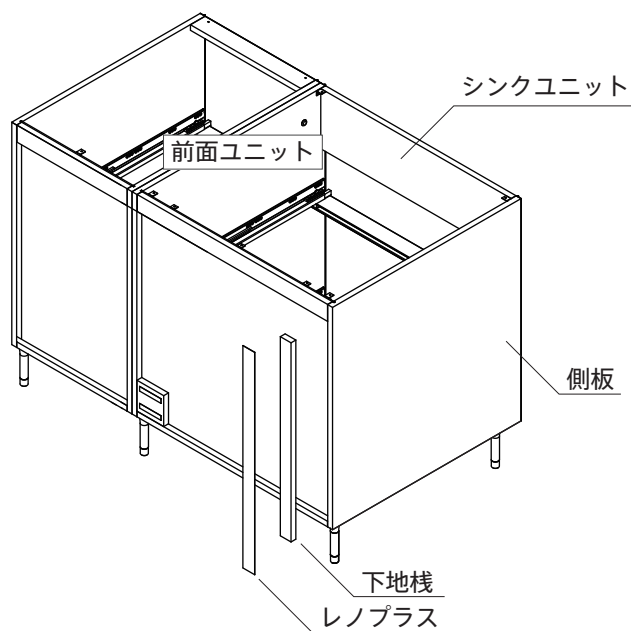
[背面図]



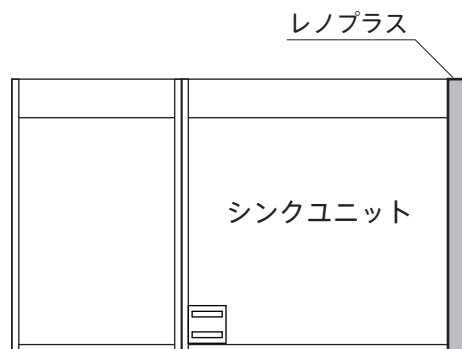
■背面ユニットにミーレ／GAGGENAU／リンナイ食器洗い乾燥機がくる場合

- ・背面ユニットにミーレ／GAGGENAU／リンナイ食器洗い乾燥機がくる場合、前面ユニット（シンクユニット）の背面の端部に下地棧とレノプラスを貼り付けます。
- ・前面ユニット（シンクユニット）端部の側板木口に合わせて、下地棧（付属品 W40×L645）の剥離紙を剥がして貼り付けます。
- ・シンクユニット下端と側板端に合わせて、側板と下地棧の上にレノプラス（付属品 W44×L720）を両面テープ（市販品）で貼り付けます。

※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。
貼り付け後は、両面テープがしっかり貼り付くようにレノプラスを押さえてください。

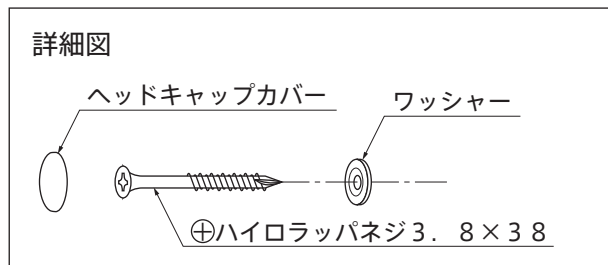
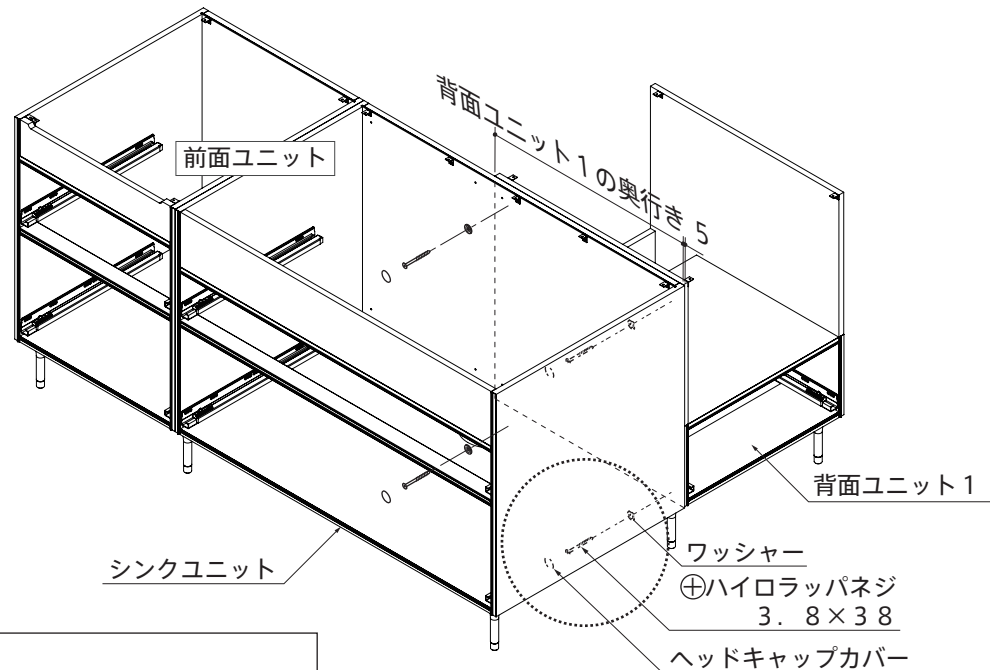


■レノプラス取付位置 [背面図]

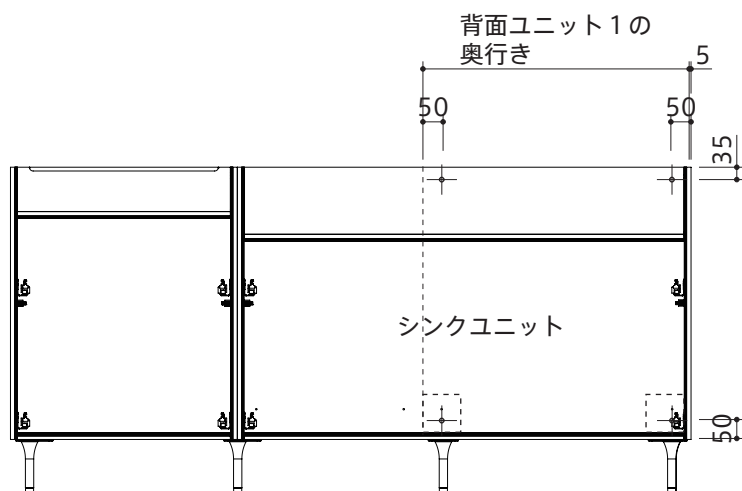


6 背面ユニット1の連結

- ・ シンクユニット側から背面ユニット1を固定します。
 ⊕ナゲシネジ3. 8×3.8にワッシャーを通して、指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・ ユニット連結後に⊕バインドタッピンネジ4. 0×1.6にてアジャスター脚を固定します。
 ⇒※背面にカウンターがある場合、背面ユニット1の連結後は「10 フロントパネルの取付け（カウンターがある場合）」へ進みます。
 ⇒※背面にカウンターがある場合でパネル交換システムでの施工の場合は、背面ユニット1の連結後、【パネル交換システムの場合】「7 交換用フロントパネル取付けの下準備」へ進みます。



■背面ユニット1連結位置 [正面図]



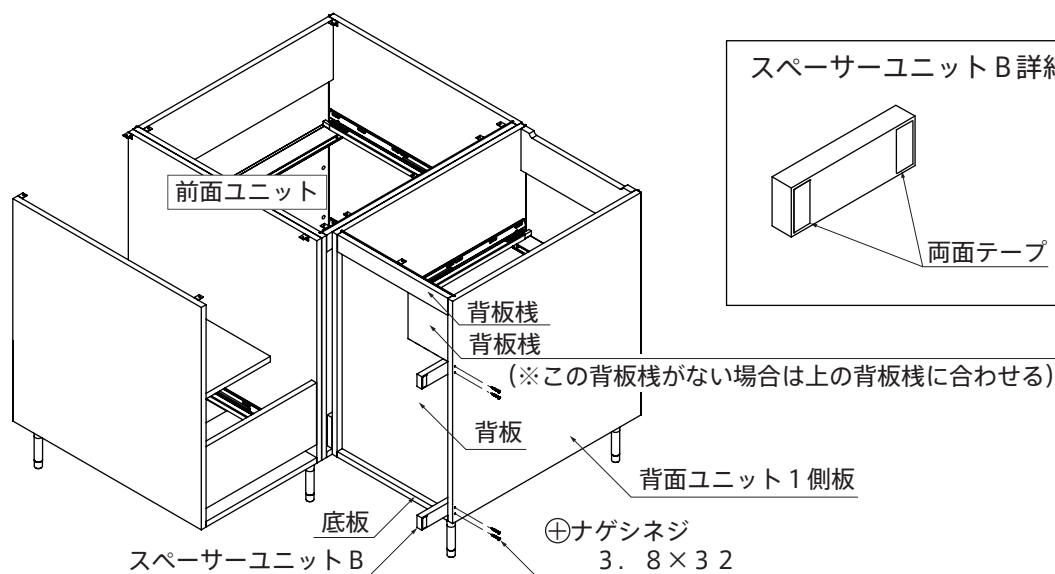
7 スペーサーユニットの取付け

※背面ユニットのすき間が10mmの場合はスペーサーユニットA、Bは取付けずに背面ユニット2の連結をします。

- ・背面ユニット1に背面ユニットのすき間をつないで連結するスペーサーユニットを取付けます。
- ・スペーサーユニットは、側板に取付けたスペーサーユニットB（両面テープ付き）の上にスペーサーユニットA（穴付き）を重ねて固定します。

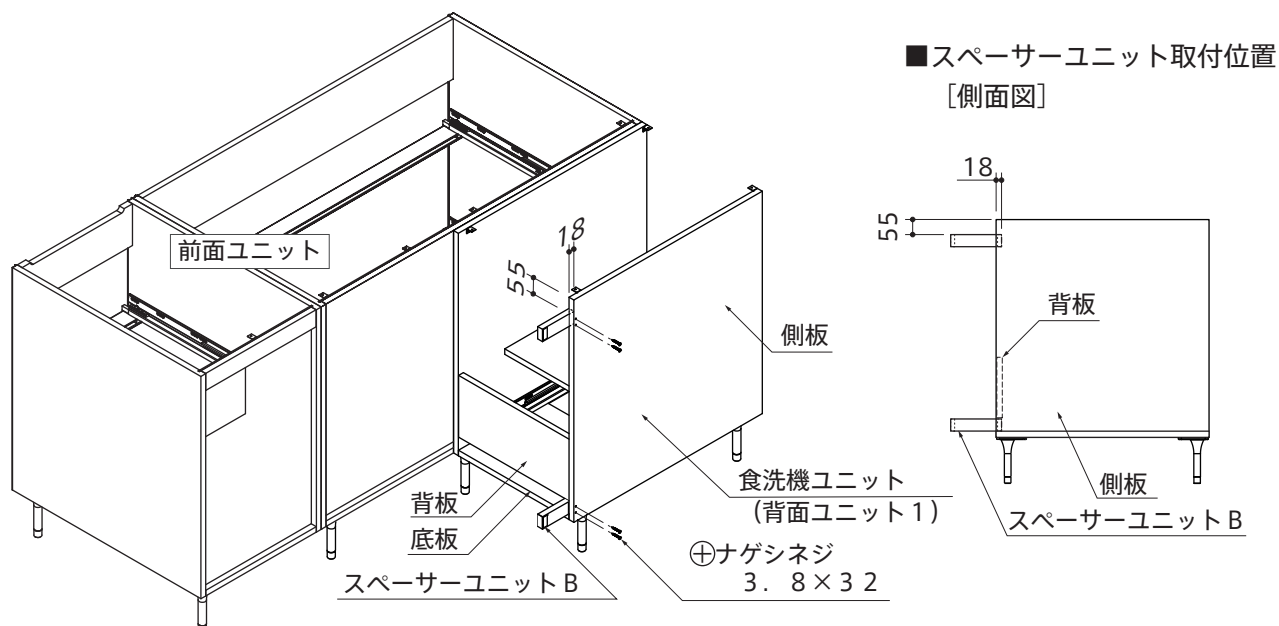
スペーサーユニットBの取付け

- ・背面ユニット1の背面の側板に、スペーサーユニットBの片側の端を、背板と側板と底板または背板棧に合わせて両面テープで仮止めします。（上下2ヶ所）
- ・背面ユニット1の側板から⊕ナゲシネジ 3.8×3.2にてスペーサーユニットBを固定します。



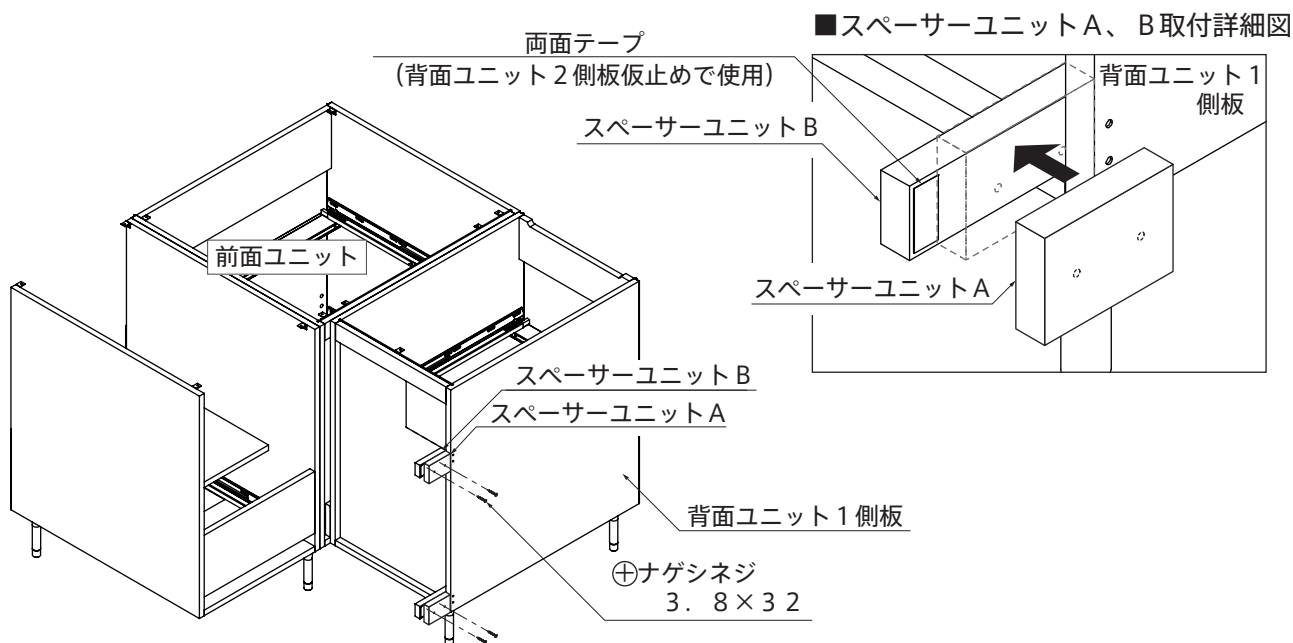
■食洗機ユニットの場合

- ・下部の取付けは、スペーサーユニットBを底板と背板の間に入れて、側板の背面から端を18mm重ねた位置に両面テープで仮止めします。
- ・上部の取付けは、側板上面から55mm下に、側板の背面からスペーサーユニットBの端を18mm重ねた位置に両面テープで仮止めします。
- ・側板から⊕ナゲシネジ 3.8×3.2にてスペーサーユニットBを固定します。



スパーサーユニットAの取付け

- ・スパーサーユニットA（穴付き）は、木口を背面ユニット1の側板木口に合わせ、スパーサーユニットBに下端を合わせて、⊕ナゲシネジ3. 8×3 2にてスパーサーユニットBに固定します。



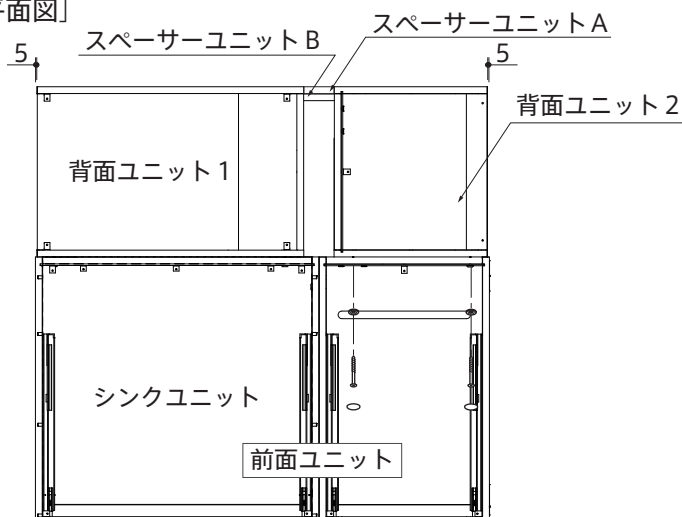
8 背面ユニット2の連結

※背面ユニットのすき間が10mmの場合はスパーサーユニットを取付けないため、前面ユニットと背面ユニット2の連結後は、「9 レノプラスの取付け」へ進みます。

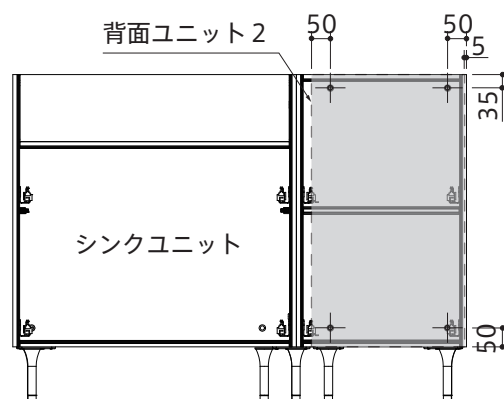
- ・背面ユニット2の前面を前面ユニットの端より5mm内側に配置し、背面ユニット1にスパーサーユニットが取付いている場合、スパーサーユニットBを背面ユニット2の側板の内側に両面テープで仮止めます。
- ・前面ユニット内側からワッシャーを通した⊕ナゲシネジ3. 8×3 8にて背面ユニット2を指定位置で固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・背面ユニット2の側面から、側板に仮止めたスパーサーユニットBを⊕ナゲシネジ3. 8×3 2にて固定して、背面ユニット1と連結します。
- ・ユニット連結後に⊕バインドタッピンネジ4. 0×1 6にてアジャスター脚を固定します。

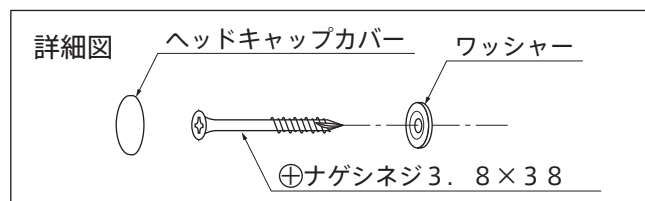
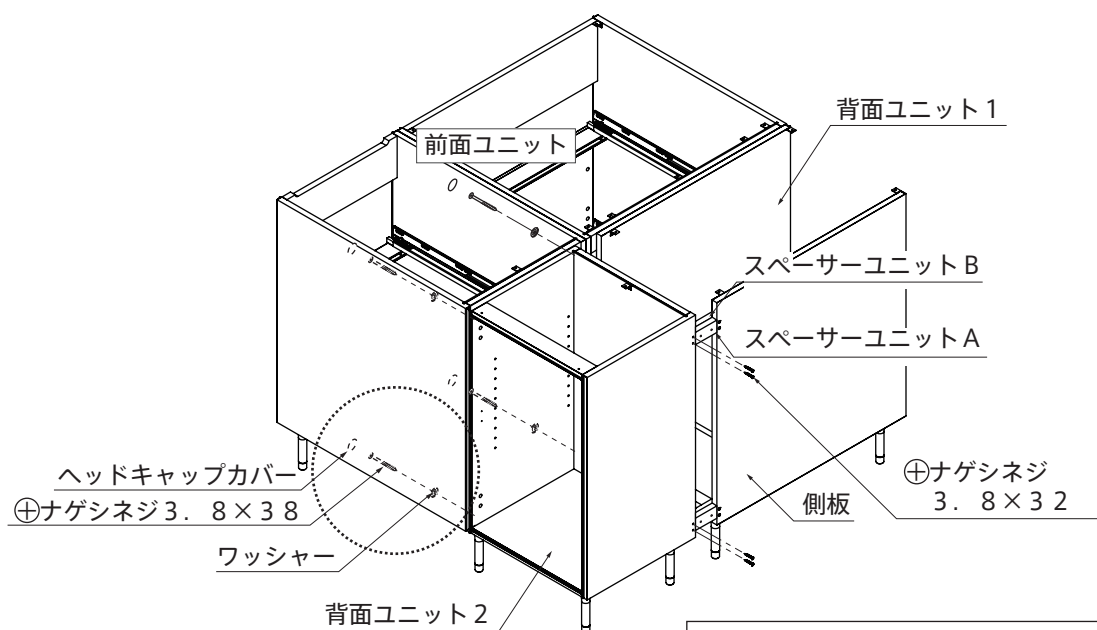
⇒※背面にカウンターがない場合でパネル交換システムでの施工の場合は、【パネル交換システムの場合】「8 交換用サイドパネル取付けの下準備」へ進みます。

[平面図]



■背面ユニット2連結位置 [正面図]
(前面ユニット内側からの連結位置)





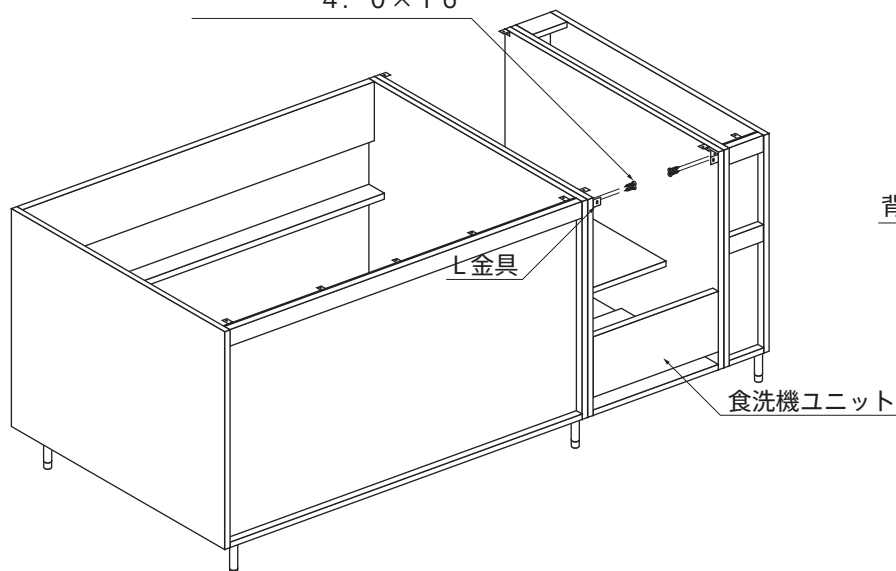
■食洗機ユニットが前面ユニットにくる場合

- ・食洗機ユニットが前面ユニットにくる場合、食洗機ユニット側板の背面側の指定位置に⊕バインドタッピンネジ 4.0×1.6 にて L 金具を取付け、背板の指定位置にφ4 の下穴を開けます。

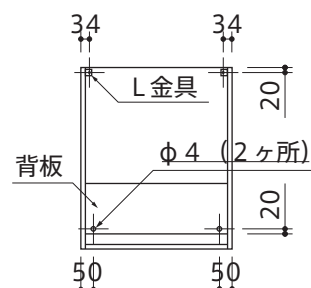
※食洗機ユニットの背面に背面ユニットがない場合、L 金具は外端の側板のみ取付けます。

- ・背面ユニット 2 を同様に配置して、スペーサーユニット B を側板に仮止め後、食洗機ユニットの上部は、側板に取付けた L 金具より⊕バインドタッピンネジ 4.0×1.6 にて、H709 フロントパネルを固定します。
- ・食洗機ユニット下部は、食洗機ユニットの内側から背板に開けた穴より⊕ナゲシネジ 3.8×3.2 にワッシャーを通して背面ユニット 2 を固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ・背面ユニット 2 の側板から、仮止めしたスペーサーユニット B を⊕ナゲシネジ 3.8×3.2 にて固定して、背面ユニット 1 と連結します。

⊕バインドタッピンネジ
4.0×1.6



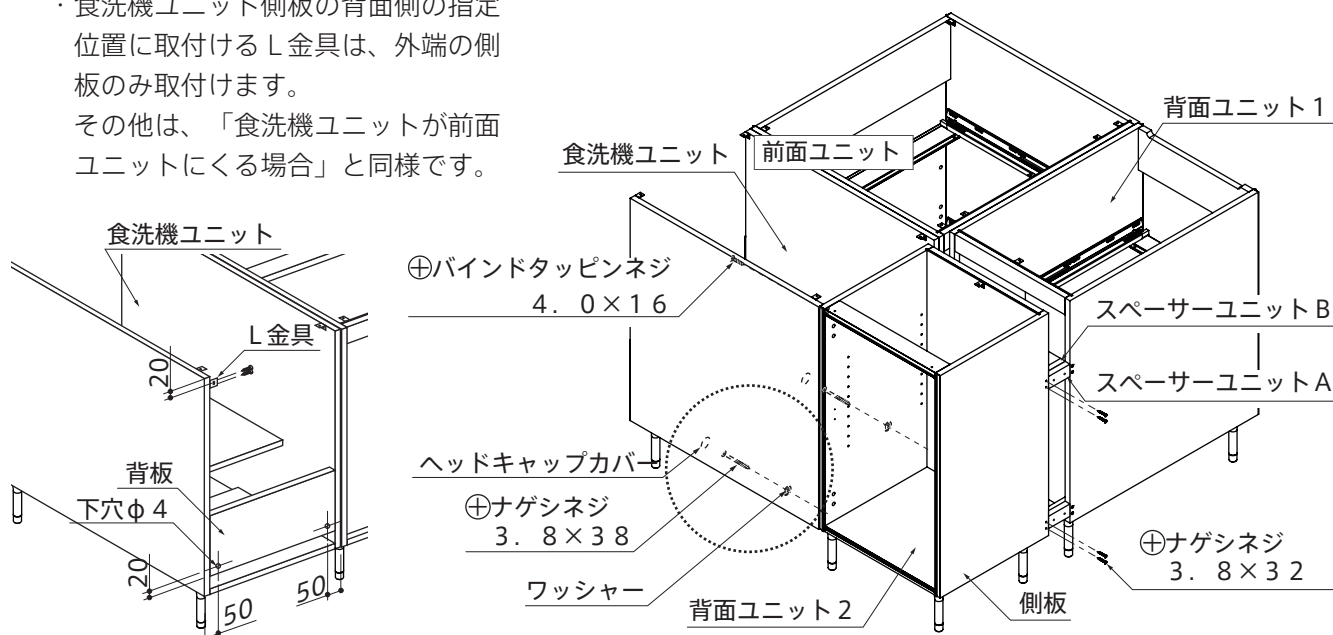
■L 金具の取付位置、 穴開け位置 [背面図]



■食洗機ユニットの背面に背面ユニットがない場合（食洗機ユニットの片側のみ固定する場合）

- ・食洗機ユニット側板の背面側の指定位置に取付けるL金具は、外端の側板のみ取付けます。

その他は、「食洗機ユニットが前面ユニットにくる場合」と同様です。



9 レノプラスの取付け（※背面ユニットのすき間が10mmの場合）

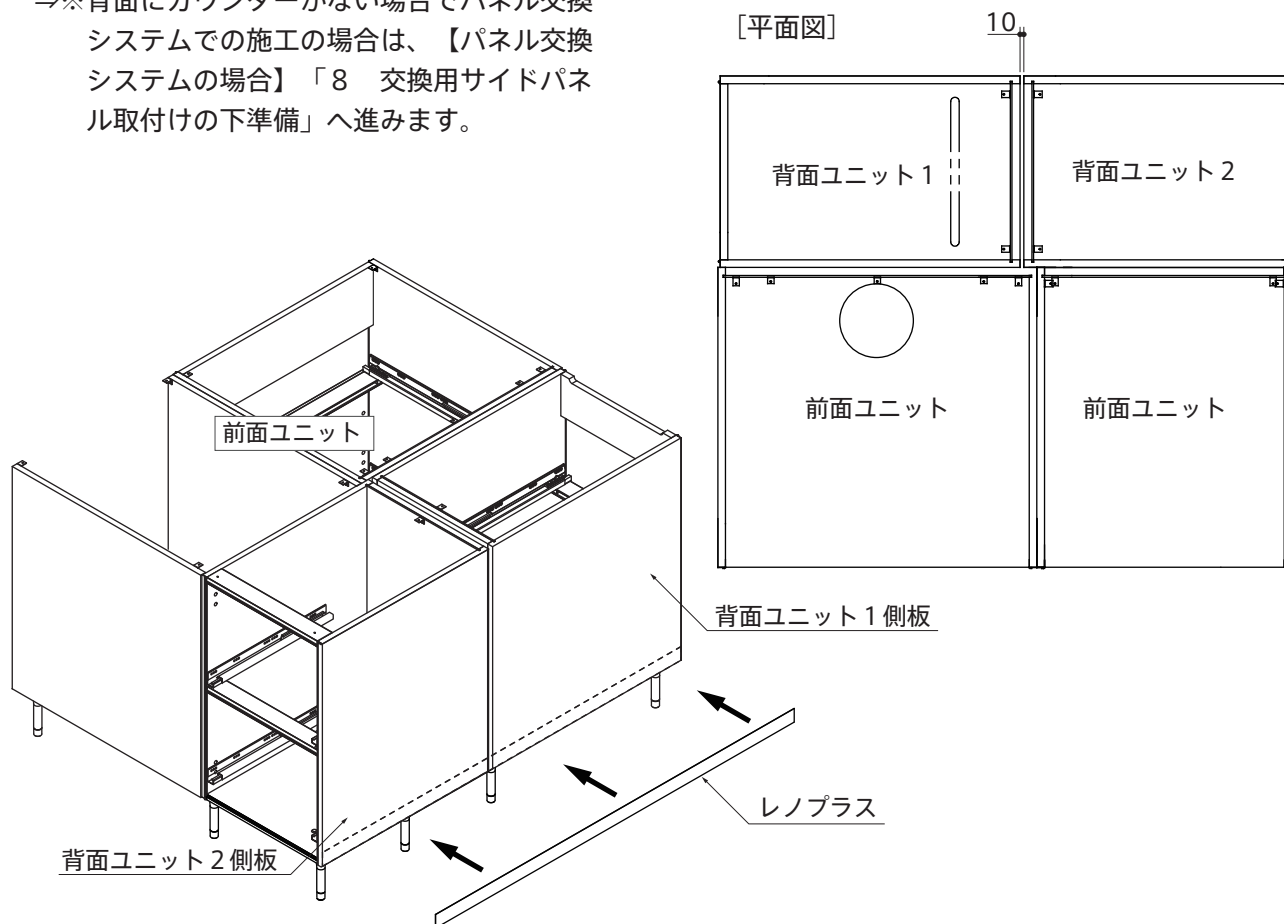
- ・背面ユニットのすき間が10mmの場合は、背面の間口にレノプラスを取付けます。
- ・レノプラス（4.4mm）を背面の間口に合わせてカットします。
- ・背面ユニットの幅と下端を合わせてレノプラスを両面テープ（市販品）にて貼り付けます。

※一度貼ったら剥がしにくいので、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかり取付くようにレノプラスを押さえてください。

⇒※背面にカウンターがない場合でパネル交換

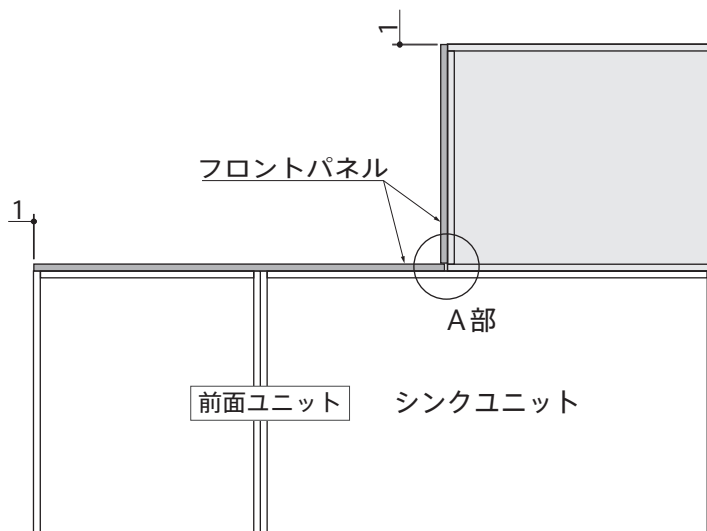
システムでの施工の場合は、【パネル交換システムの場合】「8 交換用サイドパネル取付けの下準備」へ進みます。



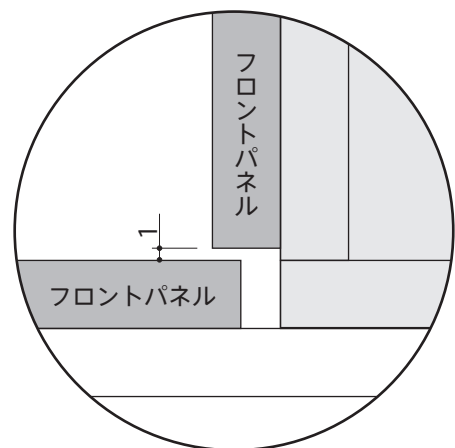
10 フロントパネルの取付け（カウンターがある場合）

- ・フロントパネルは、カウンター下のユニットの背面に取付けます。
 - ・背面ユニット1を連結後、フロントパネル1枚の取付面に対して、下部指定位置に $t = 18\text{ mm}$ スペーサーを両面テープで仮止めします。
 - ・スペーサーはフロントパネルの取付面両端から近い側板木口に合わせた位置、または背面ユニット取付時のスペーサーと並びの位置に取付けます。
- ※W1840以上の場合、シンクユニットの側板木口に合わせた位置にもスペーサーを取付けます。
- ・ユニット背板棧と仮止めした $t = 18\text{ mm}$ スペーサーの指定位置に $\phi 4$ の下穴を開けます。
 - ・フロントパネルは取付面の外端より 1 mm 内側に配置して、前面ユニット背面側、背面ユニット1背面側の順に取付けます。（「フロントパネル配置図」を参照）
 - ・ユニット内部から⊕ナゲシネジ3.8×38にワッシャーを通して、H709フロントパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- ※キッチン両端と中央のバランスがとれるように固定します。
- ※背面ユニット1に単独置きビルトイン機器を設置する場合は、フロントパネル点検口を取付けます。（「フロントパネル点検口の取付け」を参照）

■フロントパネル配置図 [平面図]

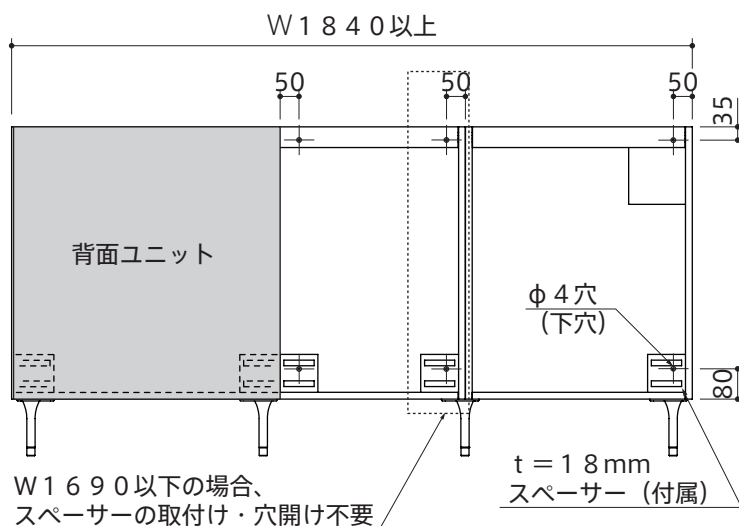


■A部詳細図

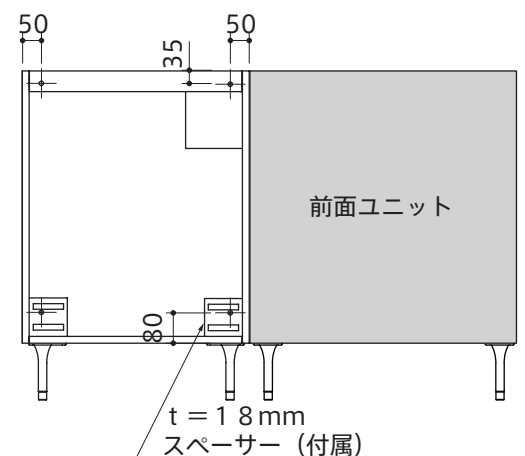


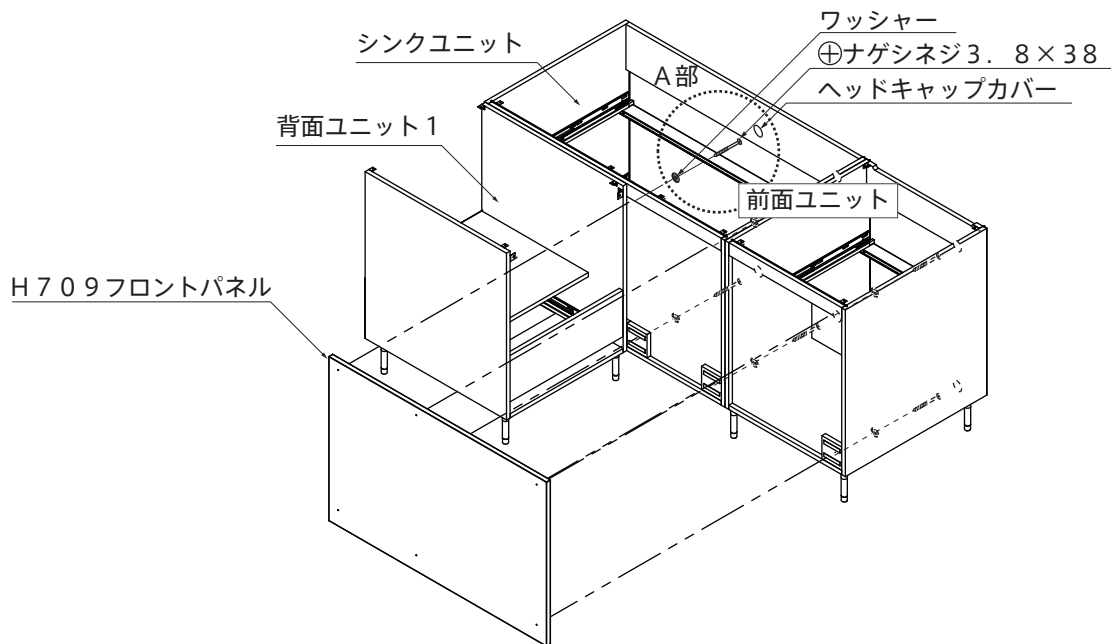
■スペーサーの配置、穴開け位置 [背面図]

前面ユニット



背面ユニット1

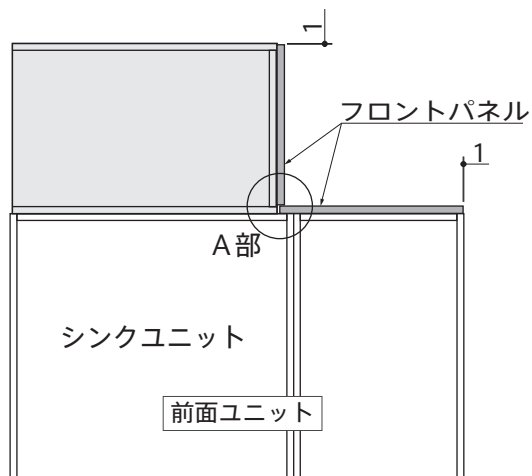




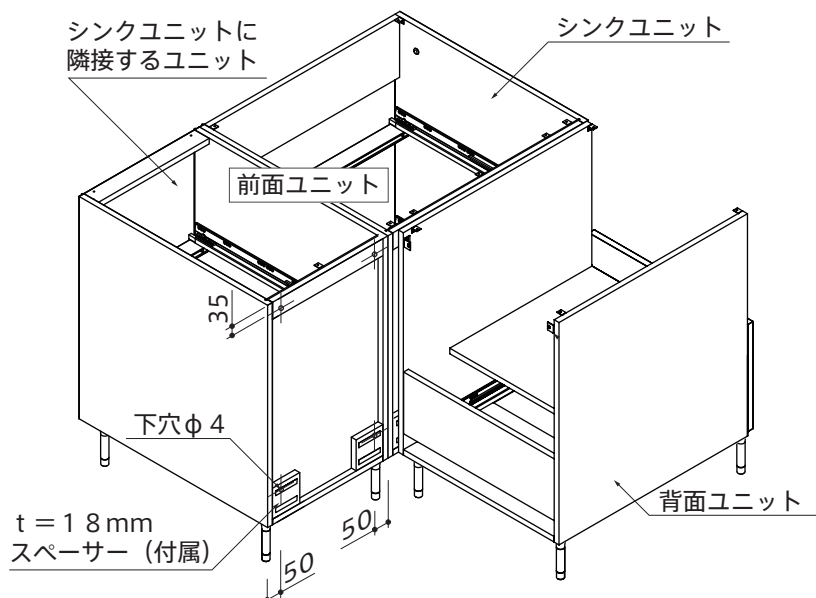
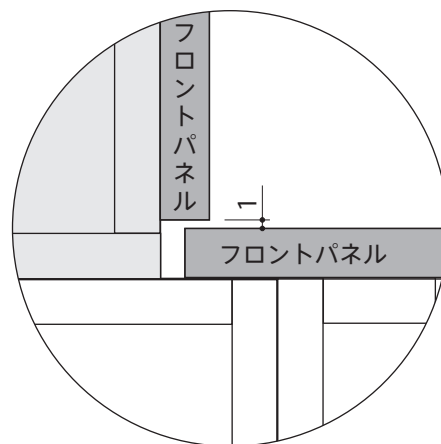
■W750シンクユニットの場合

- ・シンクユニット側にスペーサーが付けられないため、シンクユニットに隣接するユニット背板の側板木口に合わせた位置にスペーサーを取付けて、同様にフロントパネルを固定します。

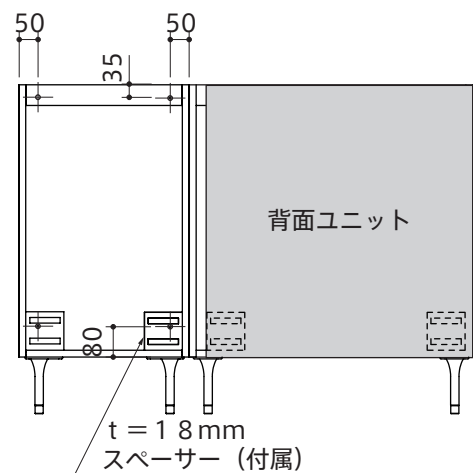
■フロントパネル配置図 [平面図]



■A部詳細図



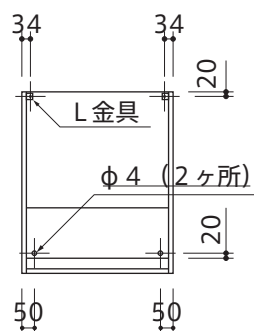
[背面図]



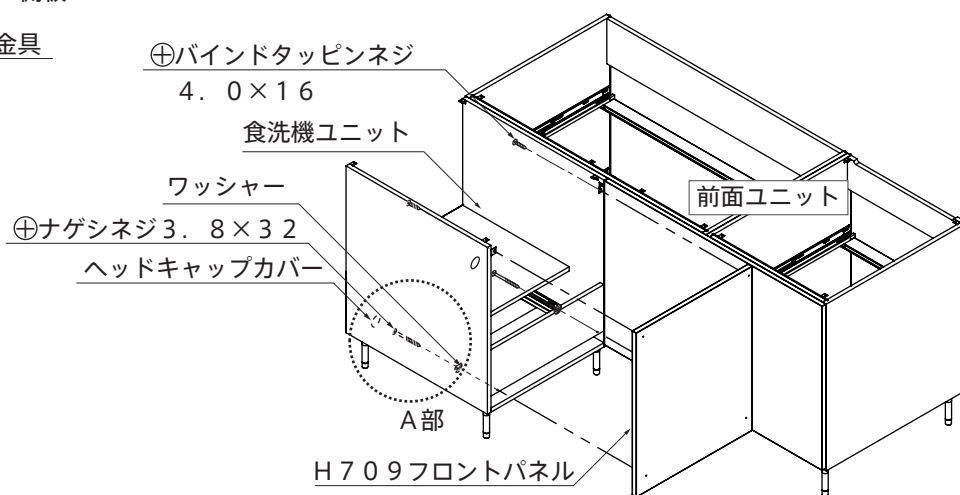
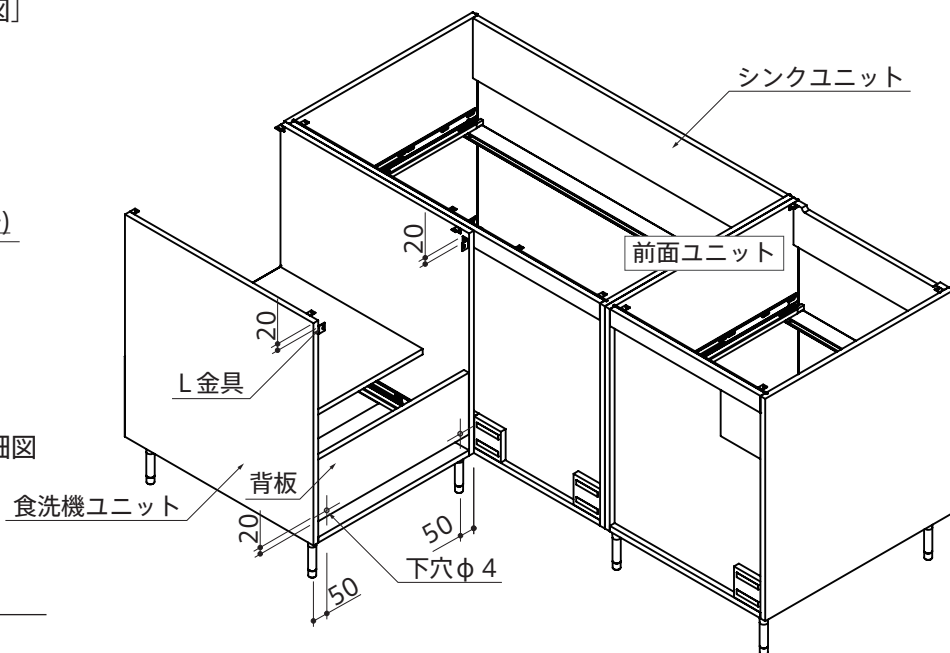
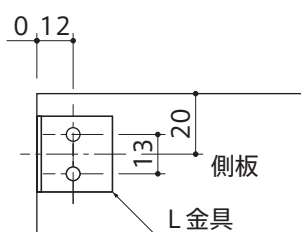
■食洗機ユニットの場合

- ・食洗機ユニット側板の背面側の指定位置に⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にてL金具を取付け、背板の指定位置にφ4の下穴を開けます。
- ・食洗機ユニットの上部は、側板に取付けたL金具より⊕バインドタッピンネジ4. 0×16にて、H709フロントパネルを固定します。
- ・食洗機ユニット下部は、食洗機ユニットの内側から背板に開けた穴より⊕ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通して背面ユニット2を固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

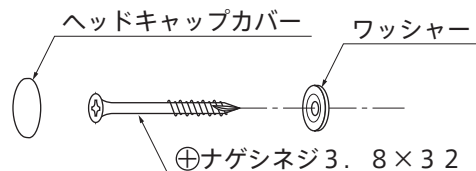
■L金具の取付位置、穴開け位置 [正面図]



■L金具取付位置詳細図 [側面図]



A部詳細図

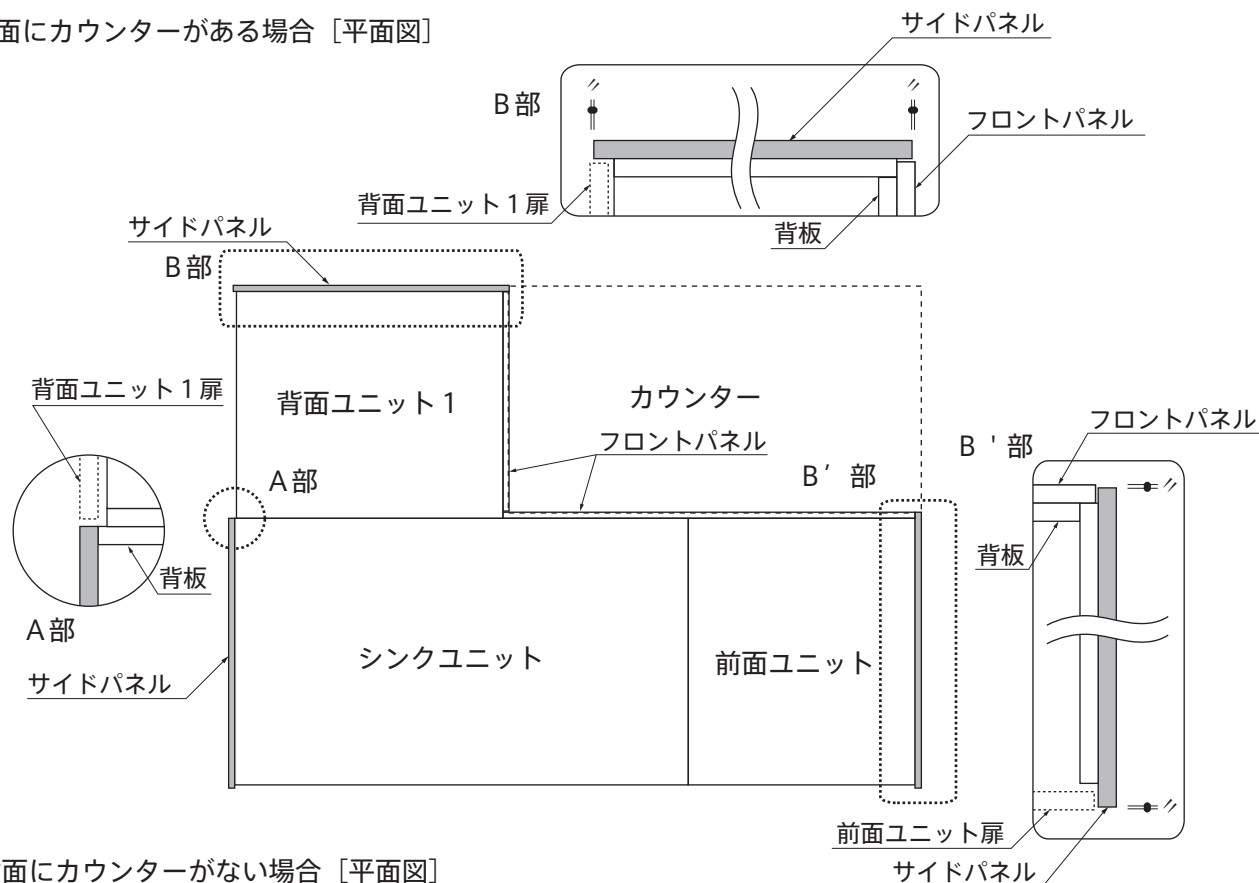


11 フロアユニット用サイドパネルの取付け

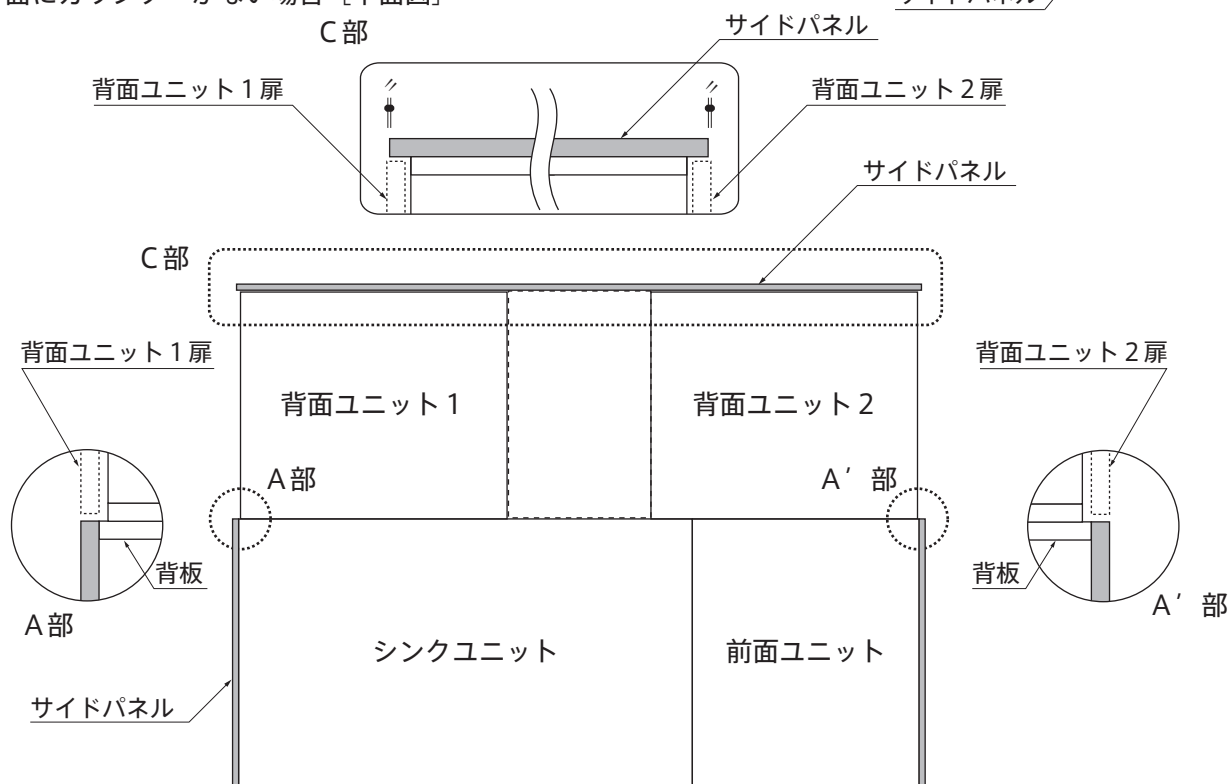
- ・ユニット側板の指定位置にφ4の下穴を開けます。
- ・ユニット内側から⊕ナゲシネジ3.8×3.2にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

サイドパネル取付位置

■背面にカウンターがある場合 [平面図]

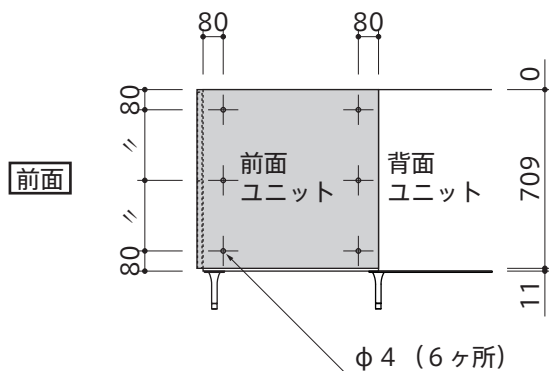


■背面にカウンターがない場合 [平面図]



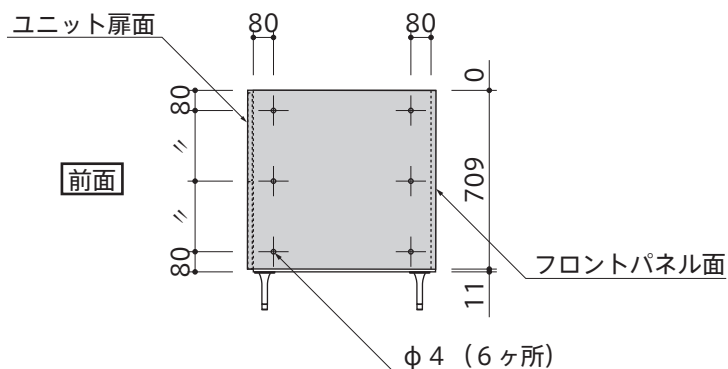
■前面ユニットの背面に背面ユニットがくる場合〔側面図〕

前面ユニット側板の背面木口とサイドパネルの端を合わせて取付けます。



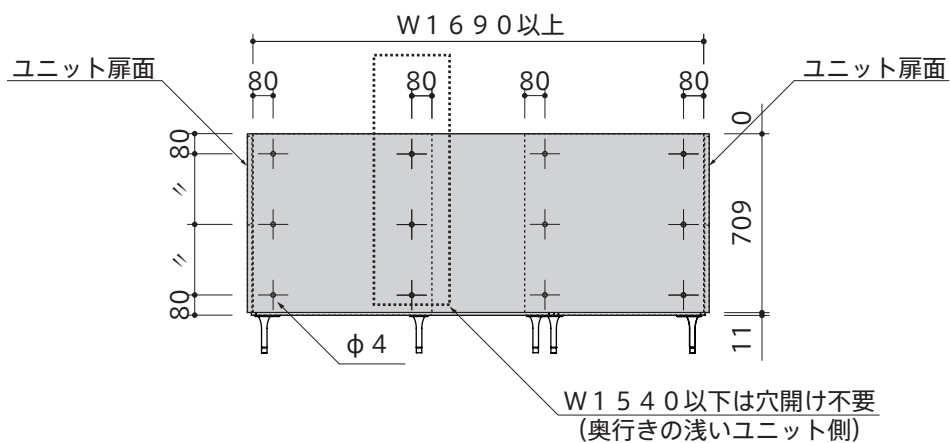
■ユニットの背面がフロントパネルの場合（カウンターがある場合）〔側面図〕

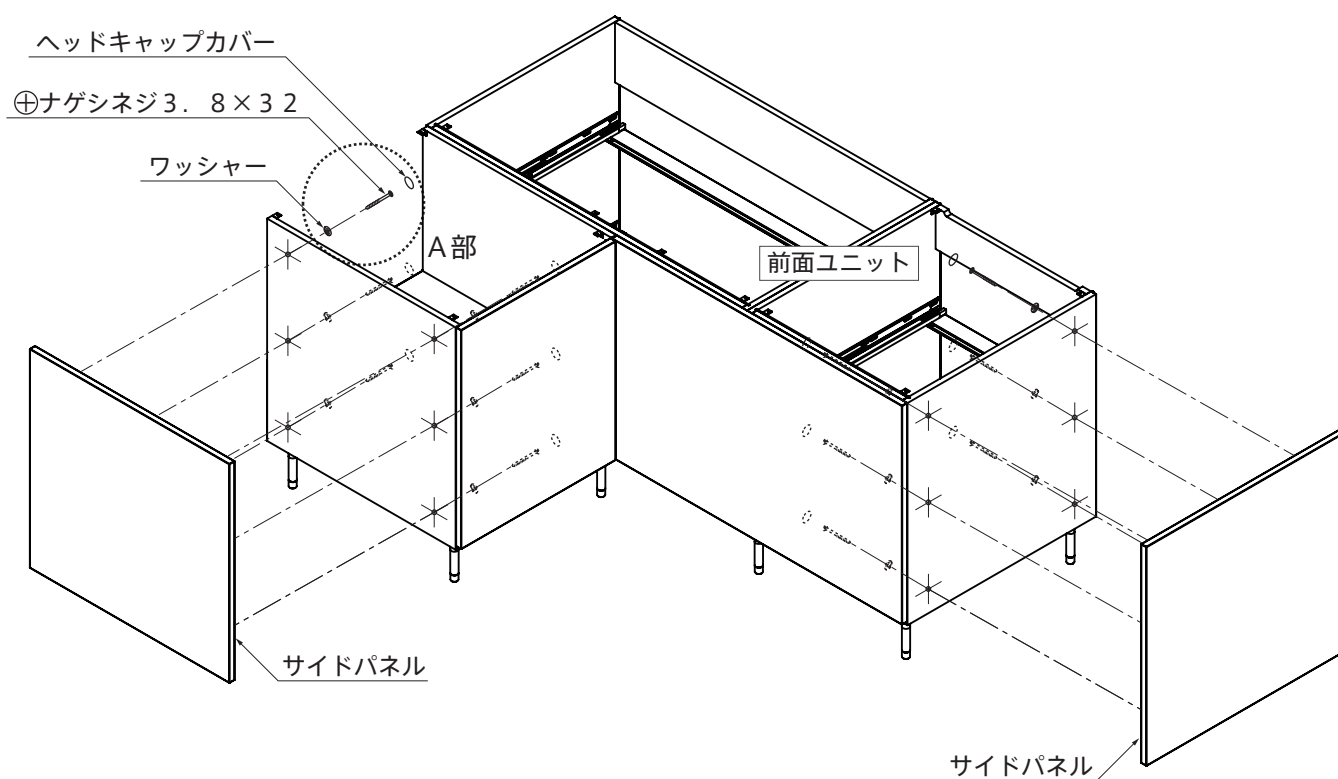
ユニットの扉とフロントパネル面とのチリが均等になるように取付けます。



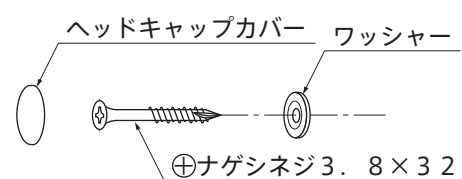
■背面ユニット1と背面ユニット2の側面に取付ける場合（カウンターなしの場合）〔側面図〕

左右のチリが均等になるように取付けます。





A部詳細図



12 L金具の取付け

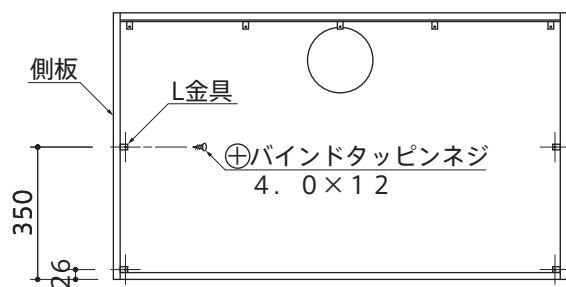
・ユニット上部にL金具を取付けます。

ユニット側板の指定位置に⊕バインドタッピンネジ4.0×12にて固定します。

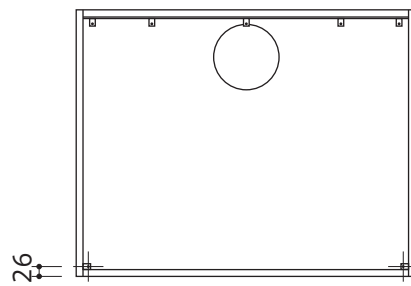
■ L金具取付位置 [平面図]

シンクユニット

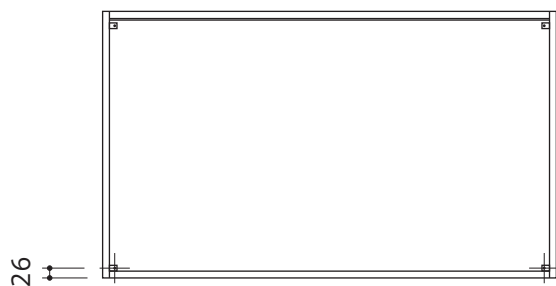
W1200



W900/W750



上面操作加熱機器ユニット





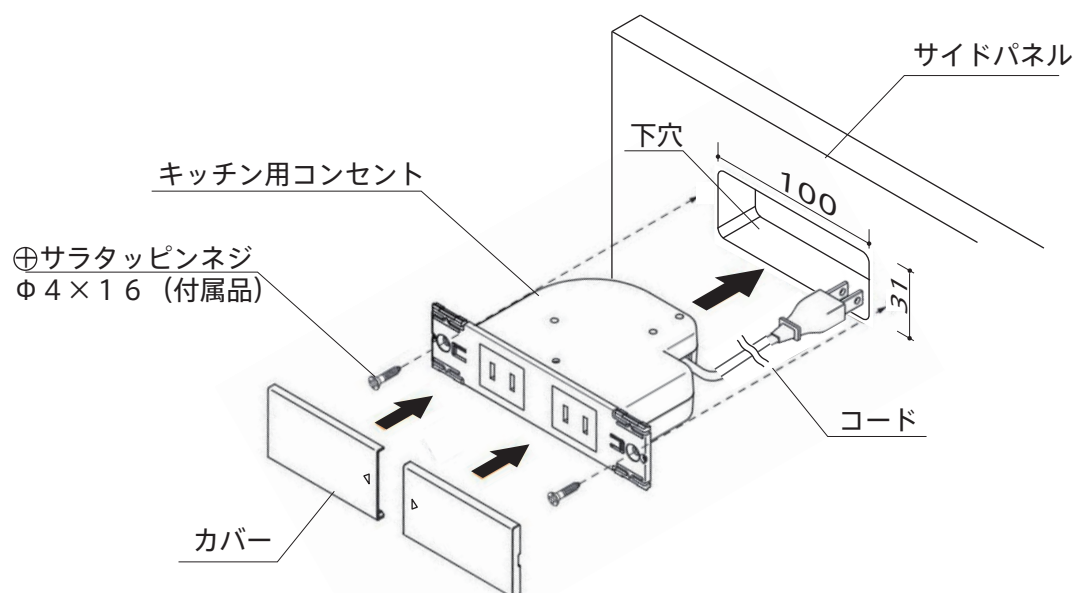
電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

■ 3D/2Dシンクユニット、間口150引出しユニットにキッチンコンセントを取付ける場合

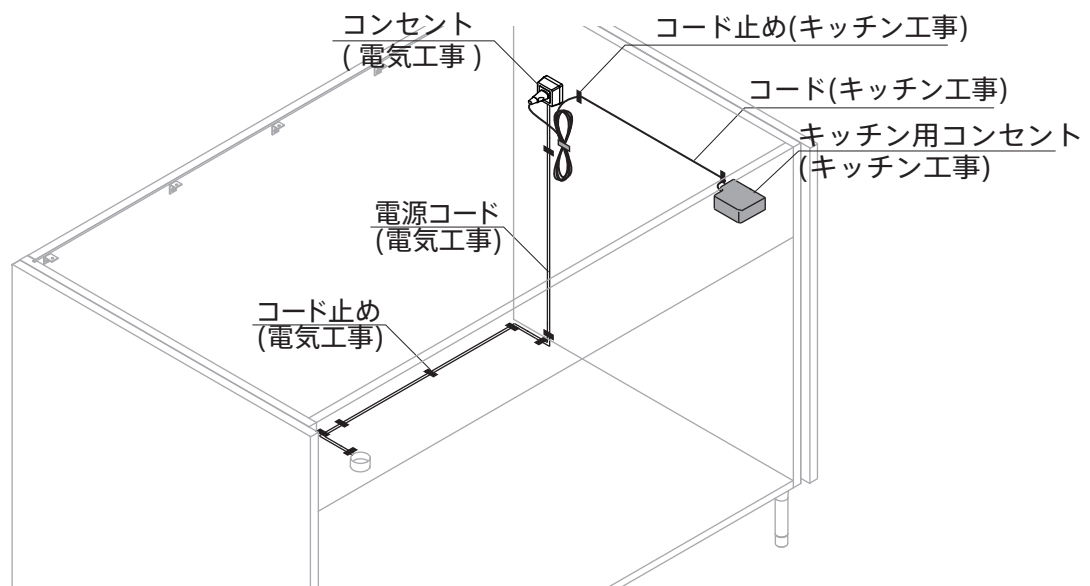
- ・ キッチン用コンセントを取付ける場合、あらかじめ床から電源コード（100V15A）を立ち上げておく必要があります。
- ・ サイドパネルの下穴にコードを通してから、キッチン用コンセントをはめ込みます。
- ・ キッチン用コンセントを⊕サラタッピンネジφ4×16で固定し、カバーを取付けます。



■ 3D／2Dシンクユニットの場合

1. ユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. ユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取付けます。
※コンセントはユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントとユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
3. キッチン用コンセントのプラグを側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
4. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）

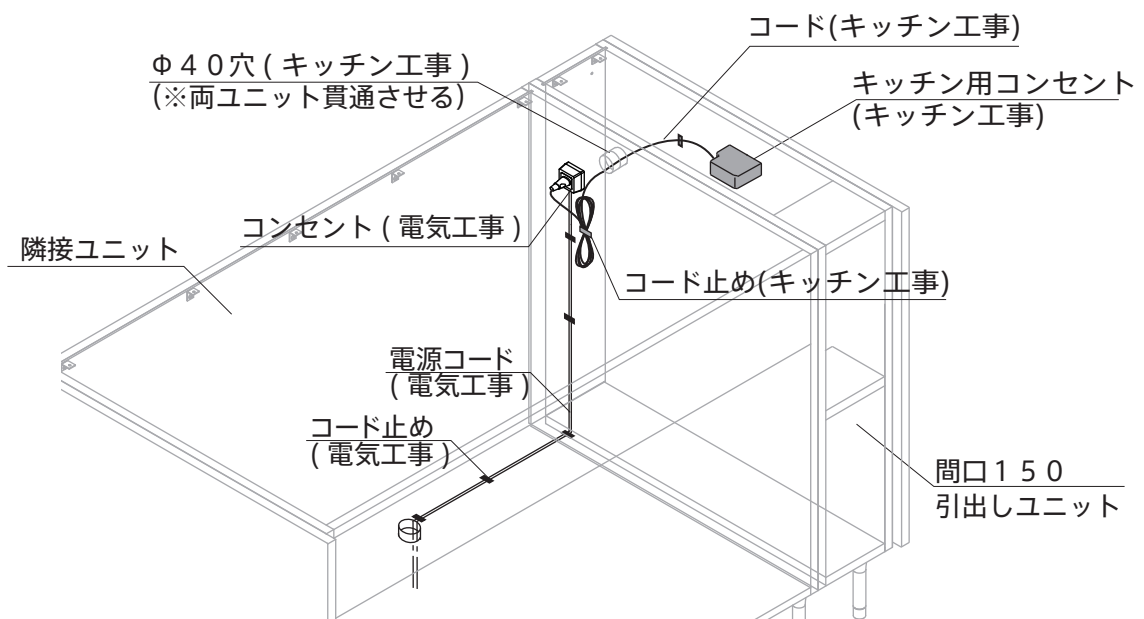
例：シンクユニットに取付ける場合



■間口150引出しユニットの場合

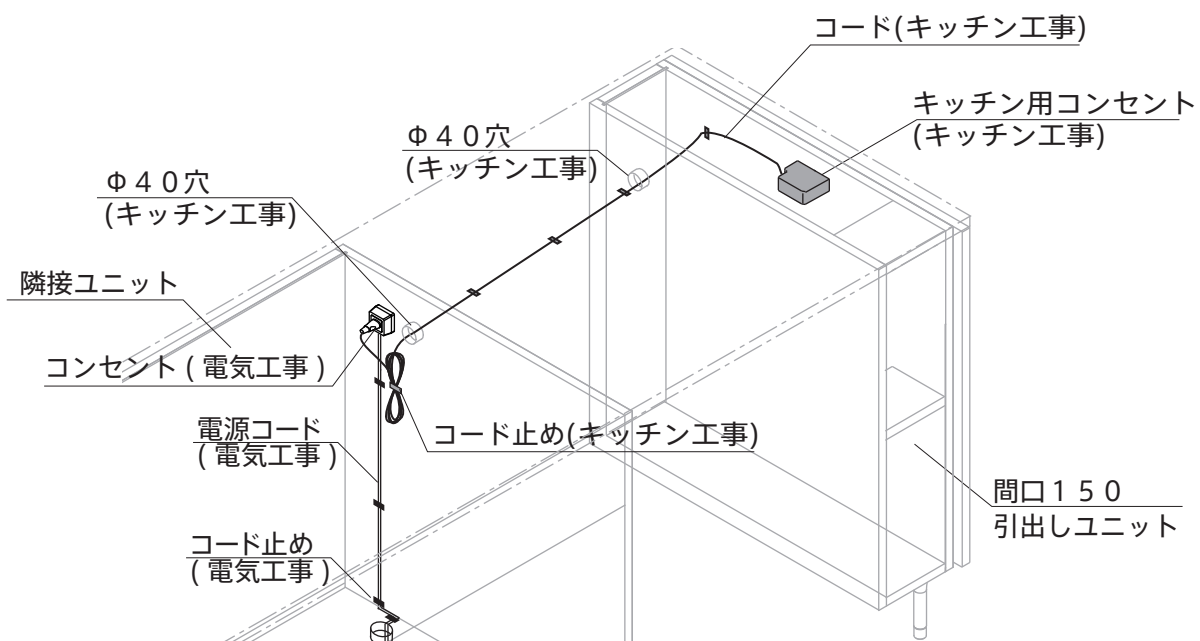
1. 間口150引出しユニット側板と、隣接ユニット側板にφ40の穴を開け、キッチン用コンセントの電源コードを隣接ユニットに引き込みます。
 ※φ40穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
 ※側板のφ40穴は、両ユニット貫通させてください。
2. 隣接ユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
 ※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
3. 隣接ユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取付けます。
 ※コンセントは隣接ユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
 ※コンセントと隣接ユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
4. 間口150引出しユニットに取付けたキッチン用コンセントのプラグを、隣接ユニット側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
5. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
 ※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
 ※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）

例：間口150引出しユニットに取付ける場合



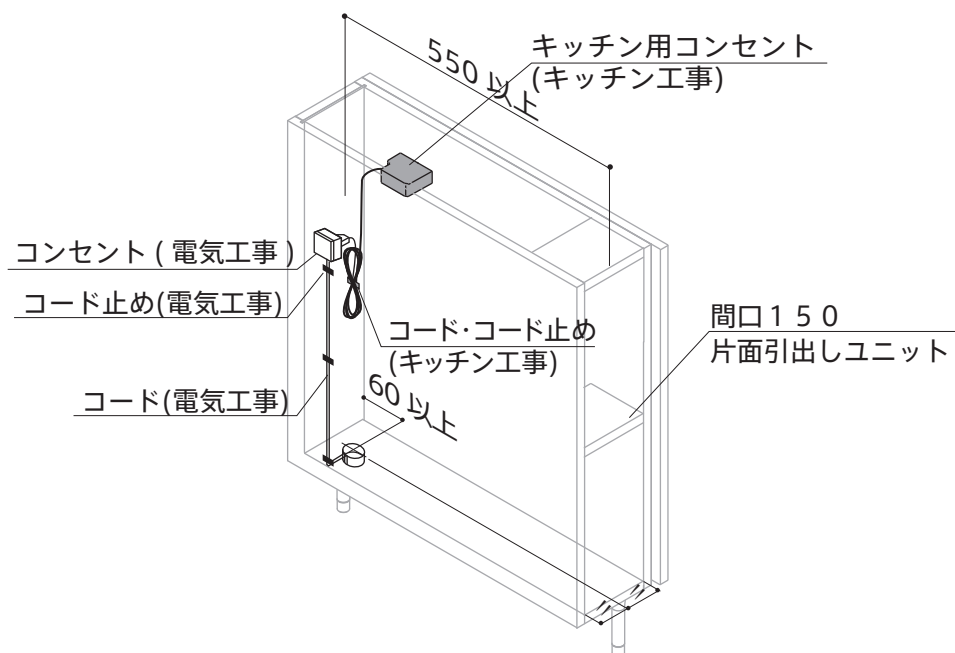
■間口150引出しユニットの隣に食洗機がくる場合

1. 間口150引出しユニット側板と、食洗機隣のユニット側板にφ40の穴を開けます。
※φ40穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. 食洗機隣のユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴は食洗機隣のユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
3. 食洗機隣のユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取付けます。
※コンセントは食洗機隣のユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントと食洗機隣のユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
4. 間口150引出しユニットに取付けたキッチン用コンセントのプラグを、食洗機隣のユニット側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
※コードは背板や天板の裏などに固定してください。
5. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）



■間口150引出しユニットの場合（隣接ユニットに配線出来ない時 ※電気工事との相番が必要）

1. 間口150引出しユニット底板に穴を開け、床から立ち上げておいた電源コードをユニット内に引き込んでください。
※穴はユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに開けてください。
2. 間口150引出しユニット側板にコンセント100V15A（1つのコンセントで合計1500Wまで）を取付けます。
※コンセントはユニットの引出しなどに干渉しない空きスペースに取付けてください。
※コンセントとユニット内に引き込んだ電源コードを結線してください。
3. キッチン用コンセントのプラグを側板に取付けたコンセントに差し込んでください。
4. コード類は引出しに当たらないように、コード止め（市販品）または配線モール（市販品）などでユニットに固定します。
※施工上・使用上の注意はキッチンコンセントメーカーの取扱説明書を参照ください。
※コード類はたるみやたれ下がりがないように納めてください。（引出しなどに干渉しないこと）



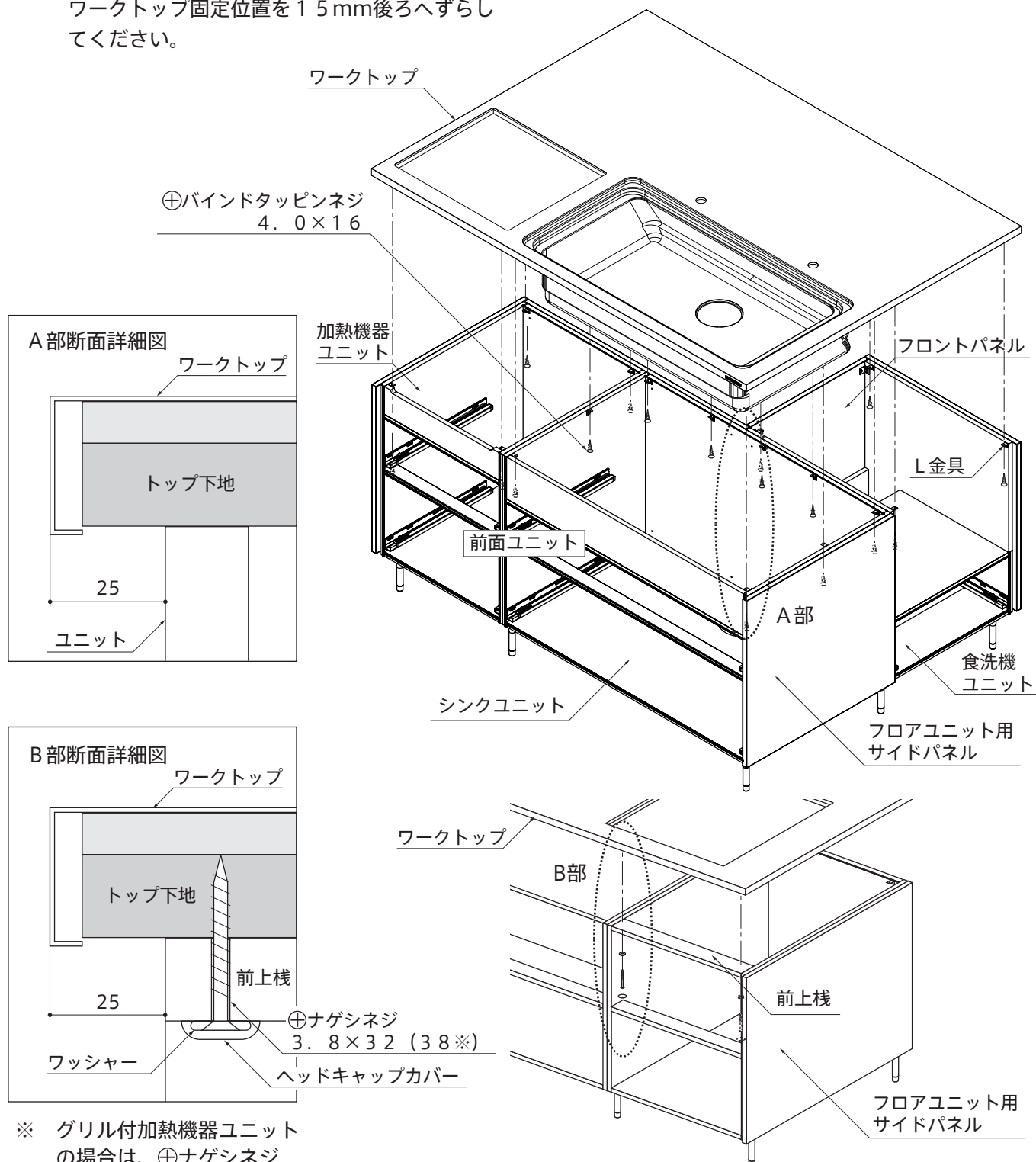
1 3 ワークトップの取付け

- ・ユニットの上にワークトップをのせます。

ワークトップ前面はユニット前面より25mm出るように（A部断面詳細図参照）、両端はフロアユニット用サイドパネル面に揃うように位置を決めます。

- ・ユニットに取付いているL金具より⊕バインドタッピンネジ4.0×16にてトップを固定します。
- ・前面に前上栈がある場合はユニット内側より⊕ナゲシネジ3.8×32（38）にワッシャーを通してワークトップを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

※フロアユニットLEDが取付いている場合、前上栈のワークトップ固定位置を15mm後ろへずらしてください。



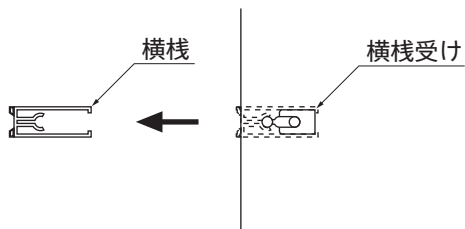
※ グリル付加熱機器ユニットの場合は、⊕ナゲシネジ3.8×38

配管前の準備

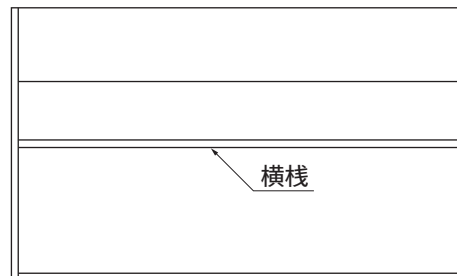
横棧の取り外し

- ・作業しやすくするため、配管を行う前にシンクユニットの横棧受けから横棧を外してください。
- ・作業が終了したら、横棧を取付けてください。

■側面断面図

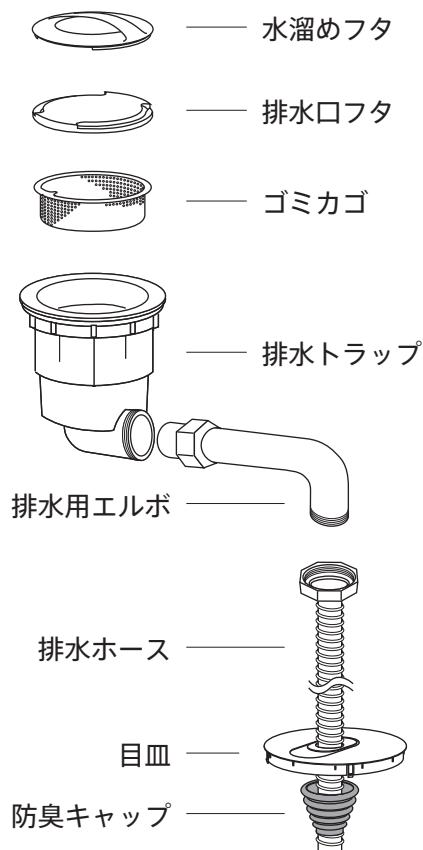


[正面図]



排水管の配管

- ・ワークトップの排水栓取付穴に排水トラップを取付け、配管を行います。



配管カバー、水栓の取付け



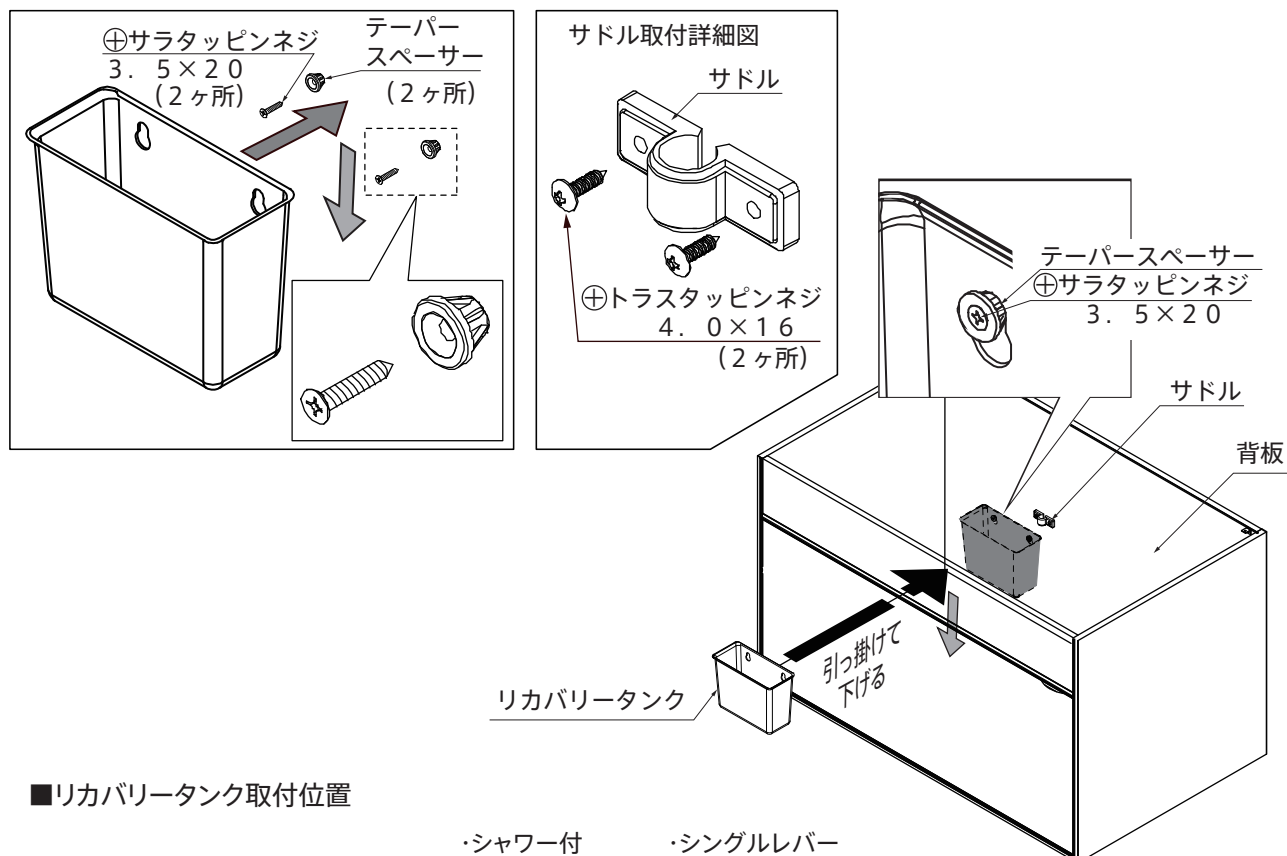
シンクユニット内に、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして配管と背板の隙間をふさぐように貼り付けてください。

※水栓の取付けについては、付属の「取付・設置説明書」を参照してください。

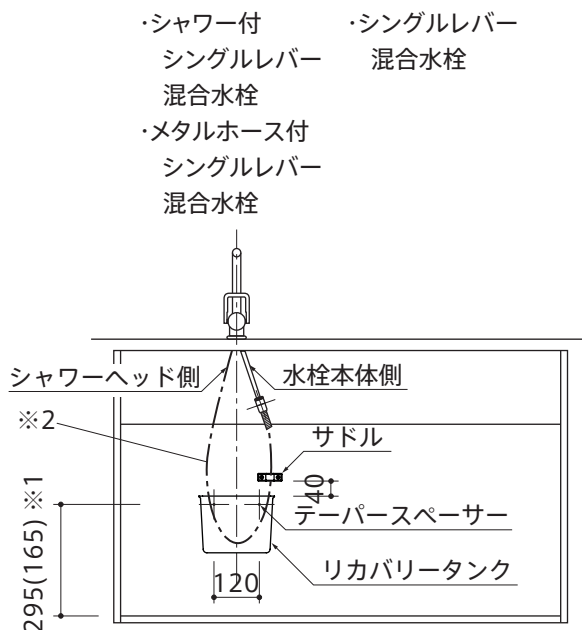
リカバリータンクの取付け

- ・リカバリータンクはシャワー付シングルレバー混合水栓、メタルホース付シングルレバー混合水栓の下側に取付けます。
- ・背板の指定位置にテーパースペーサー 2 個を⊕サラタッピンネジ 3. 5×20 にて取付けます。
- ・リカバリータンクは、穴下部分にテーパースペーサーを引っ掛けて下方方向に下げて、穴上部分にテーパースペーサーを納めて固定します。
- ・サドルはホースの水栓本体側を固定します。取付位置はリカバリータンク端上部付近へ⊕トラスタッピンネジ 4. 0×16 (2 本) で取付けます。

※サドル位置はシャワーを出し入れした際にホースがリカバリータンク内に収まるように調整して取付けてください。



■リカバリータンク取付位置

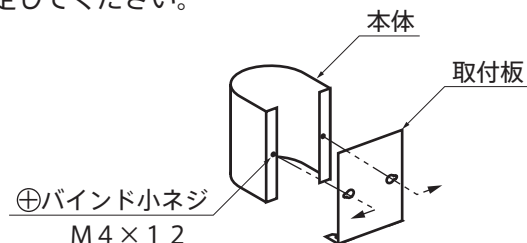


※1 () 内寸法は、メタルホース付シングルレバー混合水栓の場合を示す。

※2 ホースのねじれが無いことを確認してください。

ステンレス配管カバーの取付け

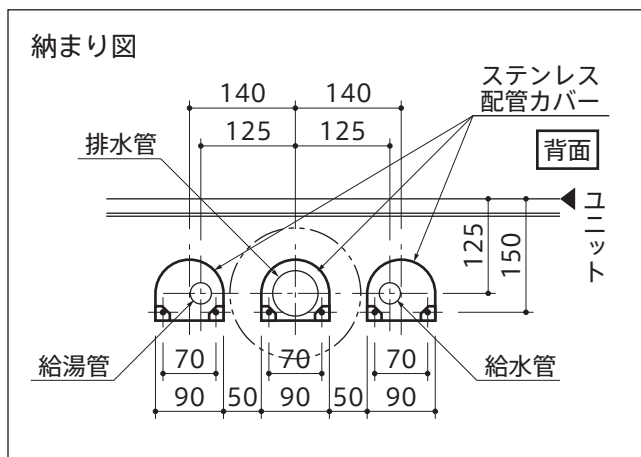
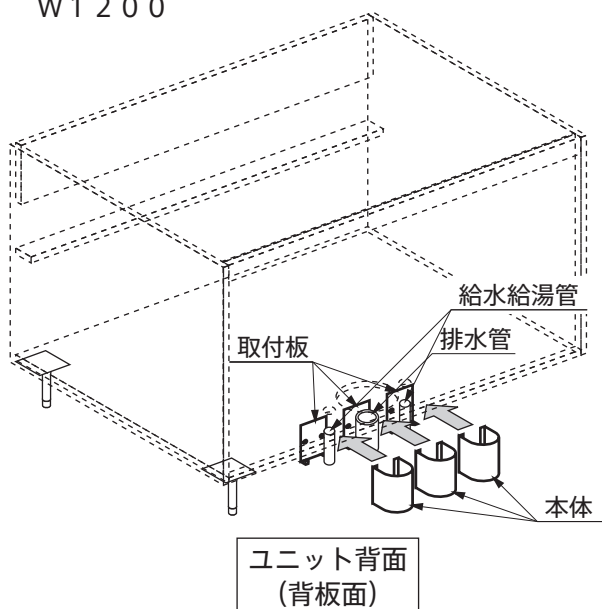
1. 取付板を給水給湯管、排水管、ガス管位置に両面テープ（市販品）または、ネジ（市販品）にて床に固定します。
 2. 本体に⊕バインド小ネジM4×12を2ヶ所取付けます。
その際締め切らず、1.5mm程度開けた状態にします。
 3. 本体を給水給湯管、排水管、ガス管に覆い被せます。
 4. 本体を狭めながら、取付ネジ（⊕バインド小ネジ）を取付板の長穴に差し込んで固定します。
- ※ ガタつきが大きい場合は、取付ネジを締め付けて固定してください。



■ステンレス配管カバーを3個使用した場合の取付け例

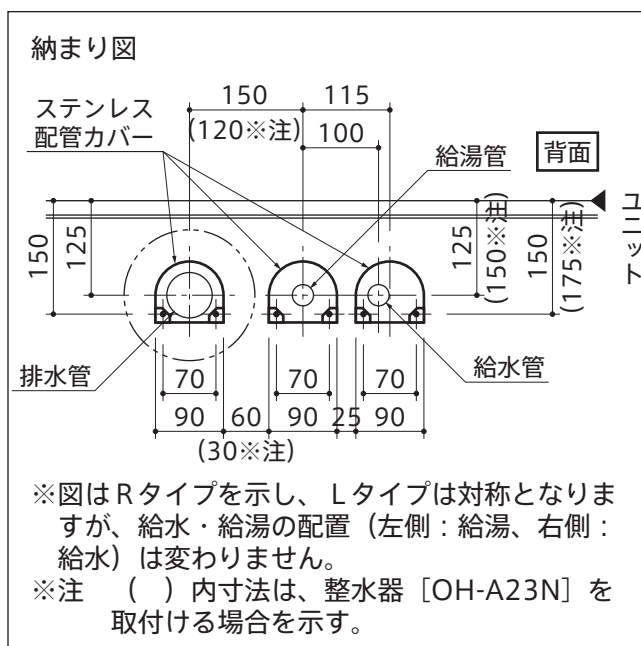
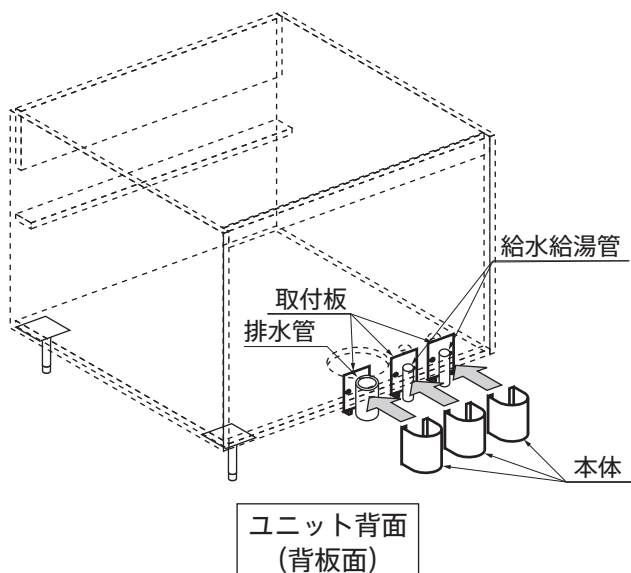
【3D／2Dシンクユニット】

W1200



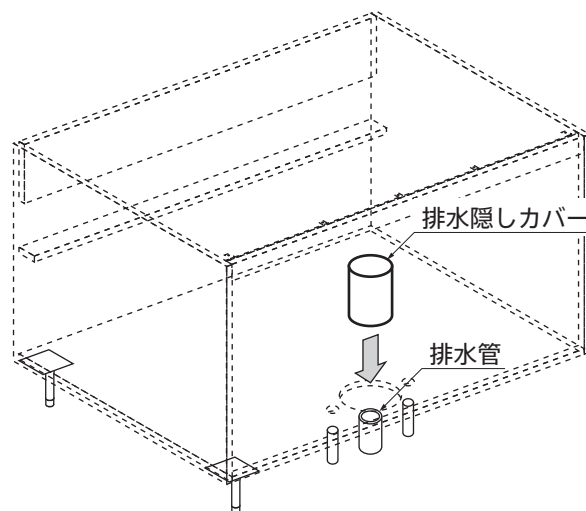
【3DS／2DSシンクユニット】

W750／W900



排水隠しカバーの取付け

- ・排水管の配管を行う前に、ユニット内部の排水目皿用穴より排水隠しカバーを差し込みます。

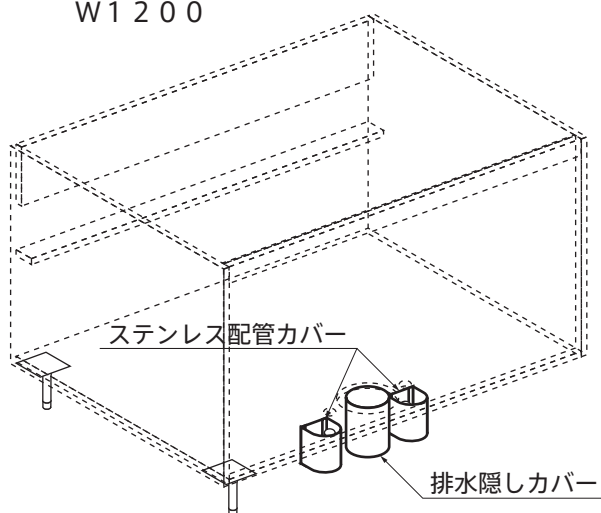


■ステンレス配管カバー 2 個と排水隠しカバーを使用した場合の取付け例

(※残りのステンレス配管カバー 1 個はガス管または配線などのカバーとして使用します。)

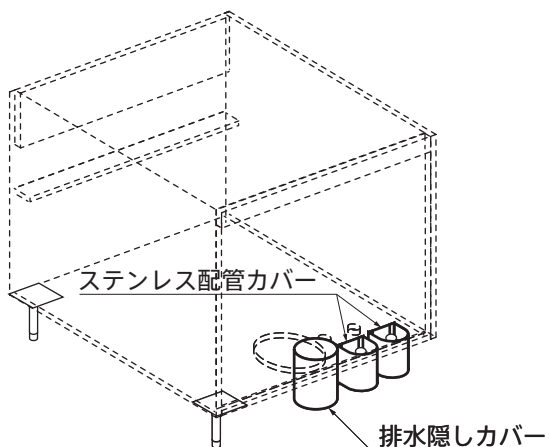
【3D/2Dシンクユニット】

W 1 2 0 0

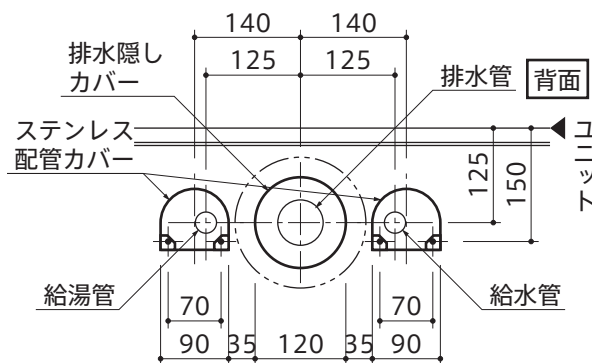


【3DS／2DSシンクユニット】

W750/W900

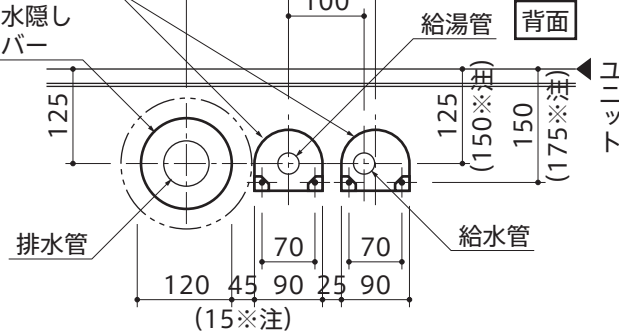


納まり図



納まり図

ステンレス
配管カバー

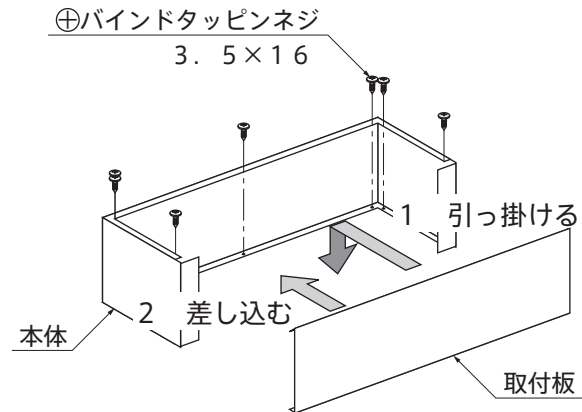
排水隠し
カバー

※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となりますが、
給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わ
りません。

※注 () 内寸法は、整水器 [OH-A23N] を取付ける場合を示す。

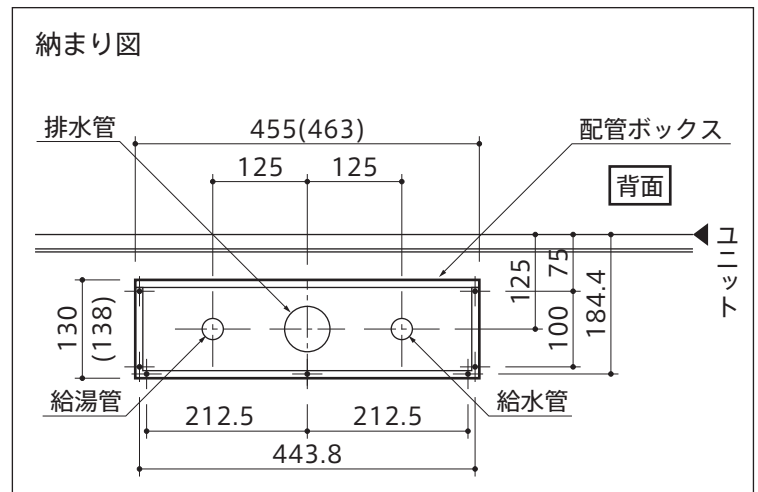
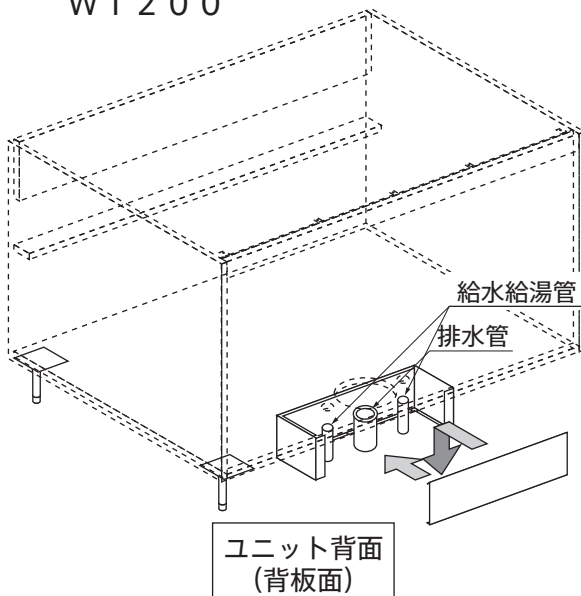
配管ボックスの取付け

- ・ 本体を給水給湯管、排水管位置に両面テープ（市販品）または、⊕バインドタッピンネジ 3.5×16（7ヶ所）にて床に固定します。
- ・ 取付板上部を本体に引っ掛け、取付板下部を本体と床とのすき間に差し込みます。

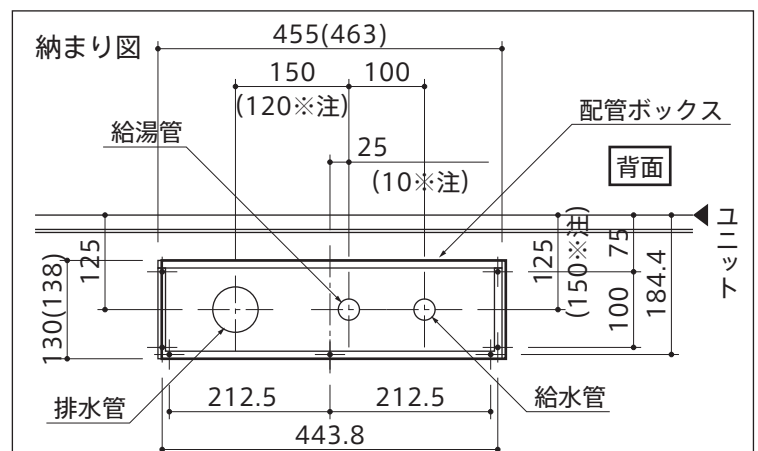
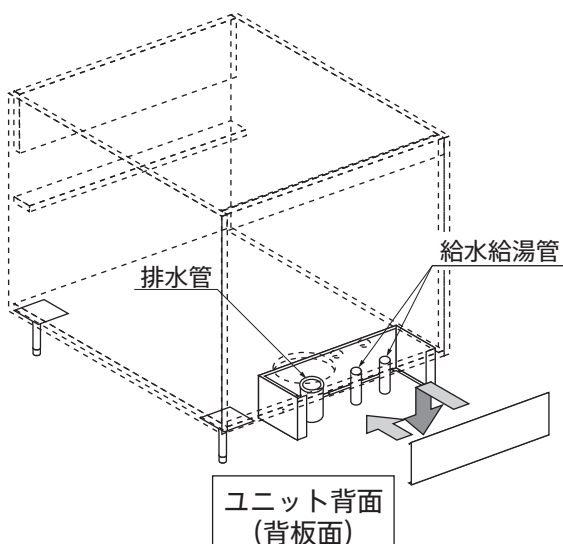


【3D／2Dシンクユニット】 W1200

※（ ）内寸法は、モザイクの場合を示す。



【3DS／2DSシンクユニット】 W900／W750



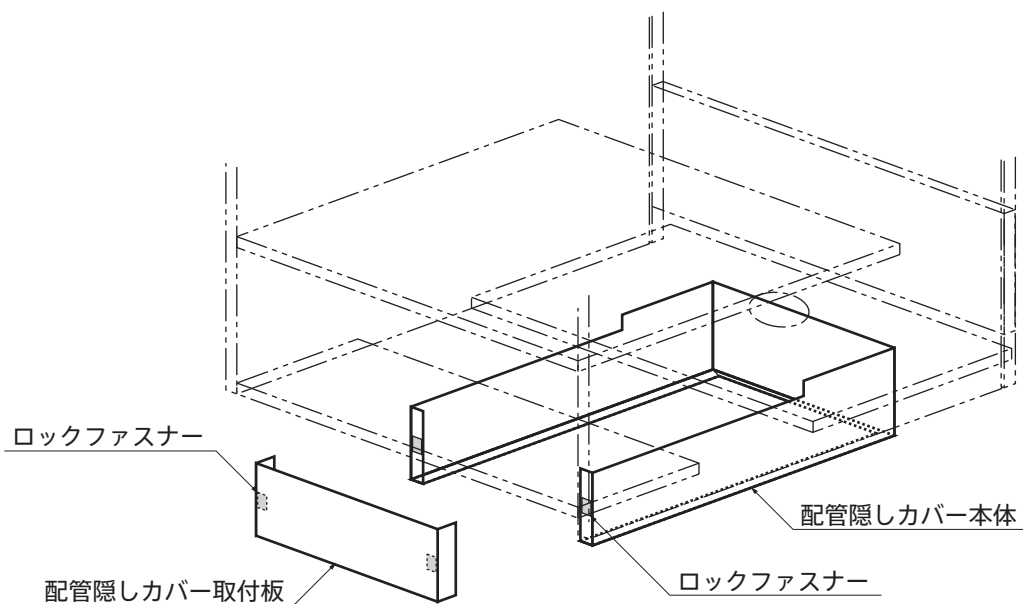
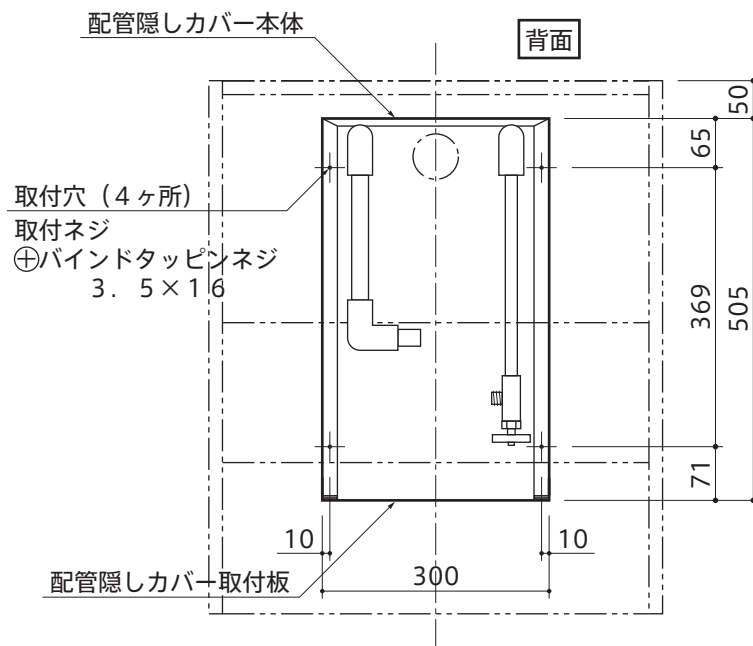
※図はRタイプを示し、Lタイプは対称となりますが、給水・給湯の配置（左側：給湯、右側：給水）は変わりません。

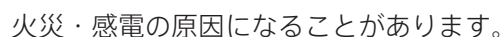
※注（ ）内寸法は、整水器〔OH-A23N〕を取付ける場合を示す。

プルオープン食器洗い乾燥機ユニット用配管隠しカバーの取付け

1. 配管隠しカバー本体を床の指定位置に固定します。
配管隠しカバー本体を⊕バインドタッピンネジ 3.5×16（4ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
2. 配管隠しカバー取付板と配管隠しカバー本体のロックファスナー（2ヶ所）の位置を合わせ、前面から押さえて固定します。

納まり図

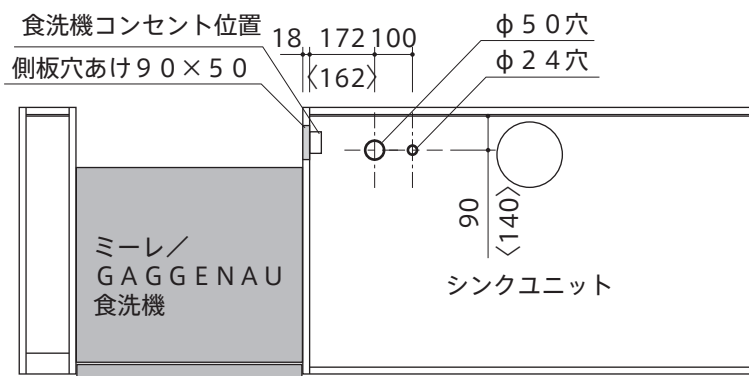




※コンセント種類および一般プランは機器付属の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

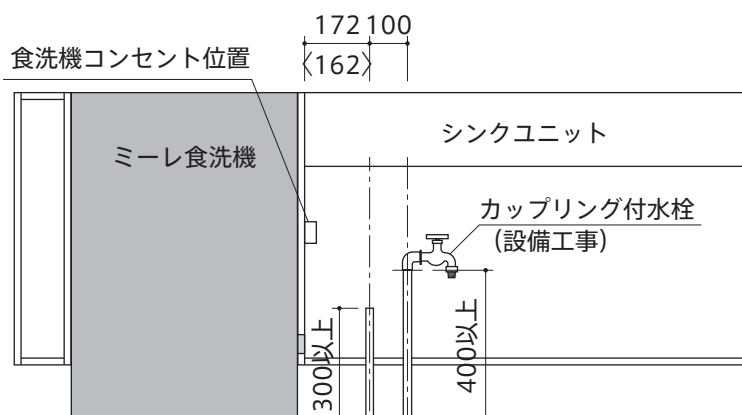
平面图

單位：mm



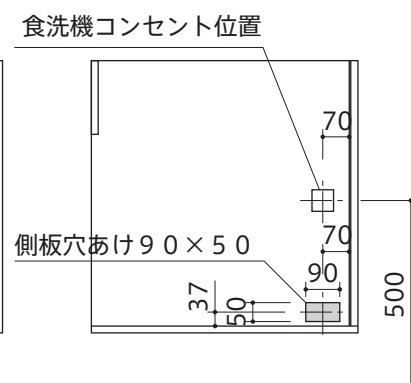
※ 〈 〉 寸法は、食洗機側に
シャワー付水栓がくる場合
を示す。

正面図

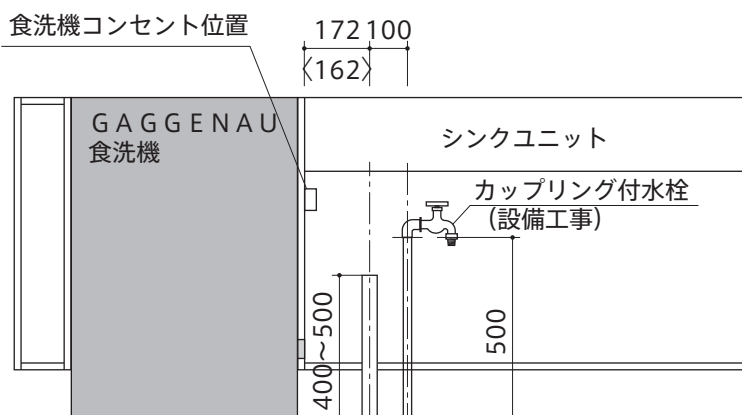


食器洗い機用給水 PT1/2
(設備工事)

側面図

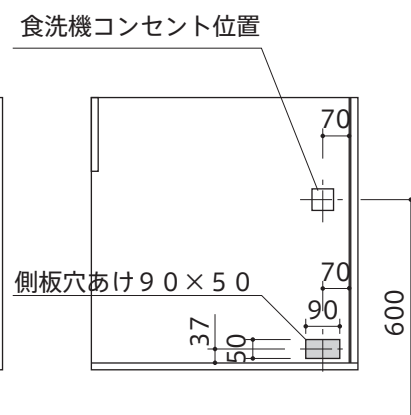


正面图



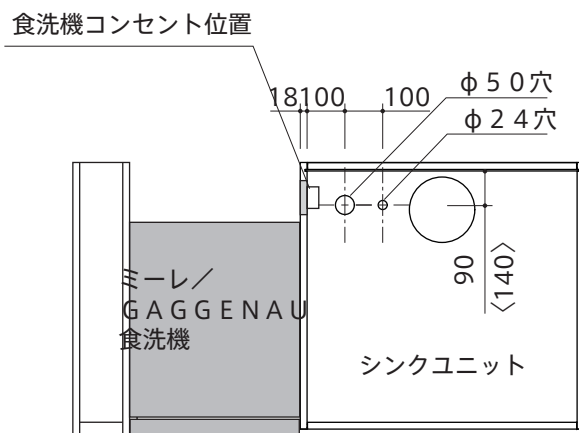
食器洗い機用給水 PT1/2
(設備工事)

側面図



【3DS／2DSシンクユニット W900／W750の場合】

平面図

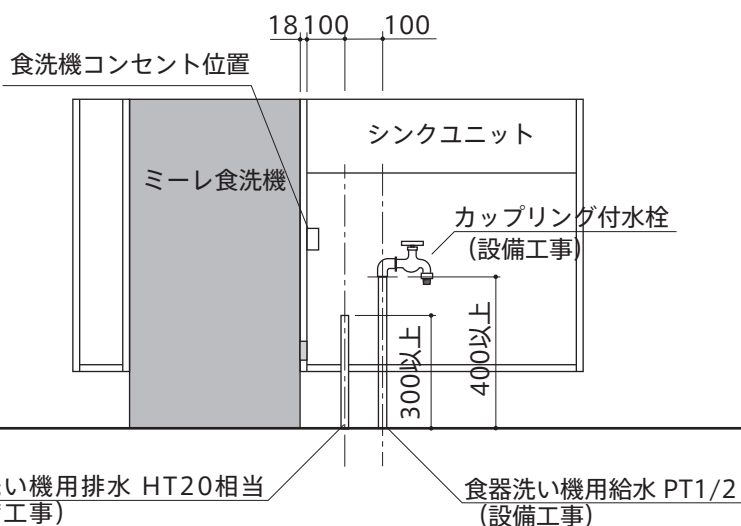


単位：mm

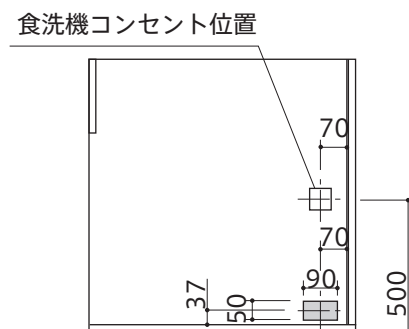
※ < > 寸法は、食洗機側にシャワー付水栓がくる場合を示す。

■ミーレ食洗機の場合

正面図

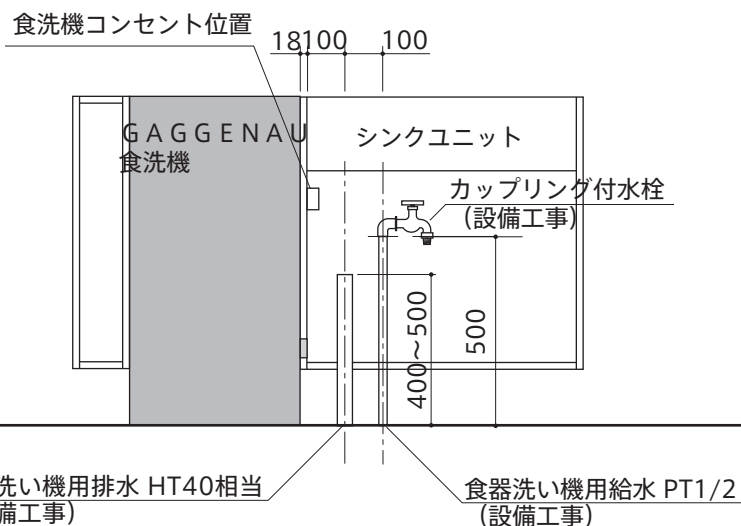


側面図

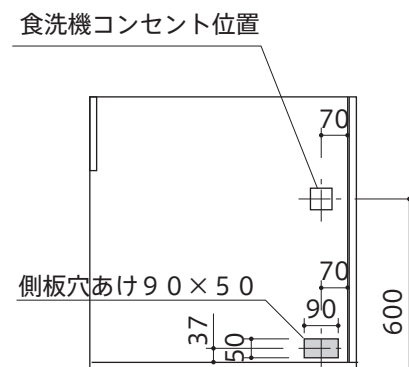


■GAGGENAU食洗機の場合

正面図



側面図



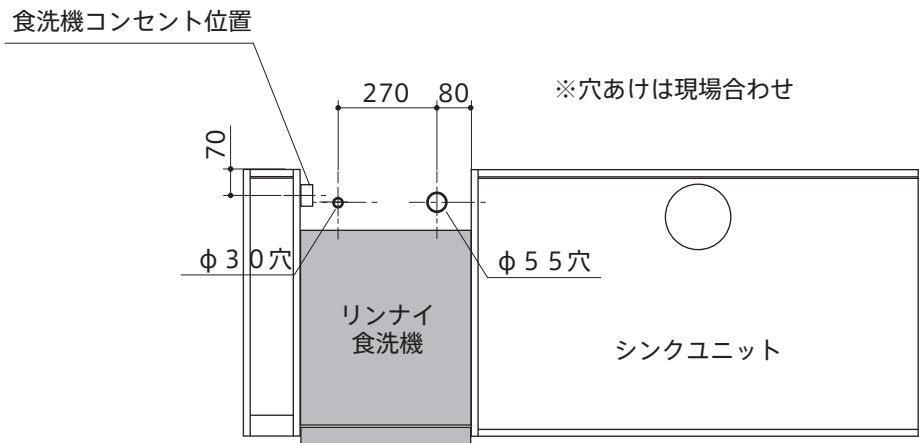
リンナイ食器洗い乾燥機器配管図

※リンナイ食洗機配管の詳細は、メーカー施工書を参照ください。

■リンナイフロントオープン食洗機の場合

単位：mm

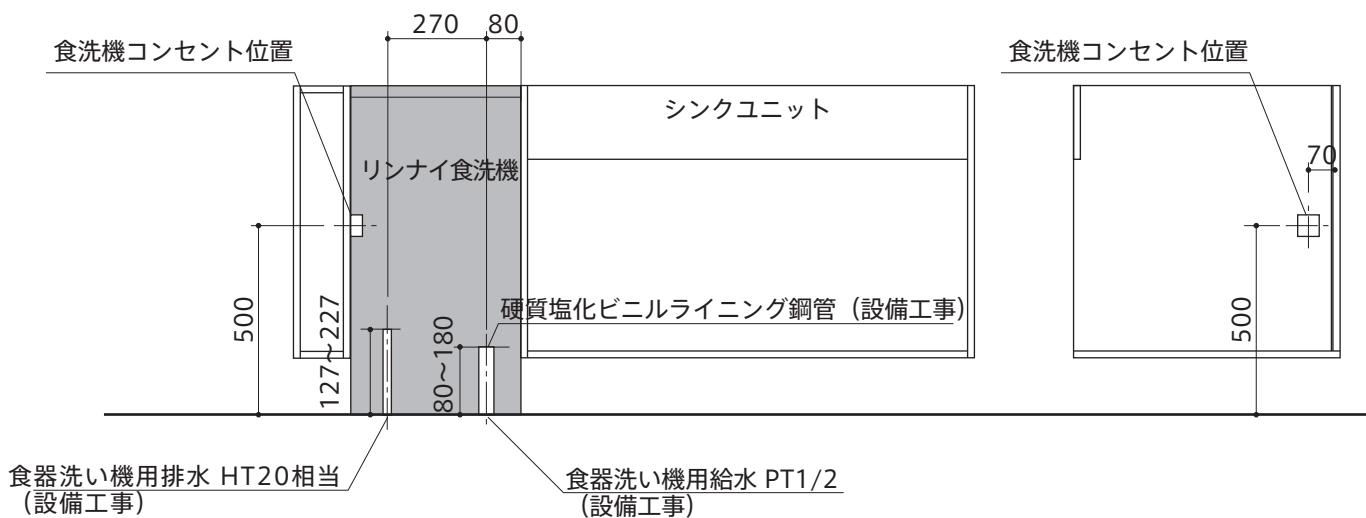
平面図



■リンナイフロントオープン食洗機の場合

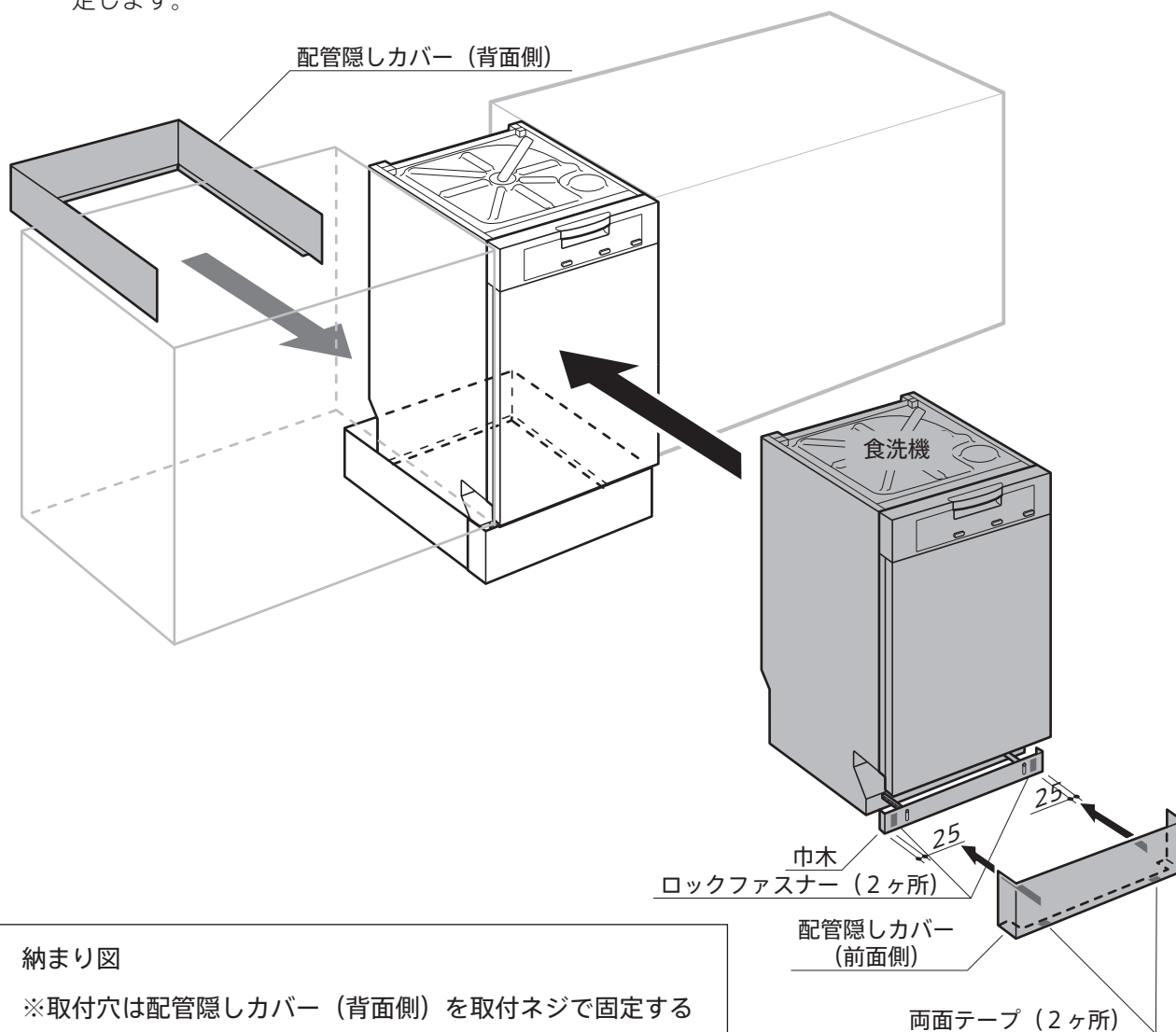
側面図

正面図



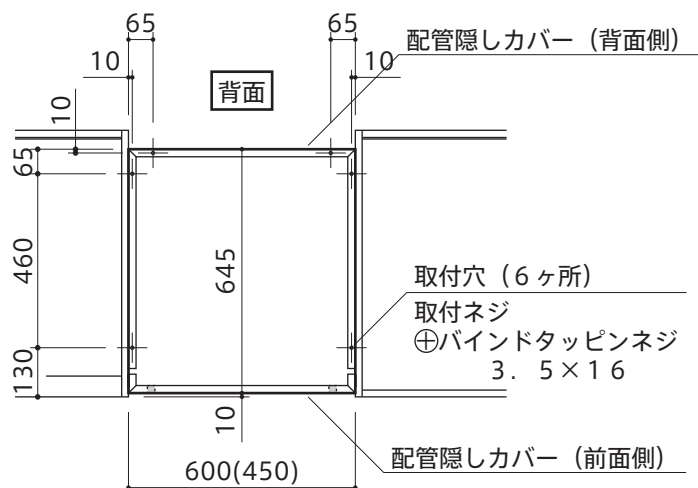
ミーレ食器洗い乾燥機用配管隠しカバーの取付け

1. 背面側の配管隠しカバーを床の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンネジ 3.5×16（6ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
2. ミーレ食洗機を設置します。
3. ミーレ食洗機の中木の指定位置に付属のロックファスナー（2ヶ所）を貼り付けます。
4. 中木に貼り付けたロックファスナーのはく離紙を剥がし、前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにしてミーレ食洗機の中木に貼り付け、床面は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。

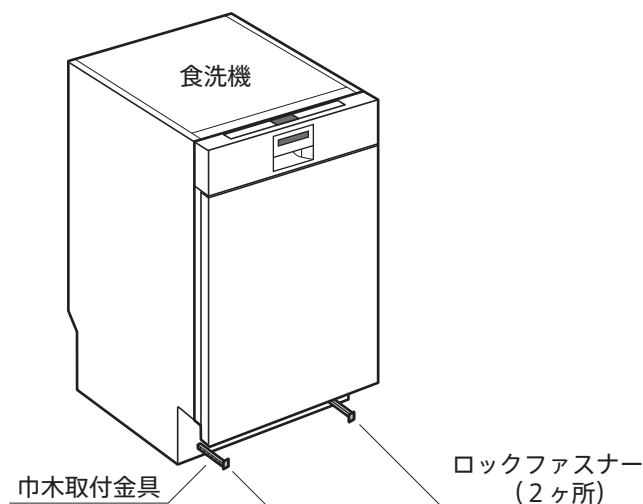


納まり図

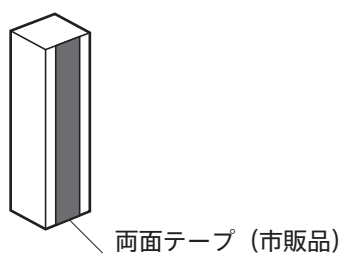
※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ネジで固定する場合を示す。



1. 巾木取付金具に付属のロックファスナーを貼り付けます。
2. スペーサーの片面に両面テープ（市販品）を貼り付けます。
3. 前面側の配管隠しカバー裏面の指定位置にスペーサーを取付けます。
先ほど貼り付けた両面テープにて間口600の場合は端から65mm、間口450の場合は端から55mmの位置に貼り付けます。
4. 背面側の配管隠しカバーを床の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンネジ3.5×16（6ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床に固定します。
5. GAGGENAU食洗機を設置します。
6. 巾木取付金具に貼り付けたロックファスナーのはく離紙をめくります。
前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにして、前面側の配管隠しカバーに取付けたスペーサー（2ヶ所）を巾木取付金具のロックファスナーに貼り付け、床は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。

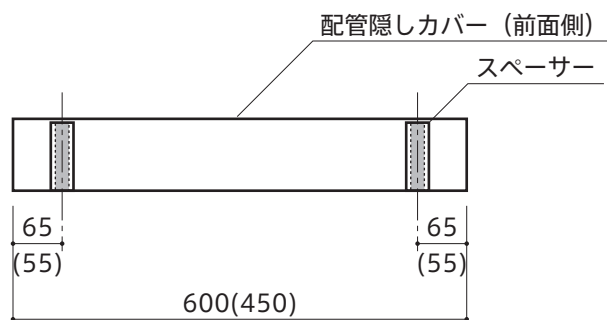


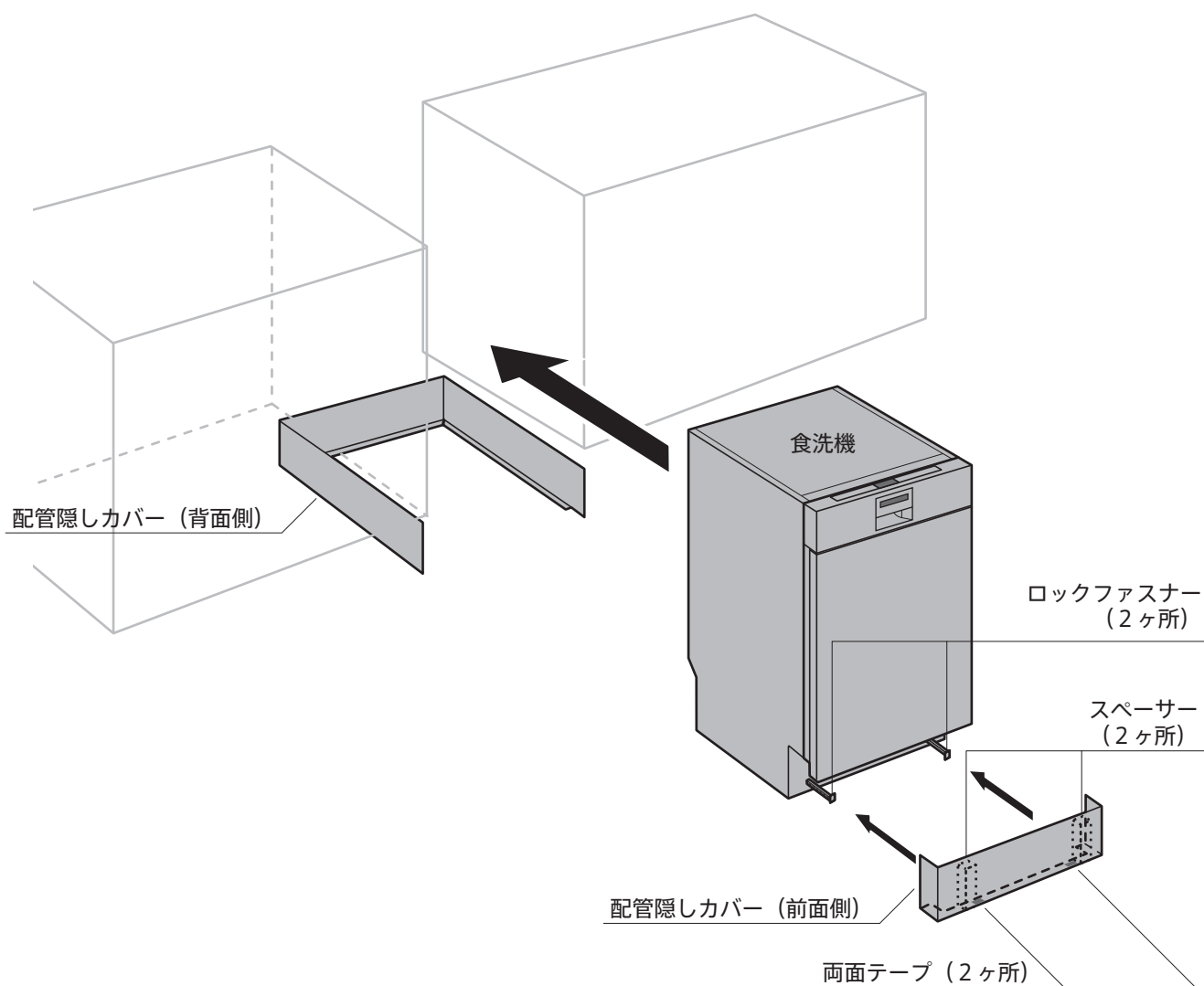
■スペーサー



■配管隠しカバー（前面側）

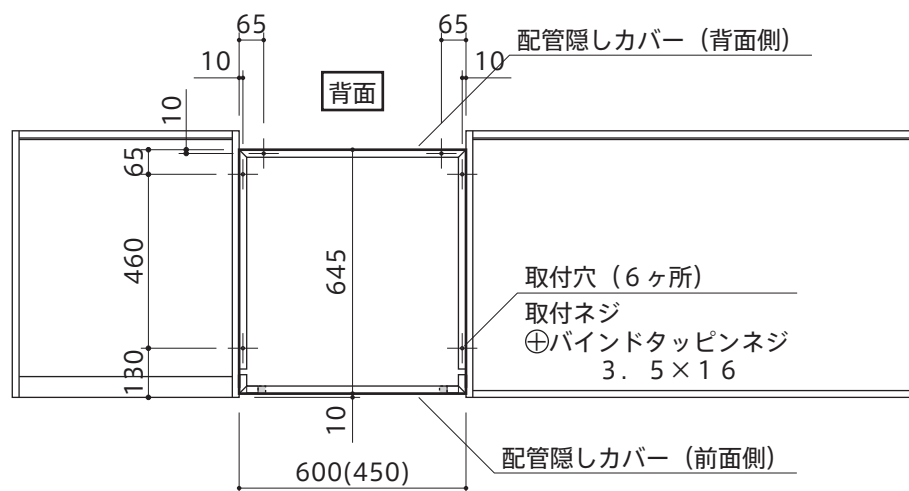
スペーサー取付位置（平面図）



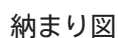
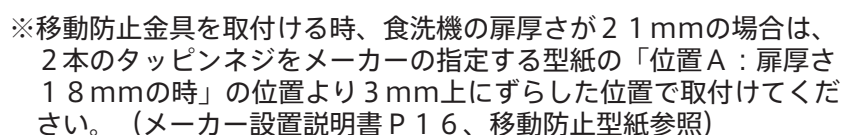


納まり図

※取付穴は配管隠しカバー (背面側) を取付ネジで固定する場合を示す。



1. 背面側の配管隠しカバーを床面の指定位置に固定します。
背面側の配管隠しカバーを⊕バインドタッピンネジ3. 5×16（6ヶ所）または、両面テープ（市販品）にて床面に固定します。
2. リンナイ食洗機を設置します。
3. リンナイ食洗機の中木の指定位置に付属のロックファスナー（2ヶ所）を貼り付けます。
4. 中木に貼り付けたロックファスナーのはく離紙を剥がし、前面側の配管隠しカバーを背面側の配管隠しカバーにかぶせるようにしてミーレ食洗機の中木に貼り付け、床面は両面テープ（2ヶ所）にて固定します。

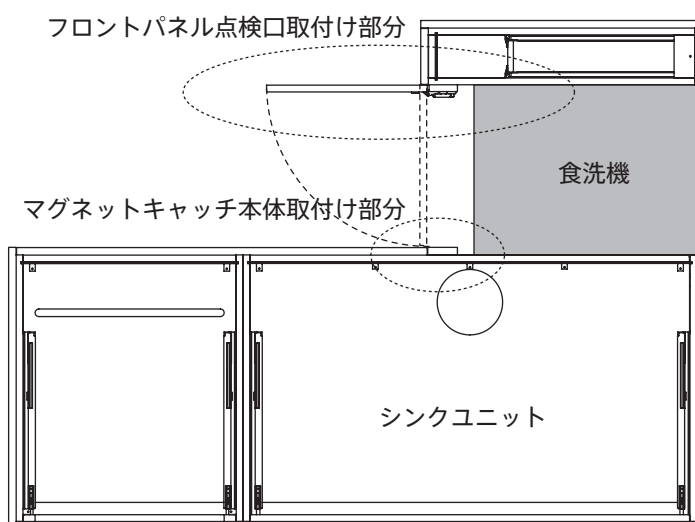
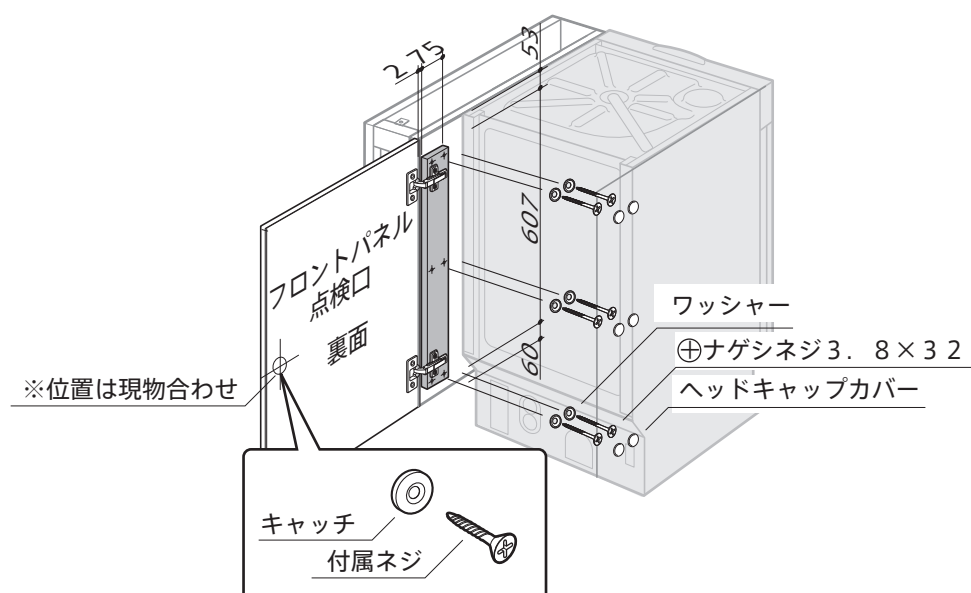


※取付穴は配管隠しカバー（背面側）を取付ネジで固定する場合を示す。

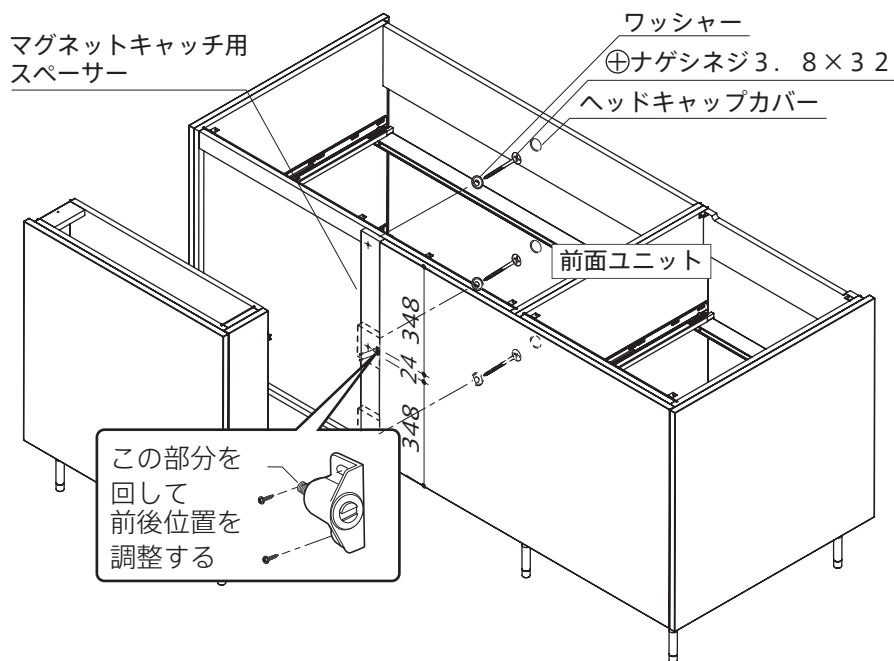
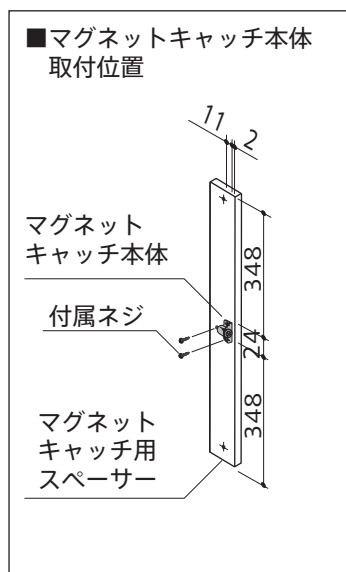


1. 背面ユニットにミーレ／GAGGENAU食器洗い乾燥機を設置する場合、隣接するユニットの側板にフロントパネル点検口を取付けます。
⊕ナゲシネジ3. 8×3.2にワッシャーを通して、フロントパネル点検口を固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
 2. フロントパネル点検口を取付けた反対側のシンクユニット背板の底板と中央付近にフロントパネルに端を合わせて、 $t=18\text{ mm}$ スペーサー（付属）を両面テープで仮止めします。指定位置に $\phi 4$ の下穴を開けて、シンクユニットの内側から⊕ナゲシネジ3. 8×3.2にワッシャーを通して、マグネットキャッチ用スペーサーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。マグネットキャッチ用スペーサーの指定位置に付属ネジにてマグネットキャッチ本体を取付けます。
 3. フロントパネル点検口にキャッチを取付けます。
マグネットキャッチ本体の位置に合わせて、付属ネジにてキャッチを取付けます。
 4. フロントパネル点検口の目地を確認し、調整を行います。
- ※ 「扉（丁番）の調整」を参照してください。

■フロントパネル点検口取付け部分詳細

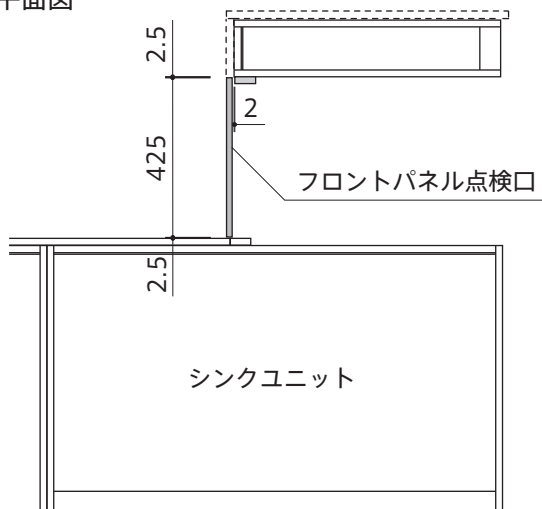


■マグネットキャッチ本体取付け部分詳細

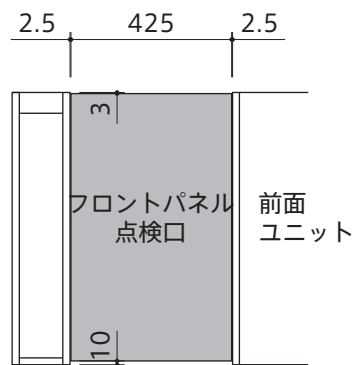


■フロントパネル点検口納まり図

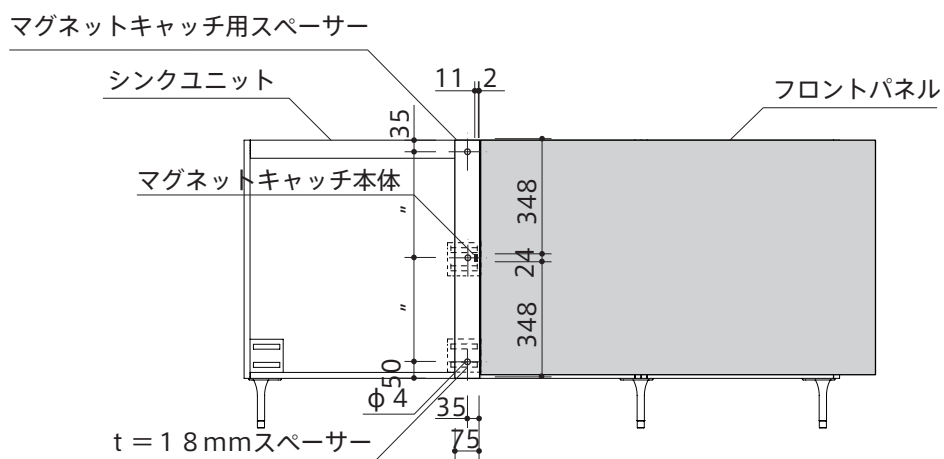
平面図



背面ユニット背面図



■前面ユニット背面図





電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

・下記のようにコンセントを取付けます。

※オープンユニットを設置する場合、両隣には必ずユニットが必要です。

※オープンユニットの隣にミーレ／GAGGENAU／リンナイ食洗機も設置可能です。

ただし、オープンユニットとミーレ／GAGGENAU／リンナイ食洗機がユニットに挟まれるように設置してください。

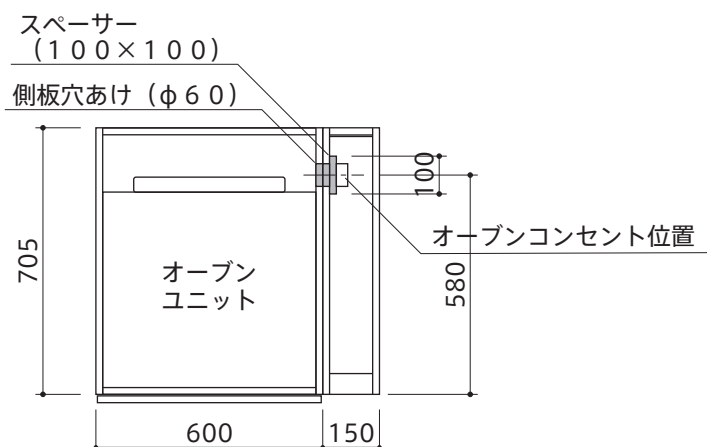
※オープンユニットの隣にプルオープン食洗機を設置する場合、反対側の隣にユニットを設置してください。

※コンセント種類および一般プランは機器付属の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

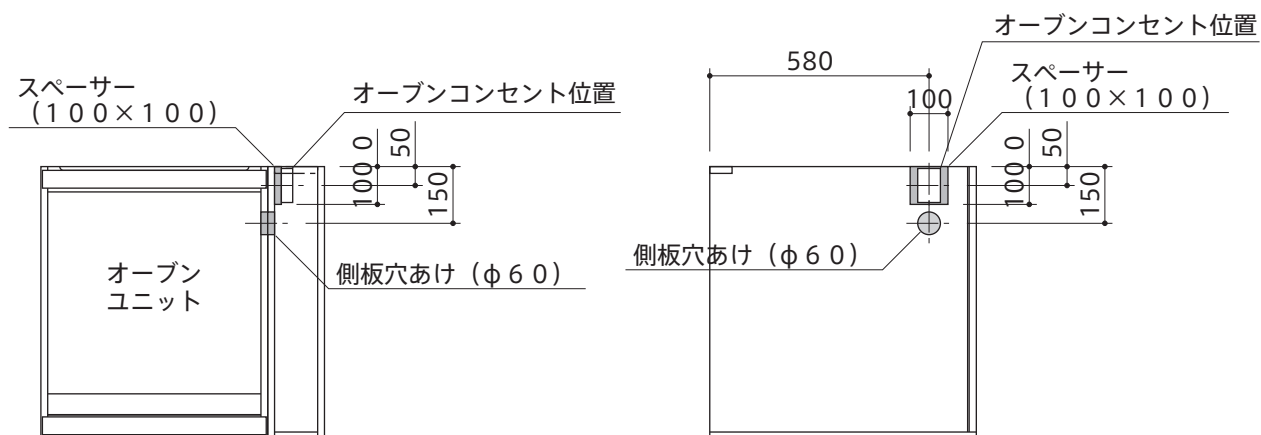
※電気配線工事については専用の取付設置説明書に従い、正しく取付けてください。

○間口150mmユニットにコンセントを取付ける場合

平面図



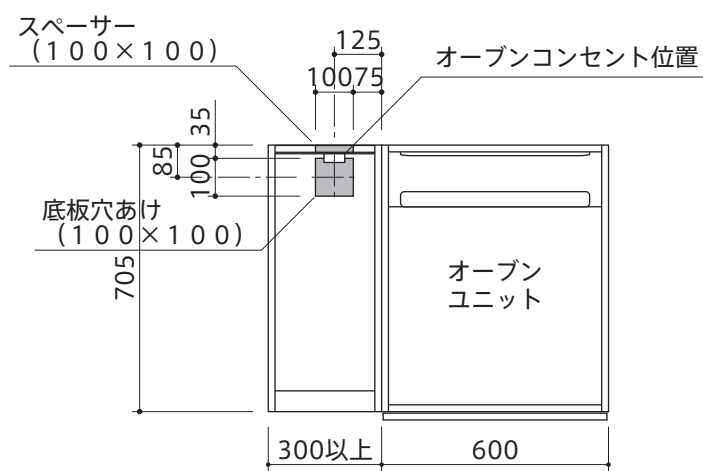
正面図



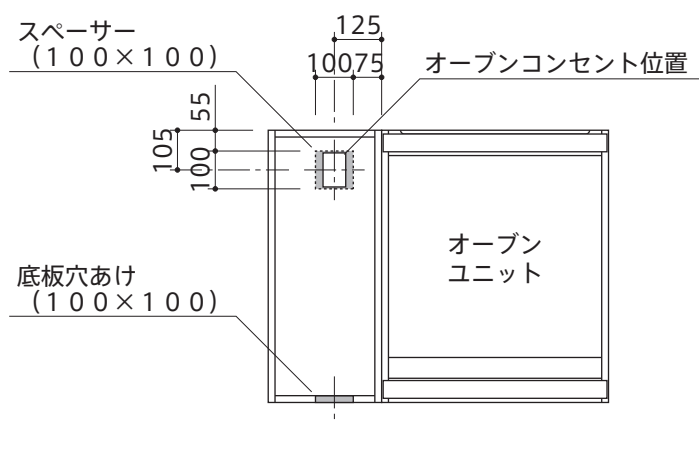
単位：mm

○間口300mm以上のユニットにコンセントを取付ける場合

平面図



正面図

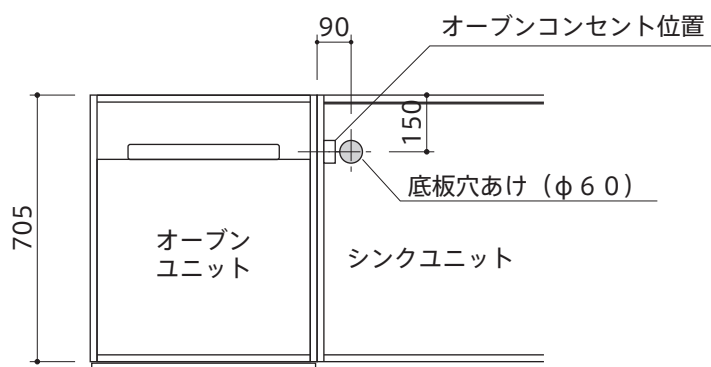


単位：mm

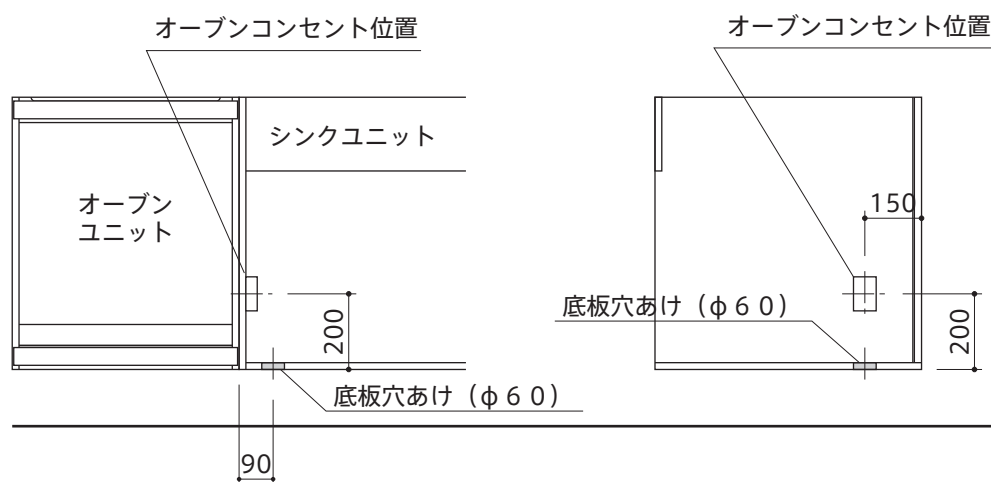
○シンクユニットにコンセントを取付ける場合

※イラストはオープンユニットが前面ユニットにくる（シンクユニットに隣接する）場合を示し、背面ユニットにくる（シンクユニットの背面にくる）場合も準ずる。

平面図



正面図



単位：mm

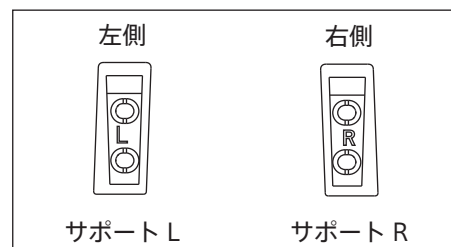
把手の取付け (Kartell Railの場合)

- ・サポート (L: 左側、R: 右側) の内側から十字穴付き小ネジ M4 × 20 (付属) を通し、扉表側の把手取付位置に差し込んで回し、扉裏面に付いている鬼目ナットに締めて固定します。(図1)
- ※把手に同梱されているタッピンネジ、アンカーは使用しません。
- ※十字穴付き小ネジを締めすぎないでください。サポートの破損の原因になります。
- ・イモネジを金属プレートに仮止めし(図2)、サポートの下穴にイモネジが納まるように金属プレートをサポート内に取付けます。(図3)
- ・把手本体の上下(「把手本体側面図」参照)を確認し、差込部分をサポートの奥までしっかり差し込みます。
- ・サポートの下側から六角レンチ(付属)でイモネジを軽く締めて固定します。(図4)
- ※イモネジは把手本体が動かない程度に軽く締めるだけで固定できます。
- その場合、サポートの下面からイモネジが飛び出場合があります。
- ※イモネジをきつく締めすぎないでください。
- 締めすぎるとサポートの上面およびイモネジ周辺がひび割れたり、経年破損の原因になります。
- ※把手本体の差し込み部分にバリがでている場合、カッターややすりなどで平らになるように削ってください。(「把手本体差込部分のバリ」参照)

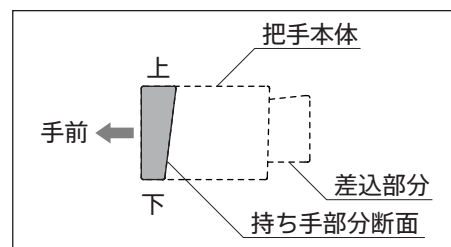
図1

■サポート側面断面図

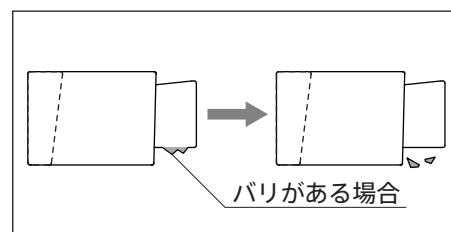
■サポートのL/R



■把手本体側面図



■把手本体差込部分のバリ



■把手本体取付断面図

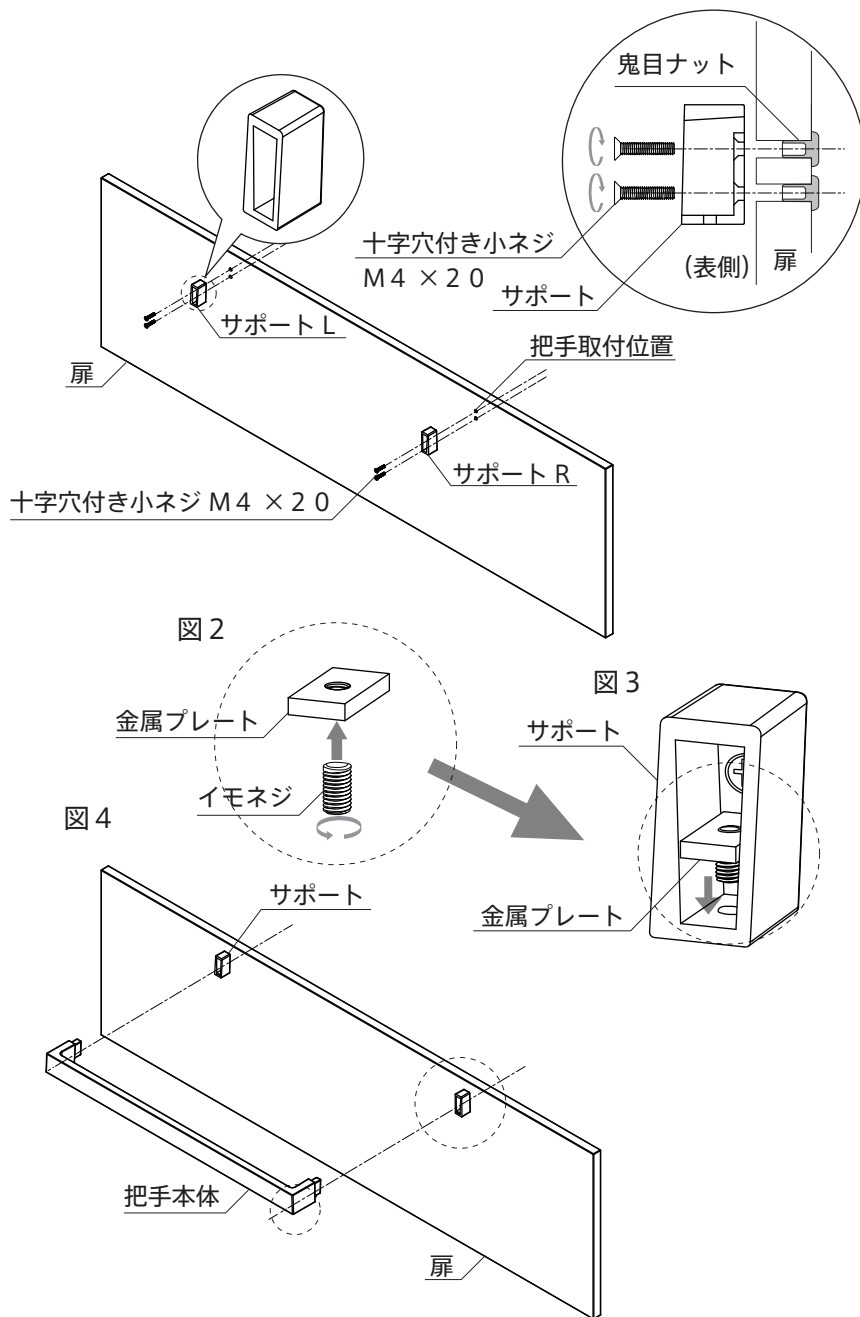
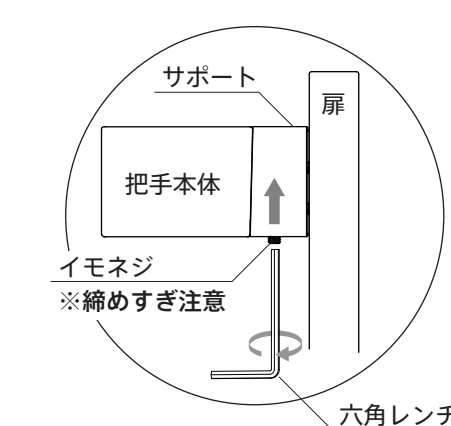


図2

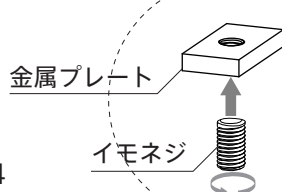


図3

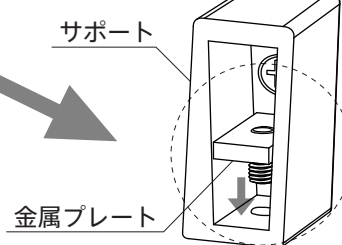
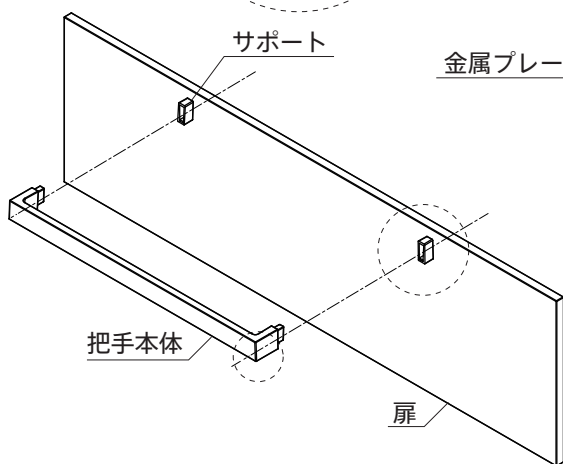


図4



クロスギャラリーの取付け（ブルム社製フルエクステンション引出しの場合）

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。（図1）
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。（図2、図3）
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。（図1）
- ※取り外す時は、逆の手順で行います。

図1

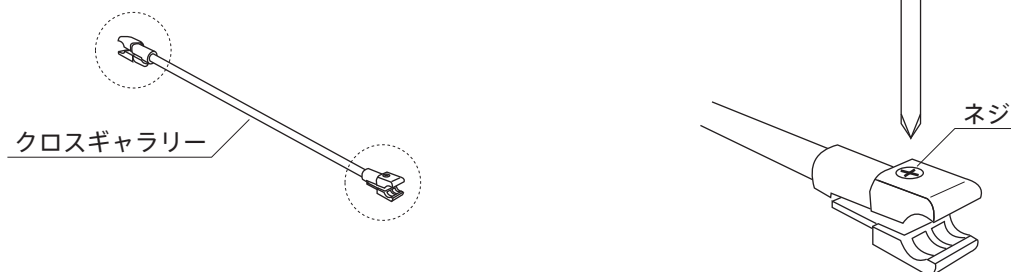


図2

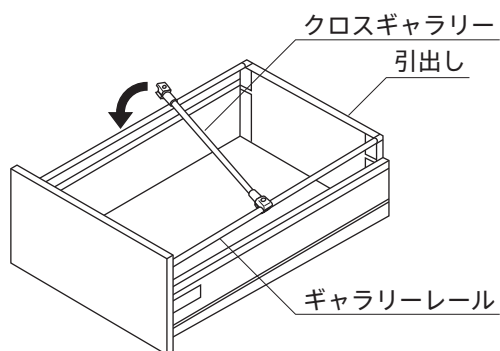
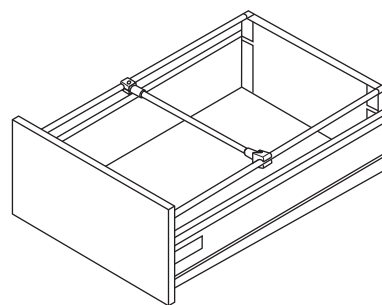
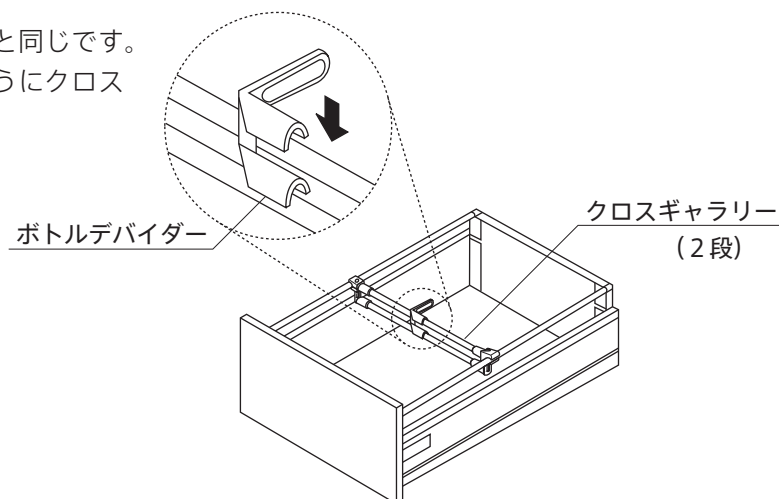


図3



■クロスギャラリー2段タイプ

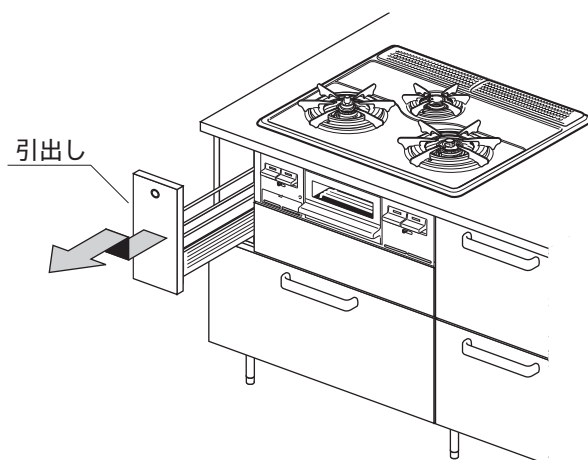
- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



引出しの取り外し、取付け

■スチール製引出しの場合

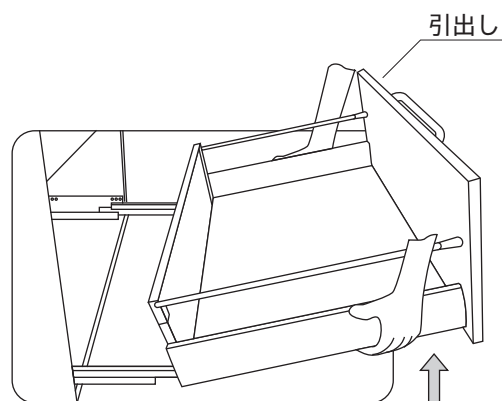
- ・引出しの取り外しは、引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げながら引出しレールから引き抜きます。
- ・引出しの取付けは、取り外しの手順を逆に行います。



■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

取り外し方

- ・引出しをいっぱいまで引出し、手前を持ち上げて取り外してください。
- ※必ず両手で引出しを持って取り外してください。



取付け方

- ・引出しレールをいっぱいまで引出してください。（図1）
- ・引出しレールの上に引出しを乗せてください。（図2）
- ・引出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引出しレールに固定します。（図3）

図1

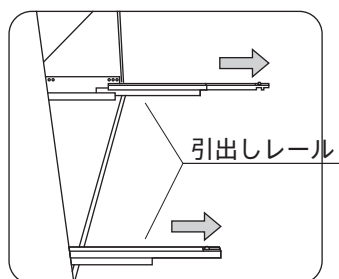


図2

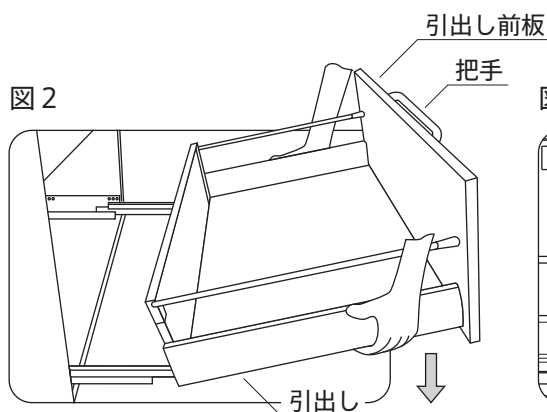
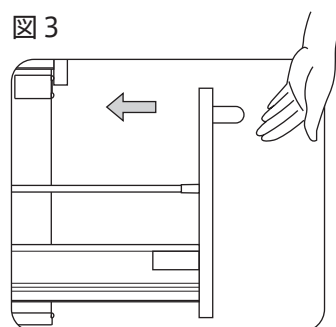
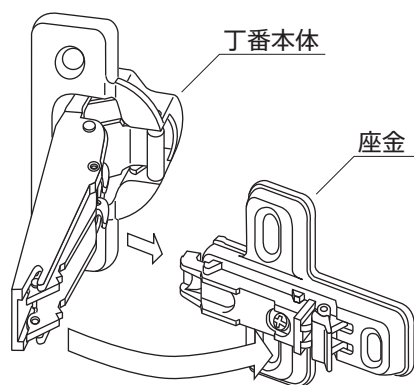


図3



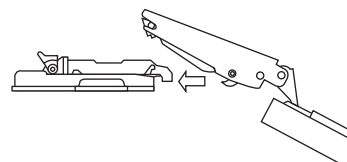
扉（丁番）の着脱

取付け方

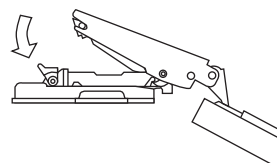


・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

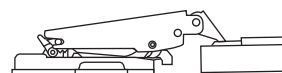
1



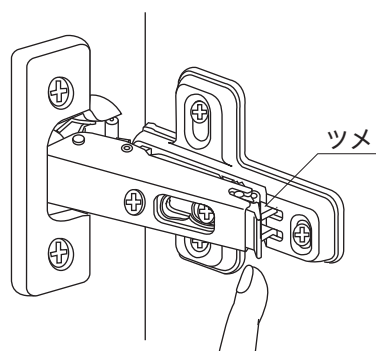
2



3

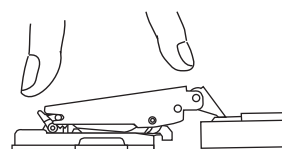


外し方

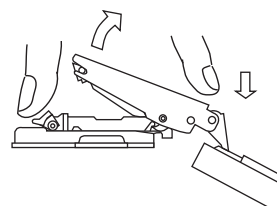


・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

1



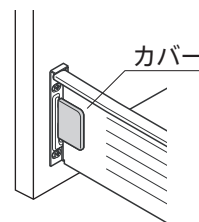
2



引出し前板の調整

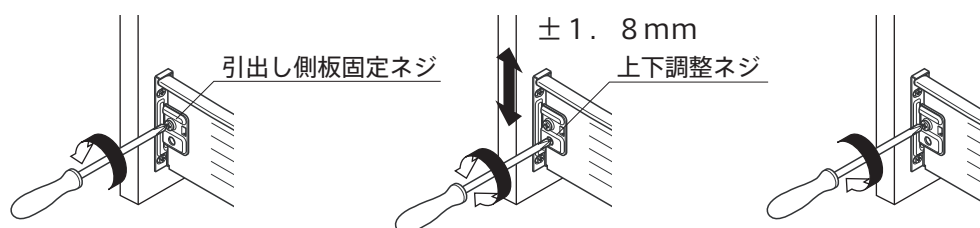
■スチール製引出しの場合

- ・ 引出し側板の左右外側についているカバーを外してください。
- ※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付けてください。



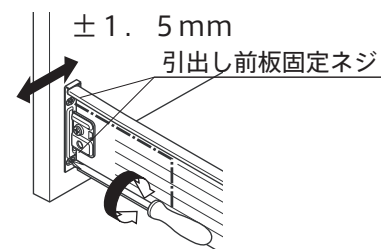
●上下方向の調整

- ・ 引出し側板固定ネジをゆるめ、上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・ ± 1.8 mm調整できます。
- ・ 調整が終わりましたら、引出し側板固定ネジを締めてください。



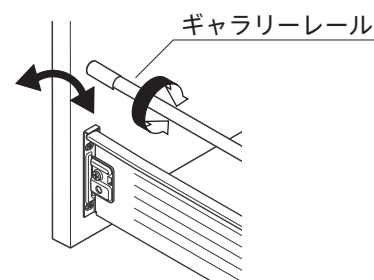
●左右方向の調整

- ・ 引出し前板固定ネジをゆるめ、引出し前板の左右方向を調整します。
- ・ ± 1.5 mm調整できます。
- ・ 調整が終わりましたら、引出し前板固定ネジを締めてください。



●傾き調整

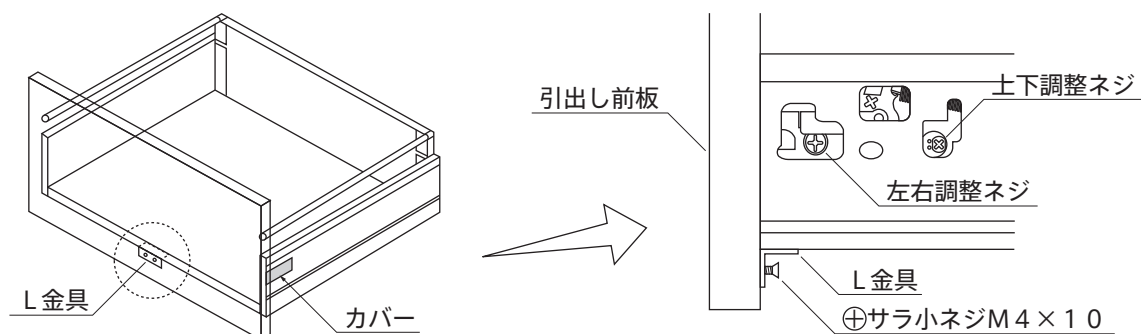
- ・ ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



■ブルム社製フルエクステンション引出しの場合

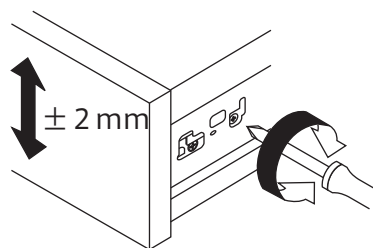
- ・引出し側板の左右外側についているカバーをマイナスドライバー等で外してください。
- ・間口750mm以上のユニットの場合、引出し前板の調整を行う前に、底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(＋サラ小ネジM4×10)をゆるめておきます。

※全ての調整が終わりましたら、カバーを取付け、ネジを締めて引出し前板を固定してください。



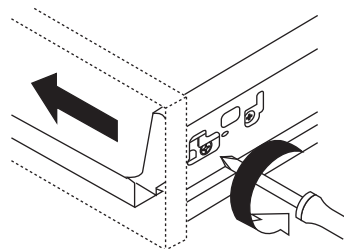
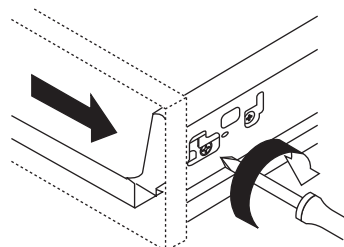
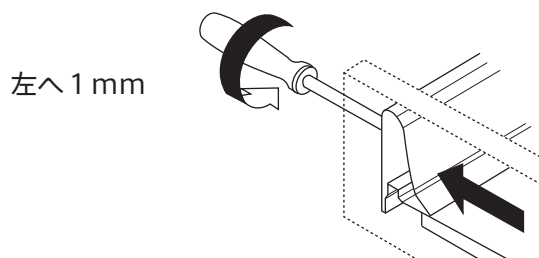
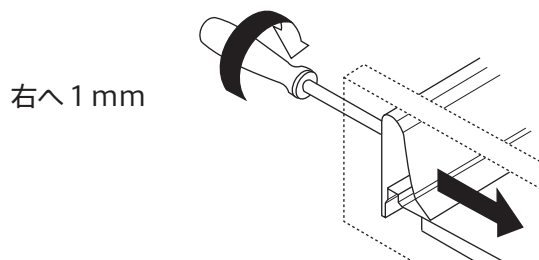
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジにて引出し前板の上下方向を調整します。
- ・±2mm調整できます。



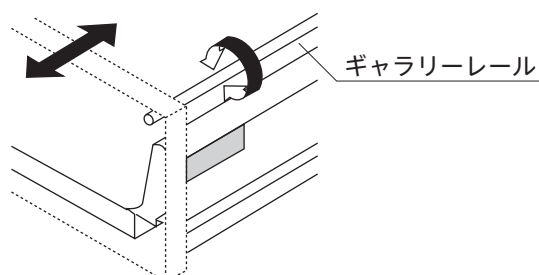
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジにて引出し前板の左右方向を調整します。
- ・±1mm調整できます。



●傾き調整

- ※ギャラリーレール付き引出しのみ調整できます。
- ・ギャラリーレールを回して、引出し前板の傾きを調整します。



プッシュオンの調整

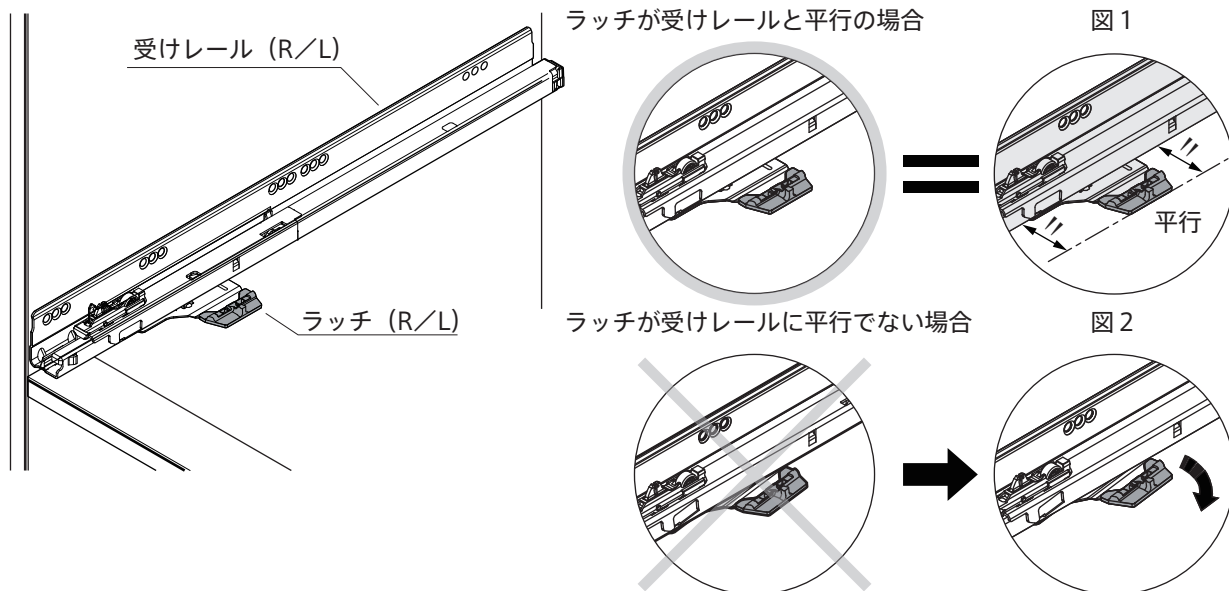
■受けレール側の調整

・受けレールに取付けてあるラッチ（R/L）が受けレールと平行であること（図1）を確認してください。

※平行に取付いていない場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

・平行でない場合は、ラッチの奥側を軽く手前に引き出して（図2）、カチッと音がした所で止めて平行になったこと（図1）を確認してください。

※引出す際に強く引き過ぎるとラッチが曲がったり破損する恐れがあります。



■引出し側の調整

・引出し裏面の両端に取付けたプッシュオンユニット（R/L）の調整ダイヤルを回して、引出しの前後方向を調整します。（図3）

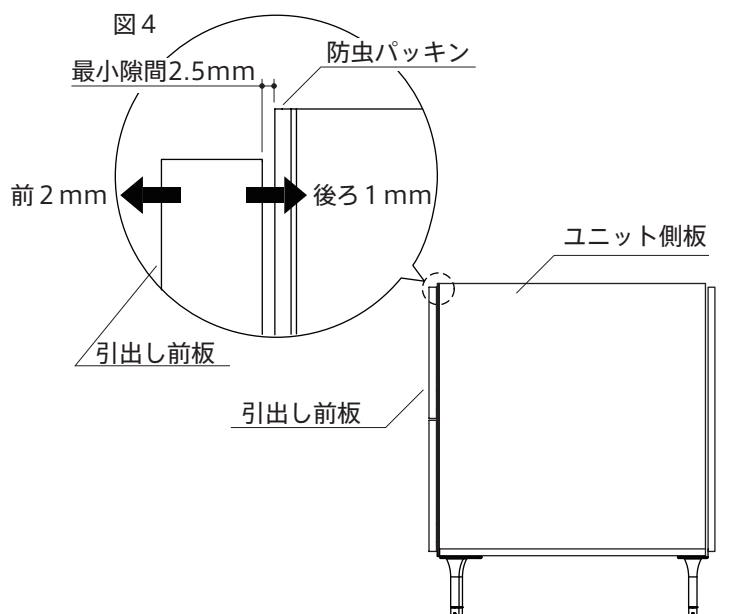
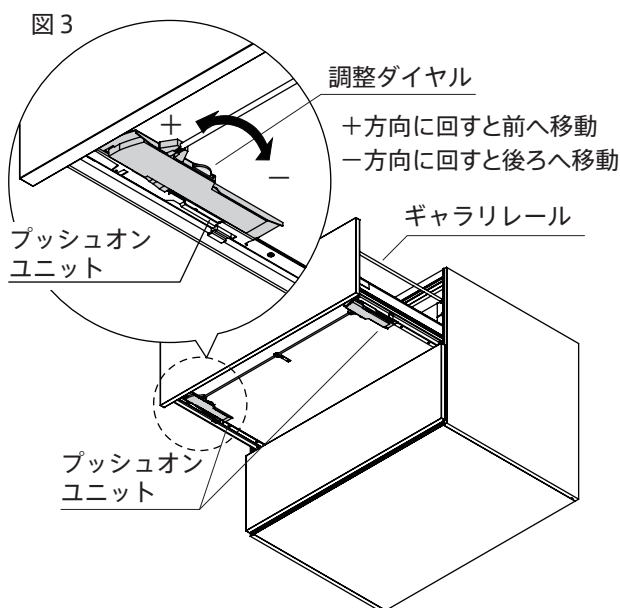
※最小隙間以下の場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※引出しの左右の出が違う場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

※キッチンの水平レベルが出ておらず、キッチン全体が歪んだりしている場合、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。

・ギャラリーレールがある場合は、ユニット側板の防虫パッキンと引出し前板の隙間が上下で同じになるように、ギャラリーレールを回して傾きを調整をしてください。（図4）（「引出し前板の調整 傾き調整」参照）

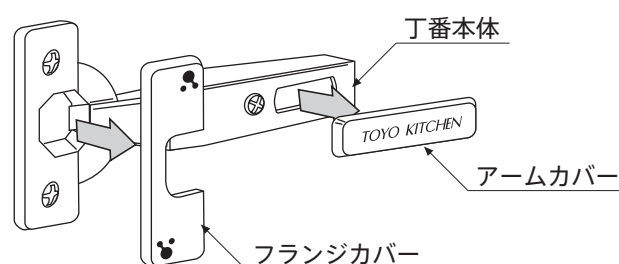
※引出し前板の傾きがあると、プッシュオン機能がうまく働かない場合があります。



扉（丁番）の調整

※調整は、トルク 9 k g f 以下で+ドライバーを使用してください。

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



※調整を行う場合、1. 上下方向 2. 左右方向 3. 前後方向の順番で行ってください。

1. 上下方向

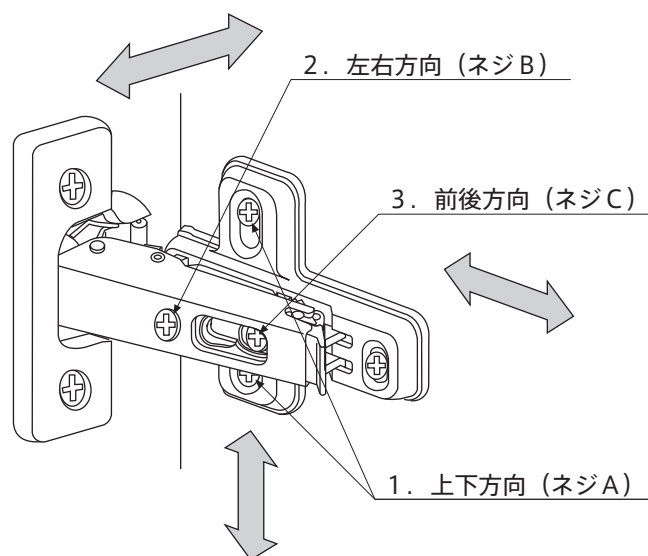
・座金のネジ A をゆるめ、上下の位置を定め、固定します。

2. 左右方向

・ネジ B で調整します。

3. 前後方向

※前後方向は基本的には動かしません。



取付・設置後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・加熱機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等の中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも F☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） F☆☆☆☆
	M D F F☆☆☆☆
	合板 F☆☆☆☆
	接着剤 F☆☆☆☆

VOC放散性能	4 VOC 基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 〈受付時間 平日9:00～17:00（※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く）〉
メー ル tks@toyo1.toyokitchen.co.jp
F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。
アクセスはこちらから →

